

キハソノ他ノ連帶シタル人ニソノ拂ヒ方ヲ求ムルナリ  
 第二ニハ差立人ト持主トノ間タニ生スルコトナリ  
 凡ソ差立人ハ持主ニ對シテソノ手形ヲ差サレ人ニテ必ラス承諾スル  
 ヲテ保證スル譯ケナリ  
 之レハ爲替手形ノ定規ナリ  
 併シ時ニヨリテソノ保證ヲナサ、ルヲアリソノ手形ヲ作ル時ニ保證  
 セスト書イテアルトキナリ  
 又承諾ヲ要セサル手形アリ  
 此手形ヲ見タルトキ拂フヘシト書イテアルモノナリ之レハ承諾ヲナ  
 スヘキ時間ナキユヘソノ見タルキハ即拂フヘキ期限ナリ  
 此二ツノ場合ハ差立人ニテ持主ヘ對シテ拂フヲテ保證セサルモノト  
 ス

差立人ハ持主ニ對シテ承諾セシムルノ保證アルユヘソノ義務ヲ遂ケ  
 萬一差サレ人ニテ承諾セサルトキハ差立人ニテ之レヲ承諾セシメ  
 サルヘカラス  
 持主ハ差サレ人ニ承諾セシメサルヘカラサルヲハナシ  
 ソノ手形ニ承諾セサレハト書キタルモノ、外必ラス承諾セシメテ而  
 シテ後ニ拂ハシムルニ及ハス  
 但シソノ見セタル日ハ何月何日ナリシノ證ヲ殘サ、ルヘカラス  
 第三ニハ差サレ人ト差立人トノ間タニ事ヲ生ス  
 之レハ承諾セシ後ノコトナリ  
 差サレ人ハ差立人ノ名代<sup>メシダ</sup>ノ委任ヲ受ケタル譯ナリ  
 ソノ委任ヲ受クルヲテ承諾スル上ハソノ手形ノ承諾ヲ爲サ、ルヘカ  
 ラス

之レハ差立人ヨリ金ヲ受取リアルカ又ハ差立人へ拂フヘキ金アルト  
キノコナリ

差立人ヨリ差サレ人へ金額ヲ送リタルトキハ名代ノ委任ヲ受ケタリ  
ト云フモノナリ

之レヲ知ルニハソノ手翰ヲ以テ手形ヲ差立ル手形ノ金額ヲ拂フコト拒  
ムモノナリソノトキハ差立人ハ差サレ人ニ對シ代人ノ義務ヲ遂ケ  
サルヲ以テ訴フルヨリ外ハナシ

差立人ヨリ差サレ人へ金額ヲ送ルコト「プロビジョン」貯金ヲ送リテ  
フ

之レハ必ラス差立人ヨリ金額ヲ送ルニ及ハス負債主へ對シテ手形ヲ  
作ルモ可ナリ

此所ロニ一論アリ凡ソ債主ハ負債主ニ對シテ必ラス爲換手形ヲ作ル

ノ權アルヘキヤ

之レヲ決スルニハ平人ナリヤ商人ナリヤ區別セサルヘカラス  
商人ナルトキハ債主ヨリ負債主へ對シテ何時ニテモ彼レノ同意ナク  
トモ手形ヲ差立ツルコト妨ケナシ

何トナレハ負債ハ即チ「プロビジョン」爲ルユヘナリ

平人ニ付テハ負債主ノ同意ナケレハ手形ヲ差立ルコト得スソノ拂ヒ  
方ノ滯リタルトキハ民事ノ負債ヲ責ル手ツ、キヲ爲スヘシ

承諾ヲ爲シタル上ハ差立人ト差サレ人トノ間ニ生スル「二ツアリ  
第一ニハ承諾ヲナシタル上ニ持主ニテソノ金ヲ取リニ行キタルニソ

ノ期限ニ至リテ之レヲ拂ハスソノトキ持主ハ差立人ニ掛リテ之レ  
ヲ責ムルトキ差立人ニテ之レヲ拂ヒ而シテソノ持主ニ代ツテ差サ  
レ人ニ對シテ訴訟ヲ爲スコト得ル

ソノ承諾ヲ爲サス拂ヒチ爲サ、ルトキソノ持主ヨリ差立人へ掛リテ  
 ソノ拂ヒ方ヲ責ムルトキハ差立人ニテ之レヲ拂ヒタル上差サレ人  
 ニ對シテソノ償金ヲ求ムルコトヲ得ルノミ  
 第二ニハ差サレ人未タ承諾セサル間ハ「プロビジョン」ヲ受ケサルモノ  
 ト見ルト雖モ既ニ承諾シタル上ハ「プロビジョン」ヲ受取リタルモノ  
 ト見ルナリ之レハ法律上ノ推定法ニハアラス然レモ此ノ事ハ常例  
 ノ證據法ヲ以テ證スルヲ得ヘシ  
 承諾ヨリ生スルコト第五款ニ新タニ加ヘタリ之レハ第三款ノ爲替手  
 形ヲ承諾スルコトニ當ルナリ  
 更ニ爲替手形ヲ承諾セサルコト新タニ加ヘタリ之レハ第六款ト爲ス  
 之レヲ説カントス  
 承諾ヲ爲サ、ルトキハ手形ノ持主ニテ拂ヒ方ノ保證ノ幾分ヲ奪ハレ

タリト云フヘシ  
 ソノトキ差立人並ニソノ他ノ裏書人ニ對シテ保證人<sup>コリジョン</sup>ヲ立ツルコトヲ  
 望ムコトヲ得ルナリ  
 之レハ第二百二十條ニアリ  
 如シ差立人或ハ裏書人ニテ保證人ヲ立ツルコトヲ得サルトキハ直チ  
 ニソノ金額ヲ拂フヘキノ求メテソノ期限前ニ爲スコトヲ得ルナリ」  
 民法第四百十六條ノ定規ニ反スルモノナリ  
 此條ニハ期限前ニハソノ金額ヲ拂ハスト云ヒテアレモ前ノ場合ニ於  
 テハ之レニ反シテ期限前ニ求ムルコトヲ得ルナリ  
 之レヲ求ムルトキハ手形ニ記シタル金額ノ外ニ要償ノ書ヲ作ル入費  
 ヲ拂ハサルヘカラス  
 フロテット  
 要償ノ書ニニタ通り

四〇四

過日説キタルモノハ金額ヲ拂ハサルトキノモノナリ此所口ハ承諾ヲ

爲ホ、ルニ付テノ要償ノ書ナリ之レハ使吏ニテ作ルナリ此要償ノ

書ヲソノ金額ヲ求ムヘキモノニ送り保證人ヲ立ツヘシ立テサルト

キハ金額ヲ拂フヘシト求ムルナリ

ソノ他ニ又入費アリ

返シ爲替ト云フ

第七十七條ニ返シ爲替ノ語アリタトヘハ佛人ニテ日本へ來ルトキ

佛ノ或ル銀行ニテ手形ヲ作ラシメ横濱ノ銀行ヨリ受取ルトキ横濱

ニテハ之レヲ拂フヲ得サルトキハソノ佛人ニテ差立人トナリテ

佛ノ銀行へ當テ爲替手形ヲ作りテ賣ルナリ

ソノトキ三十圓ノ手形ナリトモソノ幾分ヲ減シテ損トナルナリ之レ

ヲ返シ爲換ノ損ト云フソノ損害ヲモ償ハサルヘカラス

第二百二十條ニ其手形ノ拂期日ニ至リ各自云々トアリ

此各自テ差立人並ニ裏書人數名ニ對シ總テ保證人ヲ立テシムルコト

、誤解スヘカラス

持主ヨリ保證人ヲ求ムルハ只一人ニ對スルトモタトヘハ第九番目ノ

裏書人ニテ第八番目ノ裏書人ニ對シ我レハ保證人ヲ立テタリ君我

レニ對シテ又保證人ヲ立ツヘシト云フトキ其第八番目ハ第七番目

ニ對シテ同シク保證人ヲ立テヨト云フコトヲ得ルナリ仍テ此各自

ノ字面アリ第九第八第七等ヨリ各自ニ立テシムルコトニハアラ

ス

差サレ人ニテ承諾セサルトキハ他人ニテ之レヲ承諾スルモ妨ケナシ

之レヲ仲入ノ承諾人ト云フ之レハ差立人ニテ差サレ人へ差立ツル

トキソノ差サレ人ノ近邊ニ住スル親族朋友等へ書翰ヲ送リテソノ

五〇四

差サレ人ハ如何ナル人ナリヤモ知ルヘカラス萬一承諾セサルトキ  
 ハ我カ名譽ニ關スルナリ君之レヲ承諾センコトヲ乞フト云ヒ送ルト  
 キハソノ頼マレタル人ニテ承諾スルナリ  
 ソノ他知ラサル人ニテ之レヲ承諾スルコトモアリ  
 總テ仲入ノ承諾人ト云フ他人ノ承諾スルニハ要償ノ書ヲ記シタル後  
 ニアラサレハ之レヲ爲スコトヲ得ス之レハ第百二十條ニアリ  
 承諾ハ未必<sup>コンシジョン</sup>ノ條件ニ關スルコトヲ得ス  
 要償ノ書ヲ記スルトキ使吏ニテ其仲入ノ承諾人ノコトヲソノ書ニ附記  
 シソノ承諾シタル人ニテ之レニ姓名手署スルナリ  
 仲入ノ承諾ヲ爲スハ己レノ名譽ノ爲メニ爲スモノニアラス差立人又  
 ハ裏書人中ニ親睦ナルモノ旁アル爲メニ爲スナリ  
 仍テソノ差立人カ又ハ裏書人中ノ何人ノ爲メニ承諾シタリト記セサ

ルヘカラス

既ニ承諾ヲ爲シタル上ハソノ爲メニ爲シタル人へ速カニ我カ承諾シ  
 タル旨ヲ報告セサルヘカラス

承諾ヲ爲シタル上ハ持主ニ對シテソノ金額ヲ拂フヘキノ義務ヲ生シ  
 期限ニ至レハ之レヲ拂ハサルヲ得ス

之レヲ拂フハ我カ負債ニモアラス仍テ何某ノ爲メニ承諾シタル其何  
 某ヨリソノ金額ヲ取リ返スコトヲ得ルナリ之レカ爲メ最初ニ報告ヲ  
 爲シテ置クナリ

此等ハ總テ爲替手形ヲ慥カニ爲ス爲メニ立テタルモノナリ  
 手形持主ノ手前ニテハ仲入ノ承諾人ヨリ差サレ人ノ方慥カナリト  
 思フコトアリ

タトヘハ横濱ノ銀行ニテ拂ハサルトキ小ナル商人ニテ之レヲ承諾セ

ント云フトキ其拂フヘキヤ否ヤヲ疑フキハソノ承諾ヲ受ケ置テ更ニ差立人並ニ裏書人ニ對シテ保證人ヲ求ムルノ權アリ

元來承諾人ヲ求ムルハ保證人ヲ求メサル爲メニ立テタルモノナリ實際ニ二ツトモ之レヲ求ムルコトハナシ

承諾ノコトハ濟ミタリ

次會ニハ第三ノ拂ヒ方ノ保證ノコトヲ說カントス

第三十四號 明治八年四月十二日

第四百一十一條

之レマテ暫時廢會ナリシユヘ一應順序ヲ說カントス

爲換手形ヲ三ツニ分ケテ說キタリ

第一作り方ノコト

第二受合ノコト

第三拂方ノコト

第一ノ作り方ハ說キ盡クシタリ

第二ノ受合ノコトノ内義務連帶ト承諾トハ說キ盡シタリ今茲ニソノ受

合ノ中ナル保證ノコトヲ說カントス

保證トハ何事ナリヤト云フトキハ之レハ金額與ヘ人ハ此爲替手形ハ

期限ニ至レハ必ラス拂フコトヲ手形受取人ニ對シテ他人ヨリ保證ス

ルコトナリ

タトヘハ一人ノ爲替手形ノ差立人アリソノ人ハ人ノ知ル人ニモアラ

スソノ身代モ人ハ知ラサルユヘ他人ハ安心セサルナリ

仍テソノ人ノ名ニテハ通用セス然ルニソノ人ノ朋友親戚中ニ富有ノ

人アリテ本人ニテ如シ拂フコトヲ得サルキハ我レ之レヲ拂フヘシト

云フモノナリ仍テ衆人ハ安心シテソノ手形ヲ受取ルナリ之レヲ金額與へ人ト云フ即チソノ拂方ノ保證人ナリ

此保證人ハ拂ヒ方ヲ受合フモノナリ元來裏書モ承諾モノノ拂ヒ方ヲ保證スルモノト雖モ今茲ニ云フ保證人ト違ヒアリ裏書ヲ爲スハ拂方ヲ爲スノ目的ニアラス讓渡ノ目的ヨリ保證ノ生スルモノナリ承諾ト保證トノ違ヒハ保證ハ手形ヲ作ルトキ君ノ名ノミニテハ肯ンセス別ニ保證人ヲ立テヨト云フモノニテ手形ヲ差シ立テサル前ニ生スルモノナリ一旦受取人ニ渡シタル上ハ之レヲ立ツルヲ得ヌ承諾ハ既ニ手形ヲ受取タル上ニテ生スルモノナリ裏書ト承諾ト保證トハ此三ツノ違ヒアリ保證ト承諾トニ最一ツノ違ヒアリ保證人即チ金額與へ人ハ何人ニテモ之レヲ爲スヘシト雖モ承諾ハ差

サレ人ニテ之レヲ爲スモノニシテソノ他ノモノニテ爲シタルモノハ正則ノ承諾ニハアラス

保證ノ解説既ニ此ノ如シ保證ヲ爲スモノハ如何ナル人ニテ之レヲ爲スヘキヤヲ説カントス

之レハ爲替手形ニ付能力ノアルモノニアラサレハ能ハス

幼年ノモノ又ハ商婦ニアラサル夫アル婦等ハ之レヲ爲スヲ得ヌ

保證ヲ爲スモノハ先ツ差立人ヲ保證スルナリ仍テ差立人ニ掛ラサル

以前ハ保證人ニ掛ルヲ得ヌ

保證人ハ差立人ヲ保證スルヲアリ又裏書人ヲ保證スルヲアリ之レハ

甲ヨリ乙へ手形ヲ讓リ渡ストキハ乙へ對シテ甲ヲ保證スルヲナリ

又承諾ノトキニソノ承諾ヲ保證スルヲアリ如シ又ソノ承諾中ニ未

必ノ條件ニ關スル等ニテ持主人ニテ十分ニ思ハサルトキハ人アリ

テ保證人ヲ立テ連帶シテ義務ヲ負フヘシト云フコト得ルナリ  
第四百十二條ニ保證人ト此等ノ者ト云々トアリ此等ノ者トハ差立人  
裏書人等ヲ云フナリ

若シ能力ナキモノニテ保證ヲ爲ストモ之レハ無トハ爲ラス通常ノ契  
約ト見做シテ爲換手形ノ保證ト見テ爲替手形ノ義務ヲ遂ケシメス  
仍テ商法裁判所ヘモ出テス又拘留スルコトモナシ

此保證ハ既ニ爲替手形ヲ保證スヘキ人ヨリ更ニ保證スルコト得ス  
タトヘハ三番目ヨリ四番目ヘ譲リ渡ストキ差立人ニテ之レヲ保證ス  
ルコト得ス一ト度ヒソノ爲替手形ニ關係アルモノハ再ヒソノ手形  
ノ保證ヲ爲スヘカラス

以下保證ノ立テ方ヲ説カントス  
保證ヲ爲スニハ必ラス證書ヲ以テ之レヲ爲ス民法ニ於テハ契約ヲ爲

スニ雙方ノ承諾アレハ必ラス契約ノ成リタルモノトス  
ソノ契約ノ證ヲ立ツルニハ必ラス證書ニアラストモ可ナリ人ノ證ア  
リ又ハ推定法モアルナリ

爲換手形ニ於テハ何事モ書面ヲ以テ證ヲ立ツルコトニテ書面ナキト  
キハ無キモノト爲スナリ

仍テ此保證ハ書面ヲ以テ之レヲ爲サ、ルヘカラス  
保證ヲ立ツルモノハ姓名ヲ手署セサルヘカラス

書面ノ書キ方ハ法律上ニ規則ナシソノ旨意分明ナレハ足レリトス  
保證ヨリ生スルコトヲ説カントス

保證ニ付テハ特別ノ性質アリ  
保證ニ付テハ他ノ規則ト替リタルコトナリ

爲替手形ノ承諾裏書ハ必ラス手形ニ記入スルコトナリ然ルニ保證ハ手



形ニ記入スルトモ亦ハ別紙ヲ以テ記シタリトモ同一ノ効アリトスレ  
之レハソノ仔細アルコトナリ之レヲ説カントス

商人ニテハ人ヨリ保證ヲ受ケタルコトヲ世間ニ知ラシムルヲカ悪ム  
モノアリソノ手形ニ直チニ記入スルトキハ世間ニテ何某ハ毎時保  
證ヲ記入シタル手形ヲ作ルハ之レ金ノ無キモノナリト云ヒテ信用  
ヲ薄クスルヲナリ仍テ別紙ニ保證ヲ記スルヲ許ス即チ商人ノ信  
用ヲ助クル爲メニ今茲ニ別ニ保證ノ方法ヲ定ム

問 保證アルコトヲ世間ニ知ラシメサルノ規則ハ習慣ヨリ出ツルモノ  
ナリヤ又ハ議論ヨリ出ツルモノナリヤ

答 習慣ナリヤ議論ナリヤハ知ラス併シ之ハ差立人ト受取人トノ間

ニ保證アルト雖モ之レヲ讓リ渡ストキハソノ讓リヲ受ケル人ニ  
テハ讓ル人ヲ信用シテ受クルユヘソノ保證ナキヤアリヤチ問フ

ニ及ハストス但シ萬一拂ヒ方ニ差支ユルトキハ畢ニハソノ差立  
人ノ保證人ハ出テ來ルモノナルユヘ妨ケナキモノトス必ラス詐  
偽ノ心ヲ長スルニ論及シテ商人ノ身代ヲ世間ニ暴白スルニ及ハ  
ストス

手形ノ讓リヲ受クルモノニテハソノ讓ル人ヲ分明ニ知ラサルト  
キハ未ダ讓リヲ受ケサル以前ニ之レヲ探索スルナリ君ハ何ノ爲  
メニ彼ノ不信用ナル人ノ手形ヲ受ケ取りタリヤト問フトキハソ  
ノ人ニテハ必ラスソノ保證人ノアルコトヲ云フヘキナリ  
元來民法ハ嚴密ナル規則アリト雖モ商法ハ大畧ノ規則ヲ立テソ  
ノ運用ハソノ人ノ一心ニ存スルモノニテ利ヲ得ルモ損ヲ生スル  
モソノ人ノ才能ニ因ルヘントノ趣意ナリトス

別紙ノ證書ニテモ手形ニ記入スルコトモ同一ノ効ナリト雖モ實際其違

ヒアリ

別紙ノ證書ナレハ數通ノ手形ヲ一紙ニ保證スルコトヲ得ルナリ

タトハハ十萬圓ノ金ヲ數通ノ手形ニシテ之レヲ作ルトキハソノ數通

ノ手形ヲ一紙ノ證書ニテ保證スル如キ之レナリ

一紙ノ證書ニテ數通ノ手形ヲ保證スルコトハ商人ニテハ大ニ行ハル、

ナリ

數通合セテ總テ十萬圓トナルトノ計算書ヲ銀行へ送ルトキハソノ銀

行ニテハ之レヲ一度ニ保證スルナリ

更ニ一ツノ違ヒアリ手形ニ記入セシトキハ總テノ裏書人ヨリソノ

保證人へ對シ故障ヲ述フルコトヲ得ルナリ

タトハハ三番目ヨリ四番目ニ讓リタルトキ保證ヲ爲シタルニソノ拾

番目カ十一番目ニ至リソノ拂ヒ方ヲ滯リタルトキハソノ保證人へ

行キテソノ金ノ拂ヒ方ヲ求ムルコトヲ得ルナリ

別紙ニ記シタル保證ニ於テハ自己ノ順序ニ來リテ求メラレタルトキ

ニアラサレハ拂ヒ方ヲ求メラル、コトハナシ

保證人ハソノ保證ニ付テ故障ノ生シタルトキハ義務ヲ負フ即チ裏書

人ト同シク裁判所へ呼ヒ出サレ又今ハ無ケレモ拘留セラル、ナリ

併シ第百四十二條ニ嚴ナル義務ヲ寬ニスルコトヲ云ヒタリ

但シ之レニ反シタル契約アルトキハ格別ナリトス」トアリテ保證ヲナ

ストキソノ拂ヒ方ハ保證スルトモ商法裁判所へ呼ヒ出サル、コトハ

イヤ又ハ負債主拘留イヤ又ハ期滿得免ノ期ヲ短カク爲シテモライ

度トカチ契約スルコトヲ得ヘキナリ

萬一此但シ書無キトキハ甚タ嚴ナル義務ナリトス

第二ノ受合ノコトハ濟ミタリ

第三ノ拂ヒ方ノコトヲ説カントス

ソノ拂ヒ方ノコトヲ説キ始メサル内ソノ手形ノ差立テヨリ拂フマテノ  
景況ヲ示サント欲シテ草稿ヲ作りタリ之レヲ譯シテ見ルヘシ

問 保證ノ書面ニハ書法ナキコトハ聞キタリ然ルニ(何某ハ之レヲ拂フ

コトヲ信ス仍テ之レヲ證ス)ト書キタルモノハ本人ノ拂ハサルトキ  
ハソノ證人ニテ拂フヘシトハ日本ニテハ實際ハ云ハサルナリ如  
何

答 右ノ如キ曖昧ノ字ハ西洋ニハナシ併シ文面中ニ於テ證人トモ受

合人トモ見ルヘキ文面モアルヘシソノトキハ裁判官ニテハソノ  
モノ、立チ入りタルトキハノ意味ヲ玩味シテ之レヲ裁判スヘキ  
ナリ

タトヘハ事ヲ證スルトキハ紙ハ十分ノ證ナリ人ヲ用ヒストモ可

ナリ併シソノ契約ノ規則ニヨリテ婚姻ノ證人等ハ全ク事ヲ證ス  
ルモノナリトス總テケ様ノトキハ裁判官ハソノ證書ヲ解説スル  
ノ權アルモノトス

右等ハ推定ノ法ヲ立テ、斷スヘキモノトス

雙務ノ契約ナレハ別ニ之レヲ保證スル人ヲ用ユルニ及ハス仍テ一時

ソノコトヲ證スルモノト爲スヘシ

若シ片務ノ契約即チ貸借ノ契約ニ於テハソノ證人ハ借主ト連帶シテ  
其金ヲ拂フヘキモノニ近シ

爲替手形ノ雛形

横濱ニ於テ明治八年三月十五日

面

一圓〇〇〇圓ノ證

此第二號ノ爲替手形ヲ以テモシ第一號第三號ヲ以テ御拂無候ハ、御覽ノ節(或ハ御覽ノ日ヨリ何日目ニ橋本君ノ指令ニ依テ千圓ノ金額御拂被下候様願置候尤モ此金額ハ當人ヨリ商品ニテ受取申候也(但シ別不致 古山某

東京魚河岸通り十五番地  
銀行富松某君へ

富松銀行  
東京魚河岸通り十五番地

裏

面

裏書雛形

弓削君ノ指令ニ依リ御拂可被下候尤モ此金額ハ當人ヨリ正金ニテ受取候也

横濱ニテ明治八年三月二十五日

橋本某

有馬君ノ指令ニ依リ御拂可被下候尤モ此金額ハ差引勘定ノ殘金也

東京ニテ明治八年五月朔日

弓削某

弓削君ノ裏書ヲ保證ス毛利某

第三十五號 明治八年四月十七日

之レマテ第一ニ作り方第二ニ受合フヲテ説キタリ今日ハ第三ナル拂  
ヒ方ノヲ並ニ拂ヒ方ニ付テ持主ノ權利ノヲテ説カントス 第三百四十  
手形ノ拂ヒ方ハ

第一ニ何時拂フト云フトキハソノ期限ニ拂フヘキナリ仍テ六ヶシキ  
ヲナシ

此期限ハ手形ニ記セシヨリ半時タリトモ遅延スルヲ得ス民法ニ於  
テハ一旦期限ヲ約シタリトモソノ期限ニ至リテ猶豫ノ期限ヲ與フ  
ルヲアリト雖モ手形ニ於テハ債主ニテハ猶豫ヲ與フルヲ欲スル  
トモ裁判官ニテ之レヲ與フルヲナシ之レハ第百五十七條ニ明文アリ

何時ニ之レヲ拂フヲハ説キタリソノ之レヲ拂フハ何ヲ以テスルヤト  
問フトキハソノ手形ニ記セシ金額ノ全部ニシテ且ツ同一ノ品物ヲ  
以テ持主ヘ拂サルヘカラス

全部ヲ拂フトハソノ記載セシ金高ヨリ少ナクモ多クモ拂フトテ得ス  
タトヘハ千圓ノ記載ニ九百圓又ハ千百圓ヲ拂フヘシト云フトキハ持  
主ニテ之レヲ辭スヘシ同一ノ品物トハ金額ヲ記セシトキハソノ種  
類ノ金額ヲ以テセサルヘカラスタトヘハ百圓金ト記載シアルトキ  
ハ二百圓ノ代價アル金ノ茶甌アリ之レヲ取ルヘシト云フトモ持主  
ハ之レヲ辭スルナリ

爲替手形ノ性質ハ諸方ヲ回ルモノナリ差立人ト差サレ人ハ元ヨリ隔  
地ノ人ナリ然ラハ何種類ノ金ヲ以テスヘキヤト云フトキハ第百四  
十三條ニ爲替手形ハ其手形ニ附記シタル貨幣ヲ以テ其金高ヲ拂フ

ベシトアリソノ差立人ニテ「フランク」ト書キタリトモ必ラス「フランク」ヲ以テ拂フヘシト云フ「ニ」アラス何種類ナリトモソノ金額ニ適スル金額ニテ可ナリ然リト雖モ之レハ「フランク」ヲ以テ拂フヘシト書キタルトキハ此第四百四十三條ノ規則ニ循ヒソノ記載シタル種類ノ貨幣ヲ以テ拂フヘキナリ

タトヘハ佛國ヨリ差立タルニ只「フランク」ト記シタルモノナルトキハ日本ニテ之レヲ拂フニ必ラス「フランク」ヲ買ヒテ之レヲ拂フニ及ハス日本貨幣ナリトモ「ドルラ」ナリトモソノ金額ニ適スルモノナレハ妨ケナシトス

負債ヲ拂フニ一時ニソノ全部ヲ拂フト又ハ一部ヲ拂フコトアリ手形ヲ拂フニ全部ヲ拂フヘキヤ又ハ一部ヲ拂フ「ト」ヲ得ヘキヤ

民法第一千二百四十四條ニ負債ノ一分ノミヲ拂フニツキ之レヲ受取ル

ヘシト云フコトヲ得ス併シ裁判官ニテソノ事情ヲ思察シテ猶豫ノ期限ヲ與フル「ト」ヲ得ル「ト」ヲ記載シテアルナリ

過刻説キタル如ク猶豫ノ期限ヲ與フル「ト」ヲ得サル「ト」ハ分カリタリ仍テ商法ニ此條ヲ用ユル「ト」ヲ得ス

負債ノ一部ヲ拂フ「ト」ヲ得スト云フ「ト」ハ區別セサルヘカラス過日説キタル所ニ一部ノミノ承諾ト云フ「ト」ヲ説キタリ

第一ニ

ソノ一部ノミ差サレ人ニテ承諾シタルモノヲ持主ニテ受ケタルモノナレハ即チソノ一部ヲ受取ラサルヘカラス

第二ニ

ソノ差サレ人ニテ承諾ヲ爲サ、リシトキソノ期限ニ至リ持主ニテ金額ヲ受取リニ行キタルトキハソノ拂フヘキ義務ナキユヘ全部ナリ

トモ一部ナリトモ差サレ人ニテ拂フヘキノ義務ナシ然ルニ一部ノ  
ミ拂フヘシト云フトキハ持主ハ之レヲ受取リソノ殘額ヲ要償ノ書  
ヲ記シテ前ノ持主ヘ求ムヘキナリ

第三二

差サレ人ニテ全部ヲ承諾シタルトキハ持主ニテハ全部ヲ求ムルノ權  
アリソノトキ差サレ人ニテ一部ヨリ上ハ拂フヲ得スト云フトキ  
差サレ人ノ爲メニハソノ一部ヲ受取リテソノ殘額ヲ要償書ヲ記シ  
テ前ノ持主ヘ求ムル方便益ナリソノ證ハ第一百五十六條ニ爲替手形  
ノ金額中其一部ヲ拂フタル時ハ差立人及ヒ裏書人其一部ニ付義務  
ヲ免カルヘシトアリ

爲替手形ニ付テハ裁判官ハ猶豫ノ期限ヲ與フルヲ禁シタルヲハ過  
刻說キタリ

舊法ハ裁判官ヨリ與フル外ニ猶豫ノ期限アリタルナリ之ハ風習ノ期  
限又ハ恩惠ノ期限ト云フ

タトヘハ「マルセル」ニテハ手形ヨリ三日後ホルトソニテハ手形ヨリ四  
十幾時又何方ニテハ何ト云フ様ニ風習ニソノ期限アリタルナリ之  
レニテハ不都合ナルユヘ第三百三十五條ニ之レヲ禁シタルナリ  
仍テ手形ニ記シタル期限ハ最終ノ期限ナリトス

之レニ反シテ期限前ニ之レヲ拂フヲ得ルヤ得サルヤト云フトキハ  
第四百十六條ニアリ差サレ人ニテハソノ期限前ニ拂フヘシト云フ  
ヲ得ス但シソノ持主モ承諾ノ上ナレハ期限前ニ金額ヲ拂フヲ得  
ルナリ

但シ之レハ規則ニハ合ハサルモノトス仍テ萬一之レカ爲メニ他人ノ  
損害トナルトキハソノ償ヲ差サレ人ニテ之レヲ爲スヘシ

タトヘハ手形ノ期限ヨリ二ケ月前ニ拂ヒ其後持主カ分散トナリタリ」  
差サル人償主ハ未タ期限ノ來ラザル前ニ金額ヲ拂ヒタルユヘ我レ  
等並ニ衆債主ノ迷惑トナリタリト云フベシ  
契約ノ規則ニ反シタル契約ハ民法ニテハ無ト爲ルトアリ仍テソノ  
債主ニテハソノ拂ヒ方ノ規則ニ反シタルユヘ無ト爲スベシト云フ  
ヲ得ルナリ

第四百四十四條ニ循ツテ(拂フタルノ効ナキニ於テハ其責ニ任スヘシ)ト  
アリ

又第四百四十五條ニモソノ責ニ任スルヲ記載セリ

第四百四十九條ニ(爲換手形ヲ失フタルキ又ハ其持主ノ分散シタルキノ  
外之レヲ拂フヲ付他ヨリ故障オホシシヨヲ述フヘカラス)トアリ之レヲ以テ  
見レハ未タ拂ヒ期限ノ至テサル前ニ他人ヨリソノ拂ヒ方ヲ妨クル

ヲモアリ

之レハ名義ナク妨クルヲ得スタトヘハ他人ニテ彼レハ手形ヲ失ヒ  
タリ又彼レハ既ニ分散トナリタリト云ヒテ妨クルヲアリソノトキ  
ハ差サレ人ヨリ金額ヲ拂フヲ得ス如シソノ故障ノ言ヲ聞カスシ  
テ拂フトキハ差サレ人ハ責ニ任スヘキナリ

第四百四十五條ニハ(云々故障ヲ受ルヲナク其金額ヲ拂タルモノハ云々)  
トアリ之レヲ反轉シテ見ルトキハ故障アリテ拂ヒタルモノハ其義  
務ヲ免カレサルモノト考フヘキナリ

第四百四十九條ニハ(爲替手形ヲ失フタルトキト手形持主ノ分散トナリ  
タルトキノ外ハ)ト書イテアリ

訴訟法ニ(五百五十七條以下)差留セイレナル手續キアリ

タトヘハ甲ニテ乙ヘ金ヲ貸シ乙ニテ丙ヘ貸シタリソノトキ甲ニテ丙



へ行キテ曰ク我レ乙へ金ヲ貸シタリ君乙ヨリ借リタリソノ金額ハ  
 同シキナリ今度乙ヨリ我レニ拂ハサルユヘコソノ金額ヲ君ヨリ乙  
 ニ返サス直チニ我レニ返スヘシト云フコトヲ得ルナリ  
 然ルニ爲換手形ニ付テハ百四十九條ニ云フ如ク失フタルトキト分散  
 ノトキノ外ハ云々トアリ何ノ爲メニ此差留ノ權ナキヤト云フニ爲  
 換手形ハ多人數ノ手ニ渡ルモノナレハ右様ノコトヲ爲スコトヲ得ス  
 タトヘハ乙ハ當時手形ノ持主ナリ然ルニ兼テ甲ヨリ乙へ金ヲ借シタ  
 リ故ニ甲カ丙へ〔差サレ人〕へ向ツテ曰クソノ手形ノ金ヲ乙へ拂フヘ  
 カラスト云フトモソノ手形ハ乙ニテ他ノ人へ賣ルコトヲ得ルユヘソ  
 ノ取留ノ詮ナキナリ  
 ソノ他ニ故障ヲ述フルヲ得ルコトアリ之レハ分散ニ似タルコトナリ治産  
 ノ禁ヲ受ケタル人アリ此人ノ持ツ手形ノ金額ハ後見人ヨリ受取ル

へキノ法ニテ自己ニテ受取ルコトヲ得サルナリ又初メハ夫ナキ婦ニ  
 テ手形ノ持主トナリテ未ダ金ヲ受取ラサル前ニ人ノ妻トナリタル  
 トキ之レナリ  
 ソノトキハ後見人又ハソノ夫ヨリソノ故障ヲ述フヘキナリ  
 差サレ人ハ何人へ拂フヘキヤト云フトキハ持主又タハソノ代人へ渡  
 スコトハ論ヲ待タス  
 但シ持主人ノ能力ニ付テ一論アリ過日説キタル如ク爲替手形ヲ取扱  
 フニハ別ニソノ能力アリ夫アル婦幼年ノモノ等ハ此能力ナキモノナリ  
 民法第千二百四十一條ニ負債主ヨリ金ヲ返スニ能力ナキモノヘ之レ  
 ナ返シタルトキハ無トナルトアリ  
 民事ノ貸借ハ互ヒニ日々知ル所ノ人ナリ仍テ幼年又ハ夫アル婦又  
 ハ貸ストキハ尋常ノ人ナリトモ治産ノ禁ヲ受ケタルモノ等ハ人々

互ヒニ知ルモノナリ仍テ此等ノ人ニ拂ヒタルモノハ無トナルコトナリ  
 爲替手形ハ互ヒニ知ラサル人ナリトモ手形ノ持主へ拂フコトナルユヘ  
 何人ナリトモ手形ヲ持テ來ルトキ直チニ拂フモノモアルユヘタト  
 ヒ能力ナキ人へ拂ヒタリトモソノ故障ナクシテ拂ヒタルモノハソ  
 ノ効アリトス  
 但シ之レハ差サレ人ニテソノ人ヲ知ラサルトキノコトナリ如シソノ  
 人ノ能力ナキコト知リテ拂ヒタルトキハ己レソノ責ヲ免カル、コ  
 ト得ス  
 タトヒソノ手形ヲ盜ミテ持テ來ルモノへ拂ヒタリトモ差サレ人ニ於  
 テハ十分ナル拂方ナリトス但シ故障ヲ受ケタルトキハ此限ニアラ  
 ス  
 ソノ人ノ能力ナキヲ知リナカラ拂ヒタリトモ十分ナル拂ヒ方ト爲ス

コトヲ得ル場合ヒアリ  
 幼年ノモノ、爲メニ作りタル爲替手形ナルトキハ之レヲ幼年ノモノ  
 、拂ヒタルトモ妨ケナシトス  
 元來之レハ規則ニアラサルモノナルユヘ差立人ノ宜シカラサルナリ  
 然レトモ差サレ人ハ差立人ノ代人ナルユヘタトヒ之レヲ知リナガ  
 ラ拂ヒタリトモソノ効ナシト爲サス  
 次會ニハ差サレ人ニテ注意シテ拂ハサルヘカラサルコトヲ説カントス

第三十六號

明治八年四月二十二日

今日ハ差サレ人ニテ爲替手形ヲ拂フトキニ用心ヲ爲スコトヲ説カ  
 トス

差サレ人分散トナリタル上ハ爲替手形ヲ拂フノ權ナシ

如シ分散トナリタル上ニ拂ヒタルトキハ之レヲ受取リタルモノニテ之レヲ返シ衆債主ト共ニ分配セサルヘカラス  
若シ差サレ人ニテ之レヲ拂フ權アリテ拂フトキハ左ノ用心ヲ爲スヘシ

第一ニ持主ニテ手形ヲ持參セシトキハ之レヲ手ニ把リテ檢セサルヘカラス

之レハ手形ヲ持ツテ居ルモノハ持主ニ相違ナキユヘ之レヲ手ニ把リテ見ルナリ

第二ニハ姓名ノ手署ヲ檢査シ裏書ノ順序ヲ檢査スルナリ手署ニハ各自ノ模様アリ裏書ノ方法等規則ニ違ハサルヤヲ檢査スルナリ

差サレ人ハ差立人ノ手署ヲ必ラス知ルモノナリ裏書人ニハソノ手署ヲ知ルモアリ知ラサルモアリ裏書ノ順序トハ雛形ノ通りニテ讓渡

シ讓受ケノ順序ニ相違アレハ必ラス贋作ナリトス仍ツテソノ順序ニ注意スヘキナリ

第三ニハ金額ヲ拂フトキ持主ノ持參セシ手形ヲ金額ト引替ニソノ手形ヲ取リ揚ケサルヘカラス之レヲ取揚ケサルトキハ萬一更ニ他人ニ讓リ渡スカモ知ルヘカラス

第四ニハ金ヲ拂フトキソノ持主ヲシテソノ手形へ受取リタリトノ文ヲ記セシム

之レヲ爲スノ旨意ハ持主ニテ奸惡ヲ爲ストキソノ罪ヲ重クスル爲メニシテ即チ恐レテ懷カシムル爲メナリ

例ヘハ中村ナルモノニテ手形ヲ落シタリソノキ或ル人ニテ之レヲ拾ヒ我レハ中村ナリトテソノ金額ヲ受取リタリ之レハ「イヌコロクイ」トテ禁錮ノ輕罪ナリ然ルニソノ中村ノ手署ヲ偽ツテ受取ノ文ヲ書

キタル上ハ輕罪ノ「イスコロクイ」ノミナラス人ノ姓名ヲ偽リタル重罪トナルナリ之レ等ノ罪ヲ恐レテ奸惡ヲ爲サ、ル爲メナリ

爲替手形ノ持主拂方ノ期限ニ至リテ金ヲ受取ニ來ラサル「アリス」ノ期限前ニ差サレ人ニテ承諾ヲ爲シタルモ爲サ、ルモ差サレ人ハ己レノ義務ヲ免ル、爲メニ速カニ拂ハン「アリス」ヲ欲スルナリ

民法ノ原則ニ於テ負債者ハ期限ニ至リテソノ金ヲ拂ヒテ己レノ義務ヲ免カル、ノ權アリト云フ「アリス」然ルニ之レヲ拂ハント欲スルトモ債主ニテ之レヲ受取ラサル「アリス」トキ負債主ハ金ヲ積ンテ之レヲ爲持テ拂フ「アリス」之レヲ「チツプルレール」提ト云フ之レハソノ金ヲ使吏ニ托シテ債主ニ受取ラシムルニ猶ホ之レヲ受取ラサルトキハ政府ヨリ立テタル金額預カリ所口即チ「ケース」ビエブリツク」ヘ預ケ之レヲ裁判所ヘ届出ツルナリ

ソノトキハ裁判官ハソノ元金ヲ計校シテ負債主ソノ義務ヲ免カル、ニ足ルト思フトキハ一應ノ言渡ヲ爲シテ之レヲ受取ラシムルナリ」

此方法ト違ヒ爲替手形ハ債主ハ誰レナリヤヲ知ルヘカラサルヲ以テ此「チツプルレール」ノ方法ヲ用ユル「能」ハス

仍テ爲替手形ニ付テハ別ニソノ方法アリ

商法「コード」ニハソノ規則ナシ

商法「コード」ノ出來サル以前共和第三年熟月六日ノ法アリ 千七百九十五年ニ當ル

此ニ至ル迄チ此法ヲ用ユルナリ

ソノ法ニ循ヘハ差サレ人ハソノ手形ニ記載スル所口ノ金額ヲ受取人ト云フ官吏ノ役所ヘ預ケルナリ

而シテソノ役所ノ簿冊ニ左ノケ條ヲ登記ス

第一ニ金額ノ數

第二ニ最モ前キノ指令人ノ姓名ヲ記シツノ官吏ハ預カリ證書ヲ出ス  
ナリ

差サレ人ノ義務ハ濟ムナリ

此手數ヲ遂ケタル上ハ持主ニテ金ヲ拂フヘシト云フトキノ預リ證

書ヲ手形ト引換ニ渡シツノ官吏ヨリ受取ラシムルナリ

ソノ會計官吏ノコトニ付ソノ後改革アリ

千八百十六年七月八日ノ法ニテケイストデボエ、コンシニヤシヨシ金銀及ヒ諸物ノ預リ役所ナルモノ立

チタリ

之レハ各人ノ集合ヨリ成リテ政府ヨリ保護ヲ加フルモノナリ而シテ

多人數ノ世話人モアリテ至ツテ大キナル體カナル預カリ所ロナリ

目下ハ此役所へ預ケルナリ

之レハ到ル所ロニ在ルモノニアラスソノ無キ地方ハ大藏省ノ租稅取

立テ役所へ預ケルナリ

之レマテハ爲換手形ヲ失ハスシテ持主ノ持チ來リタルトキノコトナ

リ

然ルニ爲替手形ヲ失ヒタルトキノコトヲ説カントス之レニ二ツノ區別

アリ

第一ニ未タ期限ニ至ラサル前ニ手形ヲ失ヒタルコトヲ覺リタリソノ

トキハ如何スヘキヤ

ソノ内ニモ亦小區別セサルヘカラス

小區別第一ニハ

差立人ノ方ヘ行キ最初ノ手形ヲ失ヒタルニ付再ヒ手形ヲ作ルコトヲ頼

ムナリ之レヲ再度ノ手形ト云フ

之レハ一ツノ手形ヲ二葉ニ作ルモノ、如シツノ第二次ノ手形ヲ以テ

金ヲ受取ルトキハツノ第一次ノ手形ハ廢物トナルモノナリ  
即チ第四百四十七條ニ當ル此條ノ云フ所「云々」トアリテツノ内ノ一葉  
ニ對シテ金ヲ拂フトキハツノ他ノ手形ニ對シテ拂フニ及ハサルナ  
リ

小區別第二

爲替手形ヲ失フタル人ハ最初ノ受取人ニアラスシテ裏書中ノ人ナラ  
ハツノ以前ノ裏書人ニ對シテ第二次ノ手形ヲ作ルヲ求メサルヘカ  
ラス

之レハ第一百五十四條ニ「云々」トアリツノ裏書人ハ差立人ニアラス第二  
次ノ手形ヲ作ルノ權ナシ仍テツノ前ニト順序ヲ追ツテ溯リテ差立  
人ニ對スルナリソノトキニ初メテ失ヒタルモノト差立人トノ應接  
トナルナリ

何ノ爲メニ失ヒタル人ニテ直チニ差立人ニ對スルヲ得スト爲シタ  
ルニ元來差立人ト失ヒタル人ト互ニ知ラサルモノユヘ詐偽ヲ防ク  
爲メナリ

但シツノ第二次ノ手形ヲ作ル費用ハ總テ失ヒタル人ヨリ之レヲ拂フ  
ナリ

前會ニ持主ニテ差サレ人ニ手形ヲ失ヒタルニツキ之レヲ拂フヘガラ  
スト故障ヲ云フヲ「説キタリ此場合之レナリ前ノ裏書人ニ掛ラサ  
ル前ニ之レヲ爲スナリ

タトヒ失ナヒタリトモ水火ノ爲メニ失ヒテツノ手形ノ形狀ヲ傷リタ  
ルトキハ此故障ヲ云フニ及ハストス

第二ノ區別ハ

手形ヲ失ナヒタル人ニテ期限ニ至リテ始メテ覺リタルトキ

之レハソノ受取リニ行クトキ又ハ二三日前ニ覺リタルトキチ云フ  
ソノ内ニモ亦小區別アリ

小區別第一

手形ヲ第一第二第三ト數葉作りタルトキソノ内ノ一葉承諾書アリ  
然ルニソノ承諾ノナキ手形ヲ失ヒタリ  
之レハ尤モ決シ易キナリ

ソノ承諾ヲ記シタル手形ヲ持チテソノ金額ヲ受取ルヘキナリ

小區別第二

數葉ノ内承諾ヲ記シタル番號手形ヲ失ヒタルトキニハ持主ハ他ノ數  
葉ヲ所持スルトモ之レハ承諾ノナキモノナリ

然ルニ之レヲ差サレ人ニ持チ行キテ拂ヒ方ヲ求ムルトキハ差サレ人  
ハ甚タ危フムモノナリ

之レハ第一百五十一條ニアリ〔云々〕此時ハ裁判所へ其旨ヲ届ケ出テ裁判  
官ノ言渡ヲ受ケ且保證人ヲ立テタル上ニテソノ拂ヒ方ヲ求ムルコ  
ト、ス

小區別第三

持主ニテ手形一葉ナリヤ數葉ナリヤ承諾ヲ記シタリヤ記セサリシヤ  
ヲ論セス總テ失ヒタルトキハソノ持主ハ我カ所有權ヲ主張シテ言  
ヒ出ス端緒ナシトス

故ニソノ人ニテ實ニ我レハ手形ノ所有主ナリシト云フ證據ヲ立テサ  
ルヘカラス

ソノトキハ有ル限りノ證據ヲ出シ且ツ商人ナルニ付キ帳面ヲ出シテ  
證ト爲スソノ上證人ヲ立テ、裁判所へ願ヒ出テ裁判官ノ言渡ヲ受  
ケタル上ニソノ拂ヒ方ヲ求ムルナリ

之レハ第五百五十二條ニアリ

手形ヲ所持スルモノハ種々ノ拂ハシムル道アリソノ道ヲ盡シタリト

モソノ拂ヒ方ヲ得サルヲアリタトヘハ裁判官ニテソノ簿冊ヲ檢査

シタレモソノ申立ノ慥カナラサルニヨリテ拂ヒ方ヲ言渡サスト云

フヲモアリ

又タトヒ言渡シアリトモ差サレ人ニテ承諾セサル間ハ之レヲ拂ハサ

ルヤモ知ルヘカラス

右ノ場合ニ於テ持主ニテ大切ナル權利アリ之レハ前ノ裏書人ノ連帶

セルモノヘ對スル權利ヲ保有セサルヘカラス

ソノ權利ヲ得ルニハ「ボロテイト」要償書ヲ作りソノ手形ノ寫ヲ記入セサ

ルヘカラス

然ルニソノ手形ヲ失ヒタルニツキソノ寫ヲ作ルコト能ハス一ツノ權

利チ欠キタルモノナリ

ソノトキハ第五百五十三條ニ循ヒ「プロテスタシヨ」ノ書ニ因リテソノ

手形ヲ失ヒタル證ヲ留メサルヘカラス

ソノ拂ヒ期限ノ翌日ニ此書ヲ作りテ十五日間ニ裏書人ニ相談ヲ爲ス  
ナリ

第五百五十一二條ニ云フ保證人ハソノ保證ニ立ツテヨリ三ヶ年間ノ期

滿得免ナリ

商法ニ於テハ五年ノ期滿得免ナレモ之レヲ三年ト定メタルハ此ノ如

キ時ハ年限甚タ長ケレハ證人ト爲ルモノナキユヘ短カク爲シタリ

併シソノ金ヲ受取りタルモノハ三年ヲ過キタリトモ故障アレハ裁判

所ヘ呼ヒ出サル、ナリ

次會ニハ仲入拂人（井ヨール、バレル、アンデルバンシヨ）ノコトヲ説カントス



第三十七號 明治八年四月廿七日

第十款ノ他人ニ渡シテ手形ノ金額ヲ拂フコトヲ説カントス  
第百五十八條

手形ノ金額ヲ拂フヘキ期限ニ至リテ差サレ人ニテ拂ハサルトキ他人ニテ之レヲ拂フコトヲ仲入ノ拂ヒ方ト云フナリ

他人トハ差立人又ハ差サレ人又ハ裏書人ノ朋友又ハ親族中ニテソノ人ニ代リテ拂フ者ヲ云フ

之ハソノ拂フヘキ人ノ顔ヲ立ツル爲メナリ  
但シ朋友親族ニ限ルヘカラス何人ニテモ可ナリトス

過日説キタル頼マレ人即チ之レナリ  
先ツ何レノ時ニ拂フヤヲ説キ次ニハ之レヲ拂ヘハ何レノ事ヲ生スルヤ

ヲ説カントス

仲入ノ拂方ヲ爲スモノハ未ダ嘗テソノ爲替手形ニ付テ義務ヲ負ハサルモノナルヘシ聊カタリトモ義務ヲ負フタルモノハ之レヲ爲ス能ハス

過日説キタル仲入ノ承諾人ニテ拂ヒタルトキハ仲入ノ承諾人ノ拂ヒタルナリ仲入ノ拂方ニハアラス必ラス始メテ入り來ル人ナリトス

ソノ拂ヒ方ハ期限ノ來リタルトキニアラサレハ爲スヘカラス  
ソノ期限ニ至リテ差サレ人ニテ果シテ拂ハサリシトキ要償ノ書ヲ以テ拂ハサル證ヲ立テタル後チニアラサレハ之レヲ爲スヘカラス

仲入ノ拂ヒ方ハソノ手形ニ付テ義務ノ無キモノナルコトハ已テニ説タリ然レトモ差サレ人ハ持主ヨリノ催促ヲ受ケテ拂フコトヲ得スト

斷ハリタレトモ差サレ人ノ名ヲ離レテ別ニ差立人ノ代リニ之レヲ

拂フコトヲ得ルナリ

第百十七條ニ「拂方手形ヲ承諾シタルトキハソノ手形ノ金額ヲ拂ヒ方ニ備ヘ置キタルト見做スヘシ」トアリ此ノ如ク承諾セシノミヲ以テ金額ヲ備ヘタリト見做スナリ然ルニ之レヲ拂フタル上ハ備金ノアルヲ論テ俟ス故ニ差サレ人預ケ金アリト見做サレサルカ爲メニ之レヲ拂ハス

即チ第百十七條ノ推定法ヲ逃ル、爲メニスルナリ

又差サレ人ニテ裏書人ノ爲メニ拂ヒソノ後ニソノ金額ヲソノ裏書人ヨリ取り戻スヲ得ルアリ

仲入拂方ヲ爲スニ裏書人中誰レノ爲メトソノ指様ニ依テソノ義務ヲ逃カル、人ノ多少ヲ生ス

日付ケノ前キナル舊キ裏書人ノ爲メト指セハソノ義務ヲ逃ル、人多

キ理ナリ

タトヘハ十二人ノ裏書人アリソノ五人目ノ人ヲ指ストキハ六人目以下ハ總テ逸ソタルモノナリ何トナレハ手形ノ裏書人ハ順次ニ溯リテ義務ヲ責メラル、ユヘナリ  
ソノトキハ五人目ヨリ四人目へ溯リテ君ノ爲メニ拂ヒ置キタルユヘ之レヲ拂フヘシト促カシ終ニ差立人ニテソノ金額ヲ拂フコト、ナルナリ

ソノ指シタル人ニヨリテ義務ヲ逸カル、ノ多少ヲ生スルニツキ法律ニ於テ定メタルヲアリ

仲入拂方ノ數人來リ甲ハ誰レノ爲メ乙ハ誰レノ爲メニ拂フヘシト云ヒテ争フコトアリ

之レハタトヘハ東京ノ甲ニテ横濱ノ乙へ金ヲ貸シタルコトアリ然ルニ

横濱ノ丙ハ手形ノ持主ナリソノトキ乙カ手形ノ金額ヲ甲ニ代リテ  
拂フトキハ甲ヨリ借リタル負債ヲ消ス譯ナリ又同商輩ノモノニテ  
ソノ負債ヲ消ス爲メニ拂フトモアリソノ争トナリタルトキハ中ニ  
就テ舊キ裏書人ノ爲メニ拂ハシムルナリ去レハ自然ト義務ヲ免カ  
ル、モノ、多クナル理ナリ但シ差立人ニ代ルト云フトキハ更ニヨ  
ロシキモノトス

又差立人カ又ハ裏書人一人ノ爲メニ拂フヘシト云フ人数人アルトキ  
ハ之レヲ如何スヘキヤト云フトキハ第五百五十九條ニ於テ之レヲ定  
ムルナリ

ソノ数人中ニ於テハ拂ハシメスソノ差サレ人ニ拂ハシム此條ノ末項  
〔拂方嘗テ手形ヲ承諾セシテ云々〕トアリ此拂方ハ即チ差サレ人ナ  
リ

如シソノ差サレ人ノ居ラサルトキハ法律ニハ記載ナキユヘ商法裁判  
官ノ思量ニヨリテ数人中ノ一人ヲシテ拂ハシムヘキナリ

仲入ノ拂方ヲ爲サントスルトキ手形持主ニテ之レヲ承諾セサルコト  
アリ之レハソノ人ヲ好マス又ハソノ金額ノ相違セシ等ノトキナリ  
然ルキハ仲入拂方ニテ〔チップルレール〕提供ヲ爲スナリ

之レハ使吏ニ持タセテ強テソノ金ヲ渡タスナリ  
過日説キタル場合ハ持主ノ知レサルトキユヘ〔チップルレール〕ヲ用ユ  
ルヲ能セス此場合ニ於テハ持主モアリソノ住所モ分明ナルユヘ

〔チップルレール〕ヲ爲スヲ得ルナリ  
以下ハ仲入拂方ヨリ生スルコトヲ説カントス  
他人ヨリ拂フトニ付テハ法律ニ於テハ之レヲ保護シテ柔カナル規則

ヲ立テタルモノナリ

民法ニ於テハ人ノ爲メニ金額ヲ拂ヒタルモノヲ<sup>セスセナンダフエール</sup>「治産ノ代理」ト云フソ  
ノ拂ヒタル後本人ヨリソノ償ヒ戻シテ求タルコトヲ得ルナリ  
代權人ナルモノアリ之レハ債主本人ニ代リテソノ人ノ總テノ權利ヲ  
行フコトヲ云フナリ

民法第千二百五十條ニアリタトヘハ甲ニテ乙ヘ金ヲ貸シタリソノ拂  
フヘキ期限ニ至リテ乙ニテ之レヲ拂フコトヲ得ス仍テ丙コト之レ  
ニ代リテ甲ヘ拂ヒタリソノトキハ丙ニテ乙ヘ君ニ代リテ拂ヒタル  
ユヘ之レヲ返スヘシト云フコトヲ得ルナリ之レハ治産ノ代理ノミ  
ナリ是ト異ナリモシ丙ニテ甲ヘ行キテ之レマテハ君ハ債主ナリ以  
後ハ我レニソノ權ヲ讓ルヘシト云フトキ甲コト之レヲ許ストキハ  
即チ代權人トナル此代權人ハ利益アルコトニテ初メ動不動産ノ抵  
當トナリタルモノモ總テ丙ノ方ヘ引キ取ルナリ

但シ民法ニ於テハソノ甲ニテ許サレハ代權人ノ權ヲ得ルコト能ハス  
爲換手形ニ於テハ此仲入拂方ニテ既ニ金ヲ拂ヒタル上ハ元債主ノ許  
ヲ俟タスシテ即チ持主ノ權ニ代ルナリ

第百五十九條ノ第一項ニ云フ所口之レナリ  
此文面ニテハ意味ノ全カラサル所口アリ「ソノ持主ノ權ニ代リ」トアリ  
持主ノ權ハ廣キモノニテ總テノ裏書人又ハ差立人ニ求ムルコトヲ得  
ル

仲入ノ拂人ハ我カ指ス所口ノ人又ハソノ前キノ舊キ裏書人又ハ差立  
人ニ求ムル權ノミニテ持主人トハ少シク違フナリ仍テ此文中ニソ  
ノ意ヲ補足スヘキナリ  
「ソノ代リテ拂フタル人並ニソノ前ノ裏書人ニ對シテハ」ノ字ヲ足スヘ  
キナリ

之レマテ説キタル所<sub>ロ</sub>チ以テ見ルトキハ仲入拂方ニ付テ三ツノ都合  
ヨロシキコアリ

第一ニハ手形ノ持主ニテ喜フナリ

第二ニハ裏書人ノ内ノ一部ノモノハ義務ヲ免カル、ナリ

第三ニハ債主代リテ剛ハキ債主ハ柔カナル債主トナル何トナレハ持

主ハ期限ノ來リタルキハ直チニ拂フヘカラサルヲ得ス然ルニソノ

朋友親族ナルユヘ強テ債ルニハアラス又時ニヨリテ差引勘定等ア

ルトキハ全ク之レヲ拂フニ及ハサルニ至ルヘキナリ

仲入拂人ハ持主ノ代權トナルニ付テハ持主ト同シ手ツ、キヲ爲スノ

義務アリ

拂方ヲ爲シタルトキハ要債ノ書ヲ作りテ舊キ裏書人ヘ送達シソノ後

十五日目ニ裁判所ヘ出席セサルヘカラス

或人曰ク

既ニ期限ノ過キタル爲換手形タトヘハ三月限リノ手形ヲ四月ニ至リ

テ裏書ヲ爲シテ人ニ讓ルコトヲ得ヘキヤト云フトキハ之レヲ爲スコ

妨ケナシトス

然ルニ仲入ノ拂方ニテ期限ヲ過キタル手形ヲモ期限後ニ裏書ヲ爲シ

テ人ニ讓リ渡スコトヲ得ヘキヤト云フトキハ之レヲ爲スコトヲ得サル

ト決スヘシ

何トナレハ仲入ノ拂方ハ裏書ヲ以テ人ヨリ讓リテ受ケタル利益人ニ

アラサレハ人ニ讓リ渡ス權ナシ

第十款ハ濟ミタリ次會ニハ第十一款ヲ説カントス

第三十八號

明治八年  
五月二日

六五四

今日ハ第十一款ノ手形持主ノ權利ト義務トヲ説カントス  
持主ハ權利ト義務トヲ有ス

ソノ手形ヲ拂フヘキ期限ニ至レハ之ヲ受取ルノ權利アリソノ權利  
ヲ行フニ付キ爲スヘキノ義務アリ仍テ權利ト義務トヲ同時ニ説キ  
タルモノナリ

ソノ權利ト義務ハ始終一時ニ來ルユヘニ相混シテ説クヘシ

第一ニ持主ニテ我カ權利ヲ保ツニハソノ期限ノ日ニソノ手形ヲ拂ヒ

方ニ示サ、ルヘカラス

期限ノ日ハ分カリ難キコアリソノ手形ヲ作りタルヨリ何日目ニ拂フ  
ヘキ手形ハ見易スシ

又見タルヨリ何日目ニ拂フヘキ手形ナレハ見易シ

只ソノ見タル日ニ拂フヘキノ手形ハ見難シ之レヲ説カントス

見タル日ニ拂フヘキ手形ハ持主ニテ何時マテモ之レヲ所持スルコト自  
由ナリ

然ルニ持主ニテ久シクソノ拂ヒヲ求メサルトキハ他ノ人ノ迷惑トナ  
ルナリ

仍テ見タル日ニ拂フ手形ノ拂ヒ方ハ法律ニ於テソノ期限ヲ定メタリ  
ソノコトハ第百六十條ニアリ

此長キ條ノ大意ハソノ手形ハ作りタルヨリ何月ニ拂フヘキナリ

總條チ四ツニ切りテ道路ノ遠近ニ循ツテ區別セシモノナリ

第一ハ歐洲之レハ三ヶ月間

第二ハ地中海邊之レハ四ヶ月間

第三ハ「アフリカ」又ハ「アメリカ」之レハ六ヶ月間

第四ハソレヨリ遠キ地方之レハ一年間

七五四

此三ヶ月四ヶ月六ヶ月一年ノ四ツノ定マリタル期限ニ於テモ海上ニ  
戦争アルトキハ之レヲ一倍ト爲ス

之レハ運漕ノ便利ヲ欠クユヘナリ

此規則ハ法律上ニテ定ムルモノニテ差立人ト受取人トノ間ニ別段ナ

ル契約アルトキハソノ契約ノ期限ニ循フヘキナリ

タトヘハ法律ニハ三ヶ月トアルモノヲ二ヶ月ト爲ストモ四ヶ月ト爲

ストモ妨ケス

之レハ國法ニモ風習ニモ關セサルコトユヘ此ノ如ク自由ニ爲シタルモ

ノナリ

第二ノ義務ハ

手形ノ持主ハ期限ノ日ニ手形ヲ差出シタリトモ差サレ人之レヲ拂ハ

サルトキハ要償ノ書ヲ記スヘシ之レヲ記シタル上裏書人差立人ヘ

求ムルノ權利ヲ生ス

之レハ第百六十二條ニアリ

第百六十二條 拂方ニテ手形金高ヲ拂フコト肯セサルキハ手形ノ持

主其拂期日ノ翌日拂ヲ得サルニ付テノ要償ノ書ヲ記シテ其旨ヲ證ス

ヘシ若シソノ翌日法律上ニ定メタル祭日ニ當ルキハ翌々日其要償ノ

書ヲ記スヘシ

要償ニニタ通りアリ之レハ拂ヒテ得サルニ付テノモノナリ

「プロテート」要償書ト云フ字義ヲ説カントス

「プロテート」ハ指令ノ手形ニ付タル特別ノ證書ナリトス

指令ノ手形トハ爲替手形又指令ノ手形又「エセツキ」手形之レハ總テ何

某ノ指令ニ依テ拂フト書クモノナリ

ソノ書中ニハ

第一ニ期限ノ來リタルニ付キ拂方ヲ求メタル旨ヲ記ス  
 第二ニ何某ノ指令ニ仍ツテ之レヲ何某ヘ拂フヘキ旨ヲ記ス  
 第三ニ何某ニテ之レヲ肯ンセサル旨ヲ記ス  
 「プロテート」ニソノ拂方ヲ肯ンセサルコトヲ記スルハ要用ノモノニテ  
 他ノ證書ヲ以テ替ユヘカラサルナリ  
 之レハ使吏ニテ作りソノ文例ニ定マリアリ  
 ソノ他尋常ノ證書ニテハソノ用ヲ爲サス  
 之レハ第七十五條ニ〔本文云々〕ト記シテアルナリ  
 照明ノ證書ナルモノアリ要償ノ書ハソノ一ナリ  
 要償ノ書ハ公證人又ハ使吏ニテ之レヲ作ルナリ實際ハ重モニ使吏ニ  
 テ作ルナリ之レハ持主ニ代リテ作ルナリ  
 ソノ記載ノ方法ハ第七十四條ニアリ

爲換手形ノ文面ヲソノマ、ニ書キ裏書アレハソノ裏書又承諾アルト  
 キハソノ承諾ヲ記ス  
 ソノ頼マレ人差サレ人ソノ他手形ニ手署セシモノニテソノ住所ニ居  
 ラサルトキハ拂ヒ方ヲ肯ンセサルト見做スナリ  
 若シ住所ニ居リタリトモ拂ハサルトキハ使吏ニテソノ肯ンセサルカ  
 又ハ金ナクシテ拂ハサルトキハソノ旨ヲ記シソノ後ニ差サレ人並  
 ニ使吏ニテ手署スヘキナリ如シ差サレ人ニテ手署スルヲ欲セス  
 又ハ手署スルヲ得サルトキハソノ旨ヲ附記スルナリ  
 要償ノ書ハ差サレ人一人ノミナルトキハ正副二通ニテ足レリソノ正  
 書ハ使吏ニテ持チ販リ副書ハソノ拂ハサル人ニ遣シ置ク然ルニ時  
 ニヨリテ數人ヘ要償ノ書ヲ送ラサルヲ得サルコトアリ  
 タトヘハ本人モ仲入人モ拂ハサルトキハ正書ヲ一葉ニシテソノ副書



ヲ數通作ラサルヘカラサルナリ

〔要償ノ書ハ左ノ場所ニ行キテ之レヲ作ルヘシ〕トアリ又〔此等ノ場所ニ往テ作ル要償ノ書ハ唯一通タルヘシ〕トアリ

唯一通トハ正書一通ノヲ云フ副書ヲ數葉寫シテ之レヲ數ヶ所ヘ遣シ置クヘキナリ

〔場所ニ之レヲ送ル〕此等ノ場所ニ送達スル〕トアルハ譯書ノ誤マリナリ

〔場所ニ往キテ作ル〕ト改正スヘシ

要償ノ書ハ正副アリテ正書ハ使吏ニテ持チ販リテ持主ヘ渡スユヘ十分ノ證據アリテ他日差サレ人ニテ之レヲ得サリシトハ云フヲ得サルナリ

然ルニ一葉ノ證書ハ紛失ヲ爲スヤモ料リ難シ仍テ第百七十六條ニ於テ使吏ハ別段設ケタル簿冊ニ日々順序ヲ追テ記入スルヲ説イテ

アルナリ

〔プロテ〕ノ解ハ濟ミタリ仍テ第二ノ義務ニ返ツテ説クヘシ

拂ヒ期限ノ翌日要償ノ書ヲ記スヘキナリ之レハ必ラス作ラサルヘカラサルヲ第百六十三條ニ嚴重ニ言ヒタリ

此第百六十三條ニ云フ所ハ前キニ承諾ノ要償ノ書ヲ作りタリトモ拂ヒ方ノ要償ノ書ヲ作ラサルヘカラス

タトヘハ拂ヒ方ノ死去セシトキ又ハ分散トナリタリトモ必ラス記セサルヘカラス

差サレ人モシ死シタルトキハ相續人分散ノキハ其管財人ノ所ヘ往キテ作ラサルヘカラス

差サレ人承諾ヲ爲サ、ルトキハソノ期限マデ待タサルヲ得ス之レハソノ財産ノ模様變更シテ期限ニ至リテ拂ヒヲ爲スヤモ知ルヘカラ

サレハナリ  
第三ニハ

爲替手形ニ手署シタルモノ即チ差立人並ニ裏書人ニ對シテ持主ヨリ  
各ソノ義務ヲ責ムルノ權アリ

ソノ權ニ二種アリ商法中混シテ一ツト爲シタリ

第六十四條ノ

持主ヨリ他ノ手署セシ人ニ對シテノ權利アリ

手署セシ人ノ中ニテ持主ヘ拂ヒテ爲シタルトキハソノ人ハ持主ノ權

利ノ如ク他ノ手署セシ數人ニ對シテノ權利アリ

第六十三條ノ第二項ハ未タ期限ニ至ラサルトキニ分散トナリタル

トキノコチ云フソノトキハ未タ期限ニ至ラストモ要償ノ書ヲ記シ

テ拂ヒ方ニ求ムヘキヲ云フ此所ロニ死去セシトキノコチ云フニ及

ヤ

ハス何トナレハ期限前ニ死去シタリトモ相續人アリ併シ分散ノト

キ之レヲ云ハサレハ總テナクナレハナリ

第六十四條

持主ニテニタ通りノ權アリト云ヒタリ

ソノ訴ヘ方ハ一ト纏メニ訴フルトモ又各自ニ訴フルトモ妨ケナシ

各自ニ訴フルトキハ第一ニ我レニ讓リタル人ヲ訴フルナリ之レハ知

リタルモノナレハナリ

如シソノ人ニテ拂フコチ得サルトキハ又ソノ前キノ人ニ求ムルナリ

各自テ求ムルトモ一ト纏メニ求ムルトモンノ訴訟ヲ爲スニハ先ツ二

タ通りノ手ツ、キヲ爲スヘシ

先ツ我カ求ムヘキ人ニ對シテ要償ノ書ヲ記セサルヘカラス

各自ナルトキハ各自ニ記シ一ト纏メナルトキハ一ト纏メニ記スヘシ

ソノ要償ノ書ヲ記シテヨリ十五日ノ間ニ呼ヒ出スヘキナリ  
實際ハ要償ノ書ヲ記シタル翌日ニソノ呼ヒ出チ爲スナリ  
此日數ハ商法ニハ定メテナシ

實ハ此日數ヲ法律上ニテ定ムル方ヨロシ  
ソノ訴訟ヲ爲スノ方法ハ濟ミタリ

持主ノ權ハ如何ナルモノナリヤチ説カントス

ソノ求ムル所ロノ人ヲ區別シテ説カサルヘカラス

第七十條ノ意

持主ヨリ差サレ人へ求メテモ拂ハス途ニ差立人へ對シテ求ムルトキ  
ノ權ハ二ツニ區別セサルヘカラス

如シソノ持主ニテ要償ノ書ヲ記シ呼出シテ掛ケルノ手ツ、キチ過ラサ  
ルトキハ差立人ニテ十分ニ我カ義務ヲ盡クサルヘカラス即チ金

ヲ拂フヘキナリ

如シ持主ニテソノ手ツ、キニ過マチアリテ要償ノ書ヲ記セス

呼出チ掛ケス十五日以内ニアラサルトキハ少シ違フナリ

元來差立人ニテハ手形ヲ作りタル上ハ備金ヲ爲シ置キタルトキ持主

ニテ手ツ、キ過リタルトキハソノ差立人ノ云ク我レハ備金アリ君

ノ手ツ、キ違ヒタルユヘ差サレ人ニテ拂ハサルナルヘシ仍テ我カ

備金アルヲ言ヒ立ツヘシト云ヒテソノ義務ヲ免カル、コトヲ得

ルナリ

如シ差立人モ備金ヲ爲サス持主モ手ツ、キチ過チタルトキハ差立人

ハソノ拂フヘキ義務ヲ免カル、コトヲ得ス

持主ト差立人トノ議論ニ持主ニテハ差サレ人ニテ拂ハサルユヘ君之

レヲ拂フヘシト云フトキ差立人ノ答ヘニ我レハ差サレ人へ預ケ金

チ爲シタルユヘツノ義務ヲ免カレタリト云フナリ  
 此所ロヘ第百十七條ノ推定法ヲ云ヒ立ツルコトヲ得サルモノトス  
 ツノ得サル所以第百十七條ハ差サレ人ト差立人トノ議論ノトキニ用  
 ユル法ナリ君ハ承諾セシニアラスヤ我ラハ備金アルヘシト責ムル  
 トキノコナリ仍テ持主ト差立人トノ間ニ用ユルコトヲ得サルナリ  
 仍ツテ別ニ備金ノアリタル證ヲ立ツヘキナリ  
 今日ハ持主ニテ差サレ人ヘ對シテ求ムルノ權利ヲ説キタリ  
 次會ニハ持主ニテ他ノ裏書人ヘ對シテ求ムルノ權利ヲ説クヘシ

第三十九號 明治八年九  
 月廿二日  
 第百六十條ヨリ

本日ハ爲替手形持主ノ義務ト權利トヲ解カントス

先ツ持主其義務ヲ盡クスニハ如何ナル方法ヲ用タルガヲ説クヘシ  
 手形持主ノ義務ハ爲替手形ノ期日ニ其手形ヲ拂方ニ示スヲ以テ第  
 一ト爲スヘシ

此爲換手形ノ拂ヒヲ受取ルニ期日ノ極マリタルモノハ甚々分り易  
 シ例ヘハ手形面ニ來ル何月十五日ト期限アレハ其日ニハ必ス受取  
 ヘキカ如シ

其期日ナクシテ持主ヨリ拂方ニ手形ヲ示シタル時又ハ示シタル日  
 ヨリ何日目トカ何月目トカニ拂フヘシトアルモノハ期日ノ定リタ  
 ル者ヨリハ其日ヲ算スルニ少シク煩シ

然レモ實際ニ於テ手形ヲ拂方ニ示ス時即時ニ拂フト又ハ何日目ト  
 カ何月目トカニ拂フヘキノ約定少ナシトセス

此第百六十條ニハ期限ヲ手形ノ日附ヨリ三ヶ月ト定メアリ故ニ其

三ヶ月ノ期限ヲ過シル時ハ其手形ノ効ナシトス  
 此三ヶ月ノ期限ニ定メアルハ全ク歐羅巴ノ諸國諸島又ハ「アルセリ  
 ー」ト佛蘭西本國トノ如キ最近シ且ツ旅行ニ便利ナル所ノ爲メニ定  
 メタルナリ其便利ノ地ハ期限短ク不便利ノ地ハ期限長シ其遠近ニ  
 準シテ長短アルノ手續ハ此條中ニ記載アルニ付熟視アラハ分ルヘ  
 シ  
 併此等ノ期限ヲ長クスルコトアリ是レハ海上ニテ戰爭アル時ニシテ  
 航海遲延スルコトモ鮮ラスニ付此等ノ期限ヲ倍層スルナリ總テ手形  
 ナ示シタル日ヨリ拂ヒ期限チ一ヶ月ト定メタル時例ヘハ七月一日  
 ニ手形ヲ拂方ニ示シタル日ハ即チ八月一日ニ金高受取ヘキナリ  
 其拂ヒ期日ヲ假令ヒ一日ナリトモ後レテ受取ニ行ク時ハ已ニ其權利  
 ナ失フヘシ故ニ其持主ノ義務ニ付最緊要ノ事ニツアリ第一其手形

チ示シテヨリ必ス一ヶ月目ノ期限ニ違ハス受取ニ行クヘキコト第二  
 其手形ヲ示シタル時拂方ニテ承諾セスト云フ時ナリ  
 其時ハ先日モ説キタル通り要償ノ證書ヲ作ラサル可カラス  
 此要償ノ證書ノ「ハ」已ニ屢々説キタリト雖モ尙又講明スヘシ  
 此證書ハ必ス持主ニテ作ルヘキ者ト雖モ自ラ之レヲ作ルニ非ラス  
 其公證人又ハ使吏ニ作ラシムルナリ  
 此證書ハ持主ノ爲メチ主トシテ作ルモノナリ  
 此證書ニ付テハ書式等正シキ成規アル故ニ文言等妄ニ増減スルコ  
 ト能ハス必ス法律ニ於テ定メタル書式ニ從ヒ作ルヘキナリ  
 故ニ右書式ノ外文言等似寄ノ證書ヲ以テ之レニ代用シ其拂ヒヲ求  
 ルコト能ワス

第七十三條ニ此證書ヲ作り得ヘキ人ノコトヲ説キ明セアリ

總シテ法律上ニ於テハ證人立合ノ上公證人又ハ使吏ニテ作ルヘシ  
トノ成規アレハ現今實地上ニテハ輕便ヲ旨トシ多ク使吏ニテ之レ  
ヲ作ルナリ

又タ此證書ニハ何様ノ事ヲ記スヘキヤヲ云ハンニ

第一ニ爲換手形ニ記載アル悉皆ノ文面例ヘハ承諾ノ文面裏書ノ文  
面等

第二ニ金高ノ拂ヲ要ムルコト及ヒ爲換手形ニ付義務ヲ負フ者其住所  
ニ在リタルコト又ハ在ラサルコト

第三ニ義務アル者拂ヲ肯セサルノ趣意及此要償ノ證書ヲ作ルニ至  
リシ趣意

此證書ヲ作リタル上ハ使吏自ラ拂方ノ住所ニ往キ彌拂フカ不拂カ  
ノ決答ヲ問ヒ糺スヘシ

此場合ニ至リテハ大概不拂ト云フヘシ其時ハ此應答ノ有様始末ヲ  
使吏自ラ調書ニ作リテ義務アル者ニ示シ異議ナシト答フル時ハ之  
ニ調印爲サシムヘシ若シ此調印ヲ拒ム時此調印セサル旨ヲ此調書  
ニ記スヘシ

其調書ヲ作ル時ハ其初メニ爲替手形ノ文面ヲ盡ク記スヘシ

例令ハ金高何程其差立人何某拂方何某裏書人何某ト云フコトヲ盡  
ク記スヘキナリ

此調書ヲ作ル場所ハ順次各々異ナルナリ

第一拂ヲ承諾セサリシ拂方ノ住所ニテ作ルヘシ

次ニ他人ノ此事ニ關涉シ可拂ノ約定シタル者ノ拂ヒヲ承諾セサル  
片ハ其住所ニテ直チニ作ルヘシ

此調書ヲ右ニケ所ニテ作り差立人ノ住所ニ往キタル片差立人亦タ

不拂トノ答ヲ爲シタルキハ即時前ノ如ク調書ヲ作ルヘシ  
 右ノ場所々々ニテ作りタル調書各別紙ニ作ルニアラス且要償ノ證  
 書モ固ヨリ此調書ト別紙ナルニアラス  
 此調書ハ畢竟何月何日ヨリ要償ノ證書ヲ作ルコトニ取掛リケ様ノ  
 決末ニ至リ何月何日ヲ以テ作り畢リタル旨ヲ此證書ノ末文ニ詳記  
 シ總テ一通ニ作ルヘキモノナリ  
 若シ證書ヲ作ルニ怠リアル時ハ其受取ヘキ金高ニ付盡ク其義務ヲ  
 失フナリ故ニ此證書ハ手形持主ノ爲メ最モ大切ナル者ニ付持主ニ  
 於テ決シテ紛失ス可カラズ因テ紛失ノ患ヲ避ケン爲メ法律ニ於テ  
 二様ノ方法定ムルヲ左ノ如シ  
 第一日附及調印シタル要償ノ證書ノ寫三通ヲ作り右三ヶ所ノ住所  
 ニ送り置クヲ

第二使吏又ハ公證人ノ居ニ備ヘタル簿冊ニ此證書ノ文面ヲ遺漏ナ  
 ク謄寫スルヲトシ證據ノ爲メ備ヘ置クヘシ  
 右之通ニ寫シ備ヘアル故ニ若シ本書紛失シタル場合ハ之レヲ以證  
 據ト爲スナリ

第一百七十六條ニ記載ノ通り之レヲ其簿冊ニ謄寫スル時ハ其番號ヲ  
 附シ其姓名ニ代用スル横線ヲ畫スル等ノ手續ヲ備フヘシ

問 三ヶ所ノ住所ト云フハ何々ノ場所ヲ云フ歟

答 差立人拂方及ヒ他ノ關涉人ノ三ヶ所ヲ云フナリ

此所迄ハ手形持主ノ義務ヲ説キタリ  
 是ヨリハ其權利ヲ説クヘシ

持主ノ權利ハ先ツ爲替手形ヲ拂ハシムル時裏書人拂方差立人又ハ  
 干涉人ノ名前アル時其名前ノ者ニ向テ必ズ連帶ノ義務ヲ盡サシム

ルチ云フ

爰ニ持主ヨリ義務ヲ盡カシムルニ二様アリ

第一其手形ヲ拂ハシムル時其連帶ノ義務アル者共ニ向テ金高ヲ請求スルコト

第二差立人其外裏書人等ノ内一人ニ對シテ之レヲ請求スルコト

此手形ヲ不拂時ハ差立人ニ向テ請求スルカ又ハ裏書人ニ向テ請求スルカ

第百六十四條ニ粗説明アリ

拂方差立人及ヒ裏書人等五人アレハ其五人不殘ヲ裁判所へ呼出テ得ヘシ又ハ自ラ好ム所ニ隨ヒ其内一人ヲ名差シテ呼出スコトヲ得ヘシ

此事ヲ訴出ルニ付テハ法律ニテ定メアル方法ニ從フヘシ

若シ之レヲ訴出ント欲スル時ハ必ス其住所ニ告知スヘシ

其時ハ矢張使吏ノ作りタル要償ノ證書ノ寫ヲ其住所エ送達スヘシ

尤之レヲ裁判所ニ呼出スニハ要償ノ證書ニ記シタル日附ヨリ必ス

十五日目ニ呼出スヘシ

呼出狀ヲ付ルト告知ヲ爲スハ十五日間ニ限ルヘキ其日限ハ尋常ノ

呼出狀ニ比スレハ短キ日限ナリ何トナレハ商法上ニテ長ク時日ヲ

費スハ支障ヲ生スルコト多キ故ニ十五日ト定メタルナリ

其餘各所ノ道程ニ寄リ日限ヲ猶豫スルコトアリ

此事ハ第百六十六條ニ説明アリ

問 要償ノ證書ヲ送達スルコトハ即チ告知スルコトナルカ

答 固ヨリ同時ニシテ之レヲ告知スル時ハ證書ノ寫ヲ作り其末文ニ

告知スルノ文言ヲ書キ加ヘルナリ



問 十五日ト定メ短キ期日ヲ以テ呼出スハ何歟別主意アルコトカ

答 此期限ハ商法上ニ於テ長クスヘカラス如何トナレハ商人ニ各々互ニ責任ヲ持ツコト多キ者故ニ唯面倒ヲ生スルノミナラス商法上ニ於テ多少ノ損益ニ關スル故ナリ

問 民法ノ内ニ商人ヨリ商人ニアラサル者ノ證書期限ハ六ヶ月トコレ有リ商人互ノ掛賣ハ期限コレ無シ其期限コレナキモノハ佛蘭西ニテハ三十ヶ年迄ト云フヲ聞ケリ今説ク處ト反スルニ似タリ就テハ面倒ヲ生スル爲メノミナラス別段ニ短クスル子細コレアリヤ

答 爲替手形ノ期限ニ限り尋常ノ約定トハ自ラ差別アリ故ニ此要償ノ證書ノ期限ニ付テハ商人ト商人ニアラサル者ノ區別ナシ畢竟爲替ヲ證スル爲メノ證書ナル故即チ尋常ノ證書ト差

別アル所以ナリ尋常ノ證書ニ付テハ民法ト商法ト差別アルナリ此第百六十五條ニ呼出ノ期限ヲ記シテ告知ノ期限ヲ記セサルハ法律家ノ忘レタル者ト思ハル、ナリ此期限ヲ記セサル時ハ期限ノ極リナキ様ニ思ハル、ト雖モ總シテ告知シタル上ハ必ス先方ノ返答ヲ要スヘシ故ニ告知スルヲ八日目ト定メ十五日目迄其返答ヲ待テ呼出狀ヲ出スノ方法最モ然ルヘシト愚考スルナリ

問 實際上佛蘭西ニ於テハ告知呼出ハ同時ニ爲スヤ  
答 然リ何トナレハ一時ニ之レヲ出ス時ハ義務アル者モ猶豫ヲ求メス其呼出狀ヲ受タル上ハ直ニ其金高ヲ手形持主ヘ拂ヒ渡スコトアル故ナリ

呼出狀ヲ受ケタル上ハ法律上ニ於テ一日モ拂フコトニ付猶豫ノ期限ヲ許サス故ニ裁判ヲ受ケルノ煩苦ヲ避ケン爲メ多ク爰ニ至リ拂フコトアリ

差立人ニ向テ其金高ノ拂ヒヲ爲サシムル時ハ第一手形持主金高ヲ請求スルノ手續ニ付怠リノ有無ヲ糺スヘシ之レハ要償ノ證書等ノ手數ヲ盡セシヤ否ヲ見テ知ヘシ若シ手續ヲ盡シタルニ於テハ差立人ニ向テ有金高ノ拂ヒヲ求ムルコトヲ得ヘシ第二持主ニテ之レニ反シ若シ當然ノ手續ヲ盡サス例ヘハ期日ニ至リ金高受取トシテ拂方ヘ往サリシカ又ハ要償ノ證書ヲ作ルコトヲ怠ル時ハ右差立人ニ向テ之レヲ求ムルト雖モ其權利ヲ失フコトナリ  
何トナレハ其期日ヲ過キテ往クト雖モ或ヒハ拂方ニテ分散又ハ他ノ事ニ遣ヒ拂タリト云フコトアル故ナリ

此場合ニ於テハ差立人ニ向テ之レヲ求ムルト雖モ差立人ハ已ニ其金高ハ拂方ニ廻シ置タルニ付當方ニテハ最早關係ナキ故ニ拂方ノ許ニ行キ受取ノコトヲ談スヘシト主張スルコトアリ  
其時ハ持主モ又再ヒ拂方ニ行キ之レヲ求ムルコトアリ  
第七十條ヲ見合スヘシ尤差立人ヨリ爲シタル備金ヲ拂方ニテ拂ワサルハ畢竟其拂方分散等ニテ其備金ヲ他ニ遣ヒ拂ヒタル時ノ事ヲ云フナリ

然レモ其時ハ差立人ニ於テ備金ヲ儘ニ拂方ニ爲シタルノ證據ヲ必ス出スヘキナリ其證據ハ何月何日ニ拂方ヘ如斯手續ニテ儘ニ廻シタルト云フ證據ヲ出スヘキナリ然シ第七十七條ニモ説明アル如ク此證據ト爲スヘキニハ差出人ヨリ廻シ拂方ニテ承諾シタルコトヲ以證據ト爲ス可カラス尤差立人ト拂方トノ間ニ於テ争

論アル時ハ之レヲ以證據ト爲スヘケレトモ持主ト差立人トノ關係ニ於テハ其承諾ノコトヲ以證據ト爲スヘカラサルナリ  
 是マテハ差立人全ク備金ヲ拂方エ爲シタルキノ論ナリ  
 差立人ヨリ備金ヲ拂方エ未タ爲サ、ル時ハ持主ヨリ差立人ニ向ヒ拂方ニテハ未タ備金ヲ受取ラサル故不拂トノヲ以難論スヘシ  
 其時ハ差立人ニテ已ニ廻シタリト云フコト能ワス若シ之レヲ廻シタリト云フ時ハ持主ヨリハ尙オ差立人ニ向テ當然ノ手數ヲ盡シタリト雖モ拂方ニテハ差立人ヨリノ廻シ金コレ無キ故拂ハスト答ヘタル旨ヲ以テ詰論スヘシ  
 然ル時ハ裁判所ニ訴出ルニ至ラスシテ拂フヘキナリ若シ拂ハサル時ハ之レヲ直チニ訴出ヘキナリ

若シ右詰論ヲ爲ストモ差立人ニテ拂ハサル時ハ最初ノ持主ヨリ現金ヲ受取リタルコトヲ顧ミス人ヲ欺キ不正理ニ一己ノ利益ト爲シタル譯ニ付裁判官ハ差立人ニ向ヒ誠意正理ノ裁判ヲ以テ必ラス其金高ヲ拂ハシムヘキ言渡シヲ爲スナリ  
 是迄ハ拂方ト差立人トニ向テノ義務ト權利トヲ説キタリ  
 後會ニハ手形持主ヨリ裏書人ニテ金高ヲ請求スルヲ説クヘシ

第四十號 明治八年九月廿七日

前會ニハ手形持主ノ義務ト權利トヲ説キ掛レリ  
 併シ已ニ説ク所ハ持主ヨリ差立人ニ對シテ求ムルヲニス  
 持主ハ差立人裏書人及ヒ拂方等ニ對シテ求ムヘキ權利ヲ有スルヲ前ニモ屢々説キタリ

今爰ニ裏書人ノ内一人ニ對シテ之ヲ求ムヘキコトヲ説クヘシ  
 已ニ第四百四十條ニ示シアル如ク都テ爲替手形ヲ承諾シ裏書調印シ  
 タル者ハ其連帶ノ義務アル者ニ付其裏書人一人ニ對シ求ムルト雖  
 モ矢張差立人ニ求ムル如ク要償ノ證書ヲ作り之レヲ求ムルヲ得ヘ  
 シ  
 併カシ裏書人ニ對シテ求ムルキハ拂ヒ期日ニ受取トシテ拂方ニ往  
 クヘキハ勿論又々定期内ニ要償ノ證書ヲモ作ラサル可カラズ故ニ  
 此規則ヲ當然ニ履行セシ上ハ裏書人ニ於テ何様ノ巧舌ヲ以テ之ヲ  
 拒ムト雖モ裁判所ニテ屹度義務ヲ盡サシムヘキコトナリ  
 此第六十八條ノ定期ノ如ク其手續ヲ盡サ、ル時ハ裏書人ニ對シ  
 求ムルコトヲ得サル而已ナラス拂方ニ對スト雖モ此權利ヲ失フコト  
 ナリ

爰ニ拂方ハ差立人ト裏書人トニ付キ區別アリ夫レハ差立人ヨリ拂  
 方ニハ必ラス手形ノ期限内ニ備金ヲ爲サ、ル可カラズ  
 若シ其備金ヲ送ラサル時ハ持主ヨリ拂方ヘ之ヲ求メタル上即チ差  
 立人ヘ對シ之ヲ求メ且ツ責ムヘキ權アリ  
 併シ裏書人ニ至テハ固ヨリ其備金ノ有無ニ關スヘキニアラス故ニ  
 假令拂方ニテ備金ナキ故チ以テ答フルトモ之ヲ以テ一概ニ裏書人  
 ヘ之ヲ求ムル能ハス且ツ第六十八條ノ定期ノ手續ヲ盡サ、ル時  
 ハ其權ヲ失フナリ  
 若シ拂方ニテ備金ナキ故チ以テ承諾セサル時ハ先ツ差立人ニ向ヒ  
 之ヲ求メ且ツ責ムヘキコトナリ  
 然レトモ差立人ヨリ全ク送リタル時ハ其手續證據ヲ以テ持主ヘ示  
 スヘキト雖モ其證據ト爲スニハ只差立人ヨリノ備金ニ付拂方ノ爲

シタル承諾ヲ以テスヘカラス  
故ニ差立人ヨリ送リタルニ相違ナキ儘ナル證據アル時ハ其拂方ニ  
テ拂ハサル可カラサルナリ

問 拂方ニテ承諾セシ上ハ持主ヘ對シ拂ワサル可カラサルハ言ヲ須  
タス又連帶ノ義務アル者ハ假令其内ノ者分散等ニテ欠員スルト  
モ其餘ノ者ニテ義務ヲ盡サ、ル可カラサルト云フヲ聞ケリ如  
此然ル乎

答 拂方ノ承諾ノ論ハ尙迥々了解アルヘシ  
固ヨリ拂方ニテ拂フヲ承諾シタル上ハ之ヲ拂ワサル可カラサル  
コトハ言ヲ須タサルナリ  
右證據ト爲スヘキコトハ其儘ニ送リタルト云フヲ證スル而已備  
金アルニ付拂方ニテ承諾スルトハ則チ備金ヲ請取リタリト云フ

ニシテ持主ヘ爲ス承諾ト混スヘカラス故ニ備金承諾ハ全ク差立人  
ト拂方トノ内輪ノコトナリ  
手形持主ヨリ拂ヒテ求ムルニ差立人ヘ求ムルト又拂方ヘ求ムルト  
ノ區別アリ  
例ヘハ差立人ハ最初持主ヘ手形ヲ渡シタル時其手形面丈ケノ現金  
ヲ受取りタルナリ然ルニテ拂方ヘ送ラサルハ全ク一己ノ私利ヲ計リ  
タル欲心ナリ故ニ持主ニテ假令規則ノ通り手數ヲ怠リタルトモ強  
テ之ヲ求ムル權アルナリ  
然ルニ裏書人ハ他ヨリ讓リ渡シテ受ケタル時已ニ現金ヲ出シ其手  
形ヲ求メタル譯ニ付差立人拂方トハ自ラ差別アリ故ニ持主ニテ其  
期限ヲ怠リ又當然手續ヲ盡サ、ル時ハ強テ之ヲ求ムヘキ權ナシ  
問 此二者ノ論ハ即持主ヨリ裏書人ヘ對シテハ之ヲ求ムル能ワサル

トモ差立人ニ對シテハ其期日ノ怠リニ拘ラス之ヲ求ムルヲ得ヘキト云フヲナリヤ

答 差立人ハ最初手形ヲ渡シタル時已ニ現金ヲ受取居リ其責ニ任ス

ヘキ者ナリ故ニ之ヲ求ムルヲ得ヘシ

裏書人ハ自分ヨリ已ニ現金ヲ出シ譲リ受ケ畢竟取次同様ノ者ニ付若シ持主ニ於テ第百六十八條ノ手續怠リアルキハ其責メニ任スヘキニアラス故ニ之ヲ求ムル能ワサルナリ

此事ハ原語ニテ「プロミシヨント」云意味ニ當ルヘキヤ

持主ヨリ拂方ヘ求ムルハ「プロミシヨン」ノ有無ヲ問糺シ承諾セシ上ノ事ナリ

此承諾ノ有無ニ二様ノ差別アリ

拂方ニテ全ク其承諾セサル時ト

又其承諾ヲ爲ストモ期日ニ至リ其拂ヒヲ爲サル時トナリ此承諾ノ有無ノ論ハ先ツ暫ク之ヲ置キ

前ニ説ク所ハ拂方ニテ拂ヒヲ爲サス且持主ニテ規則通ノ手續ヲ盡サス等閑リタル時ハ其拂フヘキ責ヲ裏書人ニ歸シ之ヲ求ムル能ハサルコトヲ云フナリ

何トナレハ裏書ハ現金ヲ以此手形ヲ授受シタル取次ノ如キ者ニテ畢竟持主同様拂方ニ向テ之ヲ責ムヘキ筈ノ者ナレハナリ

持主ノ拂方ニ向テ其手續ヲ不盡ハ畢竟裏書人ニ代テ盡スヘキ手續ヲ盡サル理ニ當リ故ニ其期限ヲ過キタル後ハ之ヲ求ムル權ヲ失フト云意味了解セリ

此件了解アラハ尙期限外ニ至ルトモ之ヲ求メ得ヘキ權利ヲ説クヘシ

此權利ヲ失ト不失トハ固ヨリ其定期内ニ盡クスヘキ手續ヲ失ト不失トニアリ故ニ之ヲ裏書人ニ求ムル時ハ必ス其定期ヲ過ク可カラサルハ勿論ナレモ若シ此第六十八條ノ手數ヲ盡サス之ヲ求メタル時其裏書人ニテ故障ヲ不言承諾セシ上ハ固ヨリ拂フヘキ筈ナリ何トナレハ此場合ニ於テハ必ラス故障ヲ云フヘキ理ナリ然ルニ其儘故障ヲ述ヘサル時ハ持主ノ損益ノ目的ニ關係スヘキコトナリ故ニ裁判所ニ於テ其故障ヲ云ワサル爲メニ罰トシテ拂フヘキ言渡ヲ受クヘシ

之ハ別段ニ罰金ヲ出スニアラス然シ最初手形ヲ讓リ受ケタル時已ニ一度ハ金高ヲ拂ヒタルニ此故障ヲ言ワサリシ爲メニ拂ヒ渡ス故ニ則二度拂ヘキコトニ至リ自ラ罰金同様ノ理ニ成ルナリ

此事ハ民法等一般ノ安寧ニ關スヘキコトニアラス

例ヘハ幼者ノ約定又ハ夫ノ許諾ヲ得ス婦爲シタル約定等ト同視スヘカラス必ラス故障ヲ云フ可キ筈ナルヲ言ワサルニ仍リ其罰トシテ必ラス拂ワセヘキコト、爲スナリ

夫レハ能力アル者故ナル乎

其說ノ如ク然リ故ニ訴訟法ノ故障ヲ述フルト同様ナリ

前說ト違ヒ一種別段ノ事ヲ說クヘシ

持主ヨリ差立人裏書人ニ對シテ其要償ノ證書ヲ作ル等ノ手續ヲ爲サスシテ之ヲ求ムルヲ得ヘキコトアリ之ハ其最初持主ト差立人トノ間ニ於テ約束ノ取結方ニ仍リ其手形ノ作り方ニ差別アルナリ其手形面ニ書シタル文ハ佛語ニテ「ルツール、サン、フレト」ト云ナリ即チ入費カ、ラスシテ跡ヘ返ルト云フ意味ナリ

之ハ若シ拂方ニテ不拂時ハ差立人又ハ裏書人ニ向ヒ要償ノ證書等

ノ手數ヲ爲サス且其期限ニ拘ラス之ヲ求ムルヲ得ヘキモノナリ  
 此通り爲替手形ヲ以取組ム時ハ必ラス損失ノ患ナキ筈ナレハ衆人  
 皆此方法ニ依ル可キ譯ナラスヤ  
 此爲替ハ商人中ニテ多ク行ワル、トナリ  
 然シ差立人ト拂方ト雙方ノ身代ヲ互ニ相知リ其借用ヲ得タル者同  
 志ニアラサレハ之ヲ爲サス殊ニ其爲替手形ハ通常ノ爲替手形ニ比  
 スレハ要償ノ證書ヲ作ル等ノ手數ヲ省ク等諸雜費カ、ラサルニ付  
 尋常ノ手形ヨリ相場モ自ラ貴シ  
 故ニ此方法ニテ取組ミタル爲替ヲ若シ拂方ニテ不拂時ハ何時ナリ  
 トモ差立人へ向ヒ其金高ヲ受取ルヲ得ヘシ  
 前會ヨリ今日迄ハ持主ノ權利ニ付テハ差立人ト裏書人トニ對シ之  
 ヲ求メ得ヘキコトヲ説ケリ

是ヨリ拂方ニ對シ求メ得ヘキ權利ヲ説クヘシ  
 持主ヨリ拂方ニ對シ其手形ヲ示シ承諾ノ有無ヲ聞糺シタル其時  
 例へハ三ヶ月目ニ拂フヘキトノ承諾ヲ爲スカ又ハ夫レヲ承諾セサ  
 ルト云フ時ハ持主ヨリ拂方ニ對シ何程ノ權力アルヘキヤ  
 此二様ノ處置ヲ區別シテ説クヘシ併シ先ツ其前ニ一般要用ト爲ス  
 所ノコトヲ説カントス  
 第一 拂方ニ向ヒ最初ヨリ三月目ノ期限アル手形ヲ示シ彌可拂ヤ  
 否ト質シタル時固ヨリ拂フヘキナレモ其許ニハ兼テ貸金アルニ仍  
 リ其貸金ト差引勘定ヲ爲スヘシト云フコトアリ  
 第二 拂フヘキコトヲ承諾シ其期限ニ往キ受取ラント欲スル時不  
 拂コトアリ  
 但シ之ハ眞ノ持主ニテ其手形ヲ遺失シタル時即チ竊盜又ハ拾ヒ取



タル者ヨリ拂方ニ向ヒ此金高チ受取ラント求ムル時チ云  
 何トナレハ其手形ヲ遺失シタル時ハ持主ヨリ速ニ拂方ヘ其次第チ  
 通知スヘキニ付其通知チ請ケタル上ハ假令一旦承諾スルトモ其子  
 細アル所以チ知リタルニ付之チ其期限ニ拂ワサルコトアリ  
 先ツ拂方ニテ承諾シタル場合ニ付テ説クヘシ  
 拂方ニテ持主ヨリ示シタル其手形ヲ見テ承諾シタル時ハ持主ニ對  
 シ必ラス其義務ヲ盡サ、ル可カラス  
 故ニ若シ拂フコト能ワサル時ハ持主ニ於テ其拂方ノ所有品ヲ抵當  
 ト爲シテ受取ルヘキ權利アリ  
 若シ其拂方ニテ分散シタル時ハ手形ノ金高ニ應シ他ノ債主同様其  
 分配金ヲ受ケヘキヲ得ルナリ  
 一體此爲替手形ト云フモノハ全ク醇粹ノ商法上ヨリ成リ立チタル

モノナリ故ニ假令商賣ニアラサル者ト雖モ持主及ヒ其差立人拂方  
 又ハ裏書人ト爲リタル時ハ之ニ就テノ訴訟ハ必ラス商法裁判所ヘ  
 出テ其裁判ヲ受クヘキナリ  
 何トナレハ此爲替手形ノ性質ハ全ク商法物ナレハナリ  
 總シテ連帶ノ義務アル者ノ内持主ト拂方トハ全ク直チノ關係アル  
 者ナリ  
 差立人ト裏書人トハ直チノ關係ナキ者ナリ  
 故ニ拂方ハ持主ニ向ヒ假令其受取ヘキ期限チ怠リタルトモソノ怠  
 リタルチ口述ト爲シ故障チ云ヒ拂ワサル等ノコトハ爲シ能ワサルナ  
 リ  
 一體要償ノ證書ハ差立人又ハ裏書人トニ對シ要スルモノニシテ持  
 主ヨリ拂方ヘ對シ要スヘキモノニアラス

故ニ拂方ニテモ其之ヲ要スルニ至ラサル前ニ拂ワサル可カラサル  
理ナリ

持主ト拂方トハ必ラス直チノ關係アル者ニ付一旦之ヲ承諾セシ上  
ハ他ニ煩難ヲ生スヘキコトニアラス

拂方ニテハ必ラス之ヲ拒ム權利ナシ只一ツ其拂ヒヲ拒ムノ權アル  
場合アリ假令ハ五年ノ期限ノ手形ヲ五年ノ間ニ不持來且其間ニ於  
テ裏書人等ニ對シ要償ノ證書等ノ手數ヲモ不盡全ク五年間ヲ等閑  
ニ打過キタル者ハ之ヲ拒ム權アリトス

爲替手形ノ内ニ二ヶ月目トカ三ヶ月目トカ其期限定メ方アルモノハ  
即チ「プレシプション」得免ニ有之哉又ハ之ヲ定メナキモノハ五ヶ  
年間ニ濟ミ方ノ方法ヲ立ツヘキコトナリヤ

一體爲替手形ニ拂期限ナキ者アルヘカラス前ニモ説キシ如ク何日

ケ

目トカ何月目トカ定メアルモノハ即チ拂期限ナリ且道ノ遠近ニ寄り期  
限ノ長短アリト雖モ<sup>フレスクリプション</sup>期滿得免ハ五年間ナリト爲ス

問 前々ノ講義ノ趣ニテハ假令三ヶ月トカ其手形ノ期限ニ定マリ  
ルモノヲ其期限通りニ受取ントテ不往其後ニ至リタルトモ拂フ  
ヘシトノコトノ如シ

答 然リ拂方ニテ一旦承諾セシ上ハ假令期限ヲ過キタルトモ拂ワサ  
ルノ理ナシ尤其期限前ニハ之ヲ受取テ決テ不能ナリ  
拂方ヘ示シ承諾セサル時ハ持主ニテ強テ之ヲ求ムル權ナシ何トナ  
レハ其時ハ手形ト拂方ト全ク關係ナク少シモ知ラサル物ト見做ス  
故ナレハナリ

拂方ニテ承諾セサル場合ニ於テ只一ツ之ヲ拂ワセ得ヘキコトアリ  
假令ハ差立人ヨリ拂方ヘ備金ヲ送り其後ニ至リ其差立人分散シタ

ル時其債主等ヨリ拂方へ掛合ヒ先キニ爲替ニ取組タル備金此度ノ分散ノ配當金ニ充ツヘキニ付手形持主へ其儘拂渡サ、ル様爲サント云フコアリ

其時ハ右ノ掛合アル故ニ拂方ニテ持主へ承諾セサルコトナリ併シ此場合ノ處分ニ於テハ佛國ノ法律上ニハ明文ナシト雖モ裁判所ノ規則上ニ於テ其備金ヲ分散配當金ノ内へ加ヘス必ラス手形持主へ拂ワセヘキ裁判ヲ爲スコト、ナリ居レリ故ニ此場合ノミ承諾セサルト雖モ持主へ拂ワサル可カラサルナリ

是レ則承諾セサル時ノ爲拂方ト爲ス所ナリ

今日迄說ク處ハ持主ヨリ差立人拂方裏書人ノ三者へ對シテ求メ得ヘキコトヲ說クヘシ

## 第四十一號

明治八年  
十月二日

前會迄ハ手形持主ヨリ差立人及ヒ裏書人拂方ニ對シ其拂ヒヲ求ムルノ方法ヲ說タリ

今日ハ金高請求ニ付キ他人權利アル人ニ代リテ其義務アル者ニ其償ヒヲ求メ得ヘキコトヲ說クヘシ

「アクシヨンキユルソール」ト云語ハ自ラ拂ヒタル金ノ償ヒヲ求ムルト云意味ナリ

此處ニテハ拂方ニテ手形持主ニ拂ヒタル上備金ヲ爲サ、ル差立人ニ其償ヒヲ求ムルコト云フナリ

差立人ヨリ拂方へ備金ヲ爲シタル時ハ手形持主へ拂ヒタル金高ニ付拂方ヨリ差立人ニ對シ聊カ其子細ヲ言フ可キコトナシ

差立人ヨリ拂方エ備金ヲ爲サ、ルニ拂方ニテ手形持主エ拂ヒタル時ハ其金高ニ付差立人ニ對シ償ヲ求ムヘキ權アリトス其之レヲ求ムルコニツノ方法アリトス

第一手形持主ヘ拂ヒタル金高ヲ差立人ニ向テ求ムル時ハ民法ニア

ル所ノ名代人ノ方法ニ依ツテ之レヲ求メヘキナリ

商法トイヘモ名代人ノ方法ヲ用ユル時ハ渾テ民法ニ依テ之レヲ行フヘキナリ

問 夫レハ民法ノ名代人ヲ用ユル方法ニ據ルヘキト云フコトナルヤ

答 然リ民法ノ第千九百九十九條ニアル方法ニ仍リテ之レヲ求ムル時ハ拂方ノ者ハ自ラ差立人ノ名代人ト爲リタル地位ニ付之レテ其本人即差立人ニ向テ求メ得ヘキコトナリ此代人ノコトハ商法ノ講議ノ最初説明シタルニ依リ已ニ了知アリタルコトナルヘシ

拂方即チ差サレ人ヲ「マシダテール」名代人ト云ヒ差立人ヲ「マシダ」人ト云フ

爰ニ一例ヲ舉クヘシ

例ヘハ「ブスケ」ハ松下ニ千圓ノ借金アリ又松下ハ横濱ニ至リ其千圓ヲ要用ト爲ス「アリ其時」ブスケヨリ横濱ノ「ブレッツクウエー」人エ當テタル千圓ノ手形ヲ松下ヘ渡シ松下ヨリ「ブレッツクウエー」エ向ヒ之レヲ求ムルトキハ即チ「ブスケ」ハ「マシダ」人ト云フ「ブレッツクウエー」ハ「マシダ」人ナリ

拂方ニテ其備金ナキモノヲ拂ヒタル時ハ則差立人ト拂方トノ内一方ハ義務アリ一方ハ權利アルモノナリ拂方ニ於テ權利アルモノニ成リタル時ハ即チ「マシダ」人ナリ

即民法ノ名代人ノ場合ト同様ナリ

又例へハ「ブスケ」ヨリ松下へ渡シタル爲替手形ニ千圓トアリ然ルニ未  
 タ「ブスケ」ヨリ備金ヲ爲サ、ル其千圓ヲ「ブレックウエー」ヨリ松下へ  
 拂ヒタル時「ブレックウエー」ヨリ「ブスケ」ニ償戻ヲ求ムルニ名代ノ法  
 ナ用フルキハ其爲替手形ノ眞ノ力アル者ニアラス故ニ其拂ヒタル  
 丈ケノ金額ヲ證シ民法裁判所エ訴出商法裁判所エハ不訴出ナリ  
 假令爲替手形ニ相場ノ高下有之トモ其相場ニ拘ラス其全ク拂ヒタ  
 ル丈ケノ金額ヲ證シテ之レヲ求ムヘキナリ  
 第二尙拂方ヨリ差立人ニ向ヒ償ヒテ求ムル方法アリ之レハ前記ニ  
 比スレハ少シク權力アル者アリ  
 即民法千二百五十一條ニアル所ナリ  
 「シユブログシチン」ト云フ語アリ此意味ハ  
 例へハ甲者ヨリ乙者エ貸金アリ之レヲ丙者乙者ニ代リ甲者へ拂ヒ

タル時甲者ノ乙者ニ對シ求ムヘキ其權利全ク丙者ニ移ルヲ云フナ  
 リ  
 代權ノコトニ付テハ其甲者ト丙者ト約定シテ其權ヲ讓ルアリ之ヲ  
 約定ヨリ生スル代權ト云フ然ルニ此所ニテハ其約定ナシト雖民法  
 律上ヨリ生スル代權ニシテ丙者乙者ニ代テ甲者ニ拂ヒタルニ付甲  
 者ノ權ヲ有スルヲ云フナリ  
 差立人ト拂方ハ何レモ其手形持主へ對シ義務アル者ナリ然レトモ  
 拂方ニテ已ニ拂ヒタル時ハ則甲拂方ハ丙ノ持主ノ代權人ト爲リ乙  
 ノ差立人エ其求メテ爲スナリ故ニ民法第千二百五十二條ノ第三項  
 ノ順序ニ仍リ民法裁判所へ可訴出ナリ  
 故ニ甲ハ丙ナル持主へ拂ヒテ爲シタルニヨリ其權利アル丙ノ代權  
 人ト爲リ乙ニ向テ之レヲ求メ得ヘキナリ拂方ニテ拂フヲ承諾シ

タル上ハ差立人ヨリノ備金ノ有無ニ不拘其承諾シタル義務ヲ以テ拂ワサル可カラスト雖モ亦タ其承諾セスシテ之レヲ拂フコトアリ何トナレハ持主ヨリ豫メ承諾ヲ要メスシテ直ニ其拂ヒヲ求メタル時ヲ云フ其時最モ大切ナルハ其拂ヒタルコトヲ以テ證據ト爲スヘキ手續ナリ承諾セスシテ拂ヒタル時ハ其効ナキモノト爲スカ又ハ其効アルモノト爲スカ其時ハ拂ヒタルコトヲ以テ證據ト爲シテ其効アルモノト爲スナリ

縮メテ之レヲ云ヘハ其承諾ヲシタルトセサルニ拘ラス拂ヒタル上ハ則代權人トナルヲ得ヘキナリ

商法ノ第百五十九條ニ仍リテ了知スヘシ

假令拂方ハ勿論他ノ關涉人又ハ裏書人ニテ拂ヒタルトモ其手形面ノ金高ヲ持主ヘ拂ヒタル上ハ其持主ノ代權ヲ以テ差立人ヘ之ヲ求

ムルヲ得ヘキナリ

代權ノ權ヲ得タル拂方ハ如何ナル利益アルヤト云ヘハ則手形持主ト同様ノ權利ヲ得ヘキナリ

一体シユブロカシヨノ權利ハ全ク手形ヨリ出ル者故ニ其差立人ニ於テ之ヲ拂ハサルトキハ其差立人ヲ禁錮爲サシムル丈ケノ權力アルナリ

差立人ノ備金ナク拂方ニテ拂ヒタル時ハ其金額ノ利息ノ償ヒモ求ムルヲ得ヘシ

問 拂方ヘ代權ノ移リタル時ハ民法ニコレ無ク商法ニナルヘキヤ

答 名代人ト爲ル時ハ民法ナレモ商法上ニテ代權人ト爲リタル時即

商法裁判所ヘ訴出ヘキナリ

故ニ此二様ノ權利ハ拂方ノ都合ニ仍リ何レノ場合ニテ處置スル

トモ不可ナルコナシ  
問 其拂方ハ民法商法兩方ノ裁判所へ訴出ツヘキ權利アル者ト爲ス可キカ

答 名代人ノ法ニ依レハ商人ト商人ニアラサルトノ差別ナシ然レモ實際ヨハ大体第二ノ方法ニ據ルナリ畢竟其便利ヲ以テ之レヲ用ユル而已ナリ  
以下ハ前説ト反對シテ差立人ヨリ拂方へ向ヒ金額ヲ求ムルコトヲ説クヘシ  
已ニ差立人ヨリ拂方へ備金ヲ爲シタリ然ルチ持主ヨリ求メタルニ之レヲ不拂時ハ則持主ヨリ差立人ニ向ヒ其金額ノ求メテ爲スヘシ然ル時ハ差立人ヨリ直チニ之レヲ拂ヒ置而シテ拂方エ向ヒ備金ヲ爲シ置タルニ何故拂ハサルヤヲ責メ且其金額ノ償ヒヲ求

ムルコナリ  
差立人ヨリ拂方へ備金ヲ爲シタルニ拂方ニテ之レヲ拂ハサル時ハ夫レニ付生シタル處ノ損失ヲモ一切償ワシムヘキナリ  
之レハ已ニ説ク所ト全ク反對ノ時ナリ  
已ニ説ク所ハ拂方ニテ持主ノ代權ヲ持ツコナリ夫レニ反シ拂方ニテ承諾而已ニテ拂ハサル時ハ則差立人ニテ持主ノ代權ヲ持ツコトヲ得ルナリ  
拂方ニテ期限通り持主へ拂ヒ置タルニ未タ差立人ヨリ備金ナキ時ニ於テ其金額ヲ裏書人ニ向ヒ求ムルヲ得ヘキヤ此疑問如何  
問 差立人ヨリ拂方へ備金ヲ受取りタルコトナク裏書人ヨリ備金ヲ爲スヘキ次第アル時ナルヤ  
答 拂方ニテ期限通持主へ拂ヒタル上ハ拂方ヨリ之レヲ差立人ニ求

ムヘキ理ニシテ裏書人エ向ヒ求ムル權ハ決シテ無之ナリ  
 何トナレハ差立人ト拂方ハ互ニ直ニ契約アルモノナレモ裏書人  
 ト拂方トハ其契約セシ者ニアラス故ニ裏書人ニ向テ之レヲ求ム  
 ルヲ能ワス之レヲ求ムルハ差立人ニ向テ而已其權アルナリ  
 裏書人ト裏書人トノ間ナレハ假令十人ノ内一二人エ溯ルトモ或  
 ヒハ差立人マテ溯ルトモ之レヲ求ムルヲ得ヘシ然カシ自分ヨリ  
 下ノ裏書人エハ之レヲ求ルハ能ハサルナリ  
 第六十七條ノ如ク裏書人ハ差立人又ハ他ノ裏書人等連帶ノ義  
 務アル者ヘハ其内一人又ハ數人エ對シ之レヲ求ルノ訴ヲ爲スヲ  
 得ヘキヤ

然レトモ訴出ルニ付テハ其期限ニ注意スヘシ何ントナレハ第一  
 ノ裏書人ヨリ第二ノ裏書人エ掛リ訴出ツル等何レモ其間ノ期限

ハ十五日ト定メアル故ニ若シ其期限ノ過キタル時ハ之レヲ訴出  
 ツル能ワサレハナリ

問 其十五日ノ期限ヲ過キタル時ハ期滿得免ノ譯ナルヤ

答 期滿得免ノ意味ハ自ラ存スルト雖モ之レヲ期滿得免トハ言ヒ難

シ

此十五日ノ期限ハ何レノ日ヨリ起算スヘキトナレハ要償ノ證書  
 ナ作リタル日ヨリ十五日以内ヲ以其期限ト爲スナリ故ニ裏書人  
 等數人アル者ハ順序ヲ逐テ各追々ニ十五日ノ期限ニ訴出ツヘシ  
 ト爲ス

例ヘハ呼出狀ヲ受ケタル日ノ翌日ヨリ直ニ自分ヨリ前ノ裏書人  
 ニ向ヒ其求メテ爲シ要償ノ證書ヲ作ル等何レモ其十五日ノ期限  
 ナ以追々ニ溯リ呼出狀ヲ掛ルナリ



但シ其期限ハ里程ノ遠近ニ仍リ十五日以上ニ増スヘキナリ  
 右第七十一條ニ就テ之レヲ見レハ明ラカナリ  
 又格別ノ一事アリ即チ假令十五日ノ期限ヲ過クルトモ其金額ヲ  
 求メ得ルコトアリ但差立人ニ向テ而已之レヲ求メ得ヘキナリ  
 何トナレハ差立人ヨリ一旦拂方エ備金ヲ爲シタレトモ持主其期  
 限内ニ拂方エ行キ之レヲ求メサル故チ以テ已ニ差立人ヨリ之レヲ  
 取戻シタル時ハ持主ヨリ裏書人ニ拘ラス直チニ差立人ニ向ヒ之  
 レヲ求ムルヲ得ヘシ之レハ則一ツノ格別ナル場合ナリ  
 此商法ノ内ニハ定規ナシト雖モ千八百五十年六月五日ノ決定ノ  
 法律ニ仍レハ持主損失ト爲ルヘキ格別ノ場合アリ  
 一体手形ハ政府ノ印紙エ記ルスヘキ定メナリ然ルチ其印紙エ記  
 シ之レ無キ時ハ持主ヨリ裏書人エ向ヒ之レヲ求メテ訴出ツル能

ワス尤差立人ニ向テハ其印紙ニ記セサルチ責メ且ツ之レヲ求ム  
 ルヲ得ヘシ

差立人ニテ拂方エ送り置キシ備金ヲ取戻シタル時ハ持主ヨリ差  
 立人エ對シ假令期限ヲ過クルト雖モ之レヲ求ムルヲ得ヘシ尤之  
 レヲ求ムルニハ其拂方ヨリ差立人エ差戻シタル證據ヲ以テ求ム  
 ヘキナリ

政府ノ印紙エ記セサル時其手形ニ効ナシト云フコトハ良法ニアラ  
 ス何トナレハ人民ノ便利ノ爲メ爲換手形ノ方法ヲモ定メタルモ  
 ノナレハ其印紙ニ記スルト記セサルトハ別ニ罰金ヲ出サシムル  
 故ニ此便利ノ爲メノ方法ハ飽迄保護スヘキコト、考ヘリ

問

其手形ヲ印紙ヘ記セサルコトハ夫丈ケノ罰ヲ差立人ニ歸シ其罰  
 金ヲ言渡シテ然ル可キコトナラスヤ

二一五 答 假令差立人へ其罰金ヲ言渡サル、トモ損失スル所ノ多キハ持主ニアルナリ

今日迄ハ持主ヨリ差立人及ヒ裏書人エ對シ其金額ヲ求ムルヲテ説キタレトモ後會ニハ裏書人ヨリ裏書人ニ對シ之レヲ求ムルヲテ説クヘシ

第四十二號 明治八年  
十月七日  
第七十七條

今日ハ「ルシヤンシ」返シノ「ト」ヲ説ノトス  
此「ルシヤンシ」ト云フ「ト」ニ付一例ヲ掲ケ説クヘシ  
例ハ

「ブスケ」佛ヨリ日本へ來ルトキ佛ノ或ル「バンク」ヨリ手形ヲ出サセ

其手形ノ持主ニテ來リタリ然ルニ横濱ノ「バンク」ニテ事故アリ拂ヒ  
テ拒ミタリ「ブスケ」ハソノ金ヲ目途ニシテ來リタルユヘ一錢ナキ  
故へ其持主ヲ保護スル爲メニ法律ニテ便利ノ方法ヲ定メタリ  
ソノ法ハ最初ノ手形持主差立人トナリテ最初差立タル佛ノ「バンク」  
ヲ被差人方ト爲スナリ

ソノトキ最初ノ持主ハ更ニ返シ爲替ノ手形ヲ作り横濱ニテ直チニ  
之ヲ賣ル「ト」ヲ得ヘキナリ  
此返シ爲替手形ヲ作ルノ權ハ持主ノミニ在リ他人ニハ此權ナシト  
ス

返シ爲替ヲ爲ス「ト」ハ矢張現金ヲ運フヘキ場合ニ手形ニテ持チ運フ  
業ノ「ト」云フモノナリ

三一五 例ハ佛ヲ發スルトキ甲者ソノ地ノ相場ニテ一弗<sup>ドル</sup>ヲ五「フランク」半

ノ割合ヲ以テ千弗<sup>ドル</sup>ノ手形差立ヲ請フニ五千五百<sup>フラン</sup>ヲ拂フタリ  
 然ルニ横濱<sup>バンク</sup>ニテハ事故アリテ之ヲ渡サ、ルナリ然ル場合ニ  
 於テ佛ヘ向ケテ返シ爲替手形ヲ持主ニテ作ルナリ  
 返シ爲替ヲ爲ストキ相場ノ安キトキト高キトキアリ然ルニ之ヲ賣  
 ルトキハ百圓ノモノモ八十圓トナリテ二十圓ノ損トナルアリ  
 然シ此損失ハ元ノ差立人ニ對シ取戻スヲ得ルナリ  
 第七十八條ニ云フ如ク其金高並ニ要償ノ書ヲ作リタル等ノ費用  
 又ソノ損料マテヲ書キ入レ請求スルユヘソノ損ハ皆ナ戻ルナリ若  
 シ賣ルトキ安ク賣リタルモノナルトキハ取戻シヲ得併シ爲替手形  
 ノ相場ノ高キトキハ百圓ノモノヲ百二十圓ニ賣ルトモソノ賣得ハ  
 我カ益トナルナリ  
 何ノ爲メニ其返シ爲替ノ起リタルトノ證トシテ要償ノ書ヲ作ルコ

ト要スルヤ

要償ノ證書ハ元ノ手形持主ニテ作ラサルヘカラス之レハ差サレ人  
 即チ拂方ノ者拒ミタルトキノコナリソノ拒ミタルトキ之ヲ作ルヘ  
 カラスト云フコハナキナリ

此返シ爲替ヲ爲スニハ差立人又ハ裏書人ニ向テモ之ヲ爲スコト得  
 ル併シ其手續ニ區別アリ

爰ニ返シ爲替ヲ爲ス一般ノ方法ノコトヲ説カン

返シ爲替ヲ爲スコトノ權ヲ持主ニ生スルハ何レノ場合ニアルカト問  
 ハンニ是ハ差サレ人ニテ金ヲ拂ハスト云ヒテ拒ミタルトキ初メテ  
 要償ノ書ヲ作ルノ權利ヲ生ス

右ノ返シ爲替手形ニ數通ノ書面ヲ添フナリ

第一 要償ノ書ノ寫

第二 賣買世話人ノアル地ニ於テハソノ證書若シ賣買世話人ナキ地ニ於テハソノ地ノ儘カナル商人ノ二人ノ證書之ハソノ地ノ相場ヲ證スル爲メナリ

第三 最初佛ニテ振り出シタル手形トソノ持主ノ身分ノ相違ナキトトナソノ證書ヲ記スヘキ人ノ面前ニテ勘合シタルトノ證書モ添フ

最初ノ手形ヲ持チテ居ル持主ナレハ差立人又ハ裏書人ニ向ケテ返シ爲替ヲ差立テ、妨ケナシ併シ裏書人ニ向テ爲スキハ甲ノ裏書人ヨリ乙々ヨリ丙ト返シ爲替ノ手數ヲ以テ順々ニ溯リテ差立ルナリ」返シ爲替ニ付テハ難事ナルト一ツアリ佛ヨリ横濱へ直チニ來ルモノナレハ難事ナシ

然ルニタトヘハ佛ヨリ横濱へ來ルヘキ手形英へ行キ換へ行キ所々

チ廻リテ横濱へ來ルモノ等ハ所々ノ相場ニ差違アリテ甚難事ナリ仍テソノ何レノ地ノ相場ヲ以テ取引スヘキカニ付キノ地ヲ豫メ定メサルヘカラス

相場ノ差違ニテ利益アリヤ損失アリヤヲ問ハス之レヲ定ムルニハソノ金額ヲ拂フヘキ地ノ相場ヲ以テ定ムルナリ

即チ横濱ヨリ以前ノ差立人へ直チニ返シ爲替ヲ差立ルモノハ横濱ノ相場ヲ以テ拂フヘキナリ

裏書人ニ向ケテ差立ルトキ例ヘハ横濱ヨリ差立テ「ロンドン」ニ居ル裏書人ニ遣ルトキモ亦タ横濱ノ相場ヲ以テ拂フヘキトス

第百八十一條ノ末項ニアル如ク裏書人ニ差立ルニ例ヘハ横濱ニテ返シ爲替ヲ出ストキノ相場ヲ證スヘキ書ヲ添ヘサルヘカラス

ソノ證書ハ何程ノ効能ヲ爲スヤヲ試ミ問フニ是レハ則チ持主ニテ

差立人へ向ケルトモ又ハ裏書人へ向ケルモ隨意ナリトス  
 第一ニ裏書人ヨリ差立人へ直チニ向ケルコトヲ説クヘシ  
 例ヘハ「ロンドン」ノ裏書人ヨリ直チニ差立人へ直チニ向ケルキハ何  
 レノ相場ヲ取ルヘキヤトナレハ即チ横濱ヨリ佛へ向ケタル相場ニ  
 依リテ爲スナリ決シテ「ロンドン」ヨリ佛へ向ケルノ相場ヲ以テセス  
 此相場ヲ證スル證書ハ必要ナルモノナリ何トナレハソノ證書ニ  
 ミ相場ヲ記シテ手形ニハ相場ヲ記セサレハナリ  
 何故ニ「ロンドン」ノ相場ヲ以テ爲スコトヲ得サルヤトナレハ元來新差  
 立人ノ手形ヲ振出ストキハ何レノ人ニワタリ何ノ地ノ相場ヲ以テ  
 來ルヤハ以前ノ差立人ニハ知ルヘカラサル故ナリ  
 以前ノ差立人ハ自分ノ差立ツルトキ横濱へ向ケ振出シタルヲ覺ヘ  
 居ルユヘ之レハ爲替手形持主ヨリ返シ爲替ノ來タルモノト見テ我

必ニ符合スル故ニ他所ノ相場ヲ以テセサルコトナリ  
 裏書人ヨリ直チニ差立人ニ向ケタルトキハ此ノ如シト雖モ「ロント  
 ン」ノ裏書人ヨリ填ノ都「ウエノヌ」ニアル裏書人へ向ケテ返シ爲替ヲ  
 出シタルトキハソノ「ロントン」ノ相場ニ依テ求ムルコトヲ得ヘシ  
 然リト雖モ此例ヲ用フルコトニ付法律ニテ禁スルコトアリタトヘハ多  
 人數ノ裏書人アルトキハ所々相場ノ違ヒアルニヨリテ大ナル混雜  
 損害ヲ生スルコトアリ故ニ「ロントン」ノ裏書人ヨリ填ノ裏書人へ向ケ  
 爲シタル「ロントン」ノ相場ヲ以テ以下ノ裏書人ハ例規ト爲スヘキコ  
 ト法律ニ於テ命スルナリ  
 凡ソ弗<sup>ドル</sup>ノ相場ハ何レノ國ニモアリ混雜損害ヲ生スルコトハ裏書人ヨ  
 リ他ノ裏書人ト數十人ノ手ヲ經ルニ各々其損失ヲ請求スル片ハ雪  
 チ轉ハス如ク漸ク嵩サテ増スニ至ルヲ恐ル、ユヘナリ仍テ二度目

ノ裏書人へ求ムルトキヨリ以下總テソノ相場ヲ以テ押シテソノ地方ノ相場ヲ用ユルヲ禁スルナリ

ソノ他ニモ亦ターノ禁スルヲアリ裏書人等ハ返シ爲替ヲ差立タル人ヨリ其損失ノ計算書ヲ唯執次クノミニテ自己ノ損失計算書ヲ添ユルヲ得ス但シ相場書ヲ添ユルハ可ナリ計算書等ハ持主ノ添ヘタルモノ、ミトス

ソノ他金高ニ利足ヲ掛クルヲアリ之ハ以前ノ持主ハ手形ノ拂ヒテ得ン爲メニ横濱へ來ルコ之レヲ受取ルヲ得サルニヨリ返シ爲替ノヲ起リタルユへ要償ノ書ヲ作りタル日ヨリ之レヲ賣リ拂フマテノ間利足ヲ掛ルナリ

第百八十四條ニ云フ如ク要償ノ書ヲ記シタルヨリ利足ヲ生スルナリ、

ソノ利足ハ即チ民法上ナレハ百分ノ五商法上ナレハ百分ノ六ナリ」

タトヘハ日本ヨリ理事官ヲ派出スル等ニ付テノ爲替ハ民事トスルナリ

商事ニ付商品取引代金ヲ爲替ニシタルキハ無論商事ナリトス

返シ爲替ノヲハ本日ニテ濟ミタリ次會ニハ「ビリエータナルドル」ト云フ一種ノ手形ノヲ説カントス

第四十三號 明治八年十月十二日

今日ハ「ビリエータナルドル」ト云一種ノ手形ノヲ説クヘシ

此手形ノヲ及ヒ「プレスリプション」ノヲ付テハ多分今一二會モ掛ルヘシ

其次ハ第二篇ニ取掛ルヘキナレトモ此第二篇ハ海上ノ船舶及水夫雇

入等ノコニシテ他ノ諸篇トノ關係甚タ少キ而已ナラス他ノ諸篇ニ比スレハ必要ナルコトモ亦少シ故ニ此第二篇ハ先ツ指置第三篇ニ取掛リテハ如何此第三篇ハ分散ノコトニ付最必要ナリ若第二篇ニ付要用ナル時ハ臨時ニ講シテモ宜カルヘシト思ヘリ

貴説ノ如クスヘシ  
先ツ今日ハ「ヒリエーオルトル」ノコトニ取掛ルヘシ併此二章ニ付尙二會モ掛ルヘシ

「ヒリエーオルトル」ノ外ニ「セーグ」ト云一種ノ手形アリ之レハ英國ニテ創設セシモノニテ此商法ノ出來タル時マテハ未タナキコトニ付其後佛國ニ於テハ法律ニ於テ定メタリ之レハ此後ニ説クヘシ  
今日ハ「ヒリエーオルトル」ノコトニ付説クヘシ

此手形ハ此前ノ爲替手形トハ少シク異ナリタル處アリ先ツ之ヲ説クヘシ

クヘシ

此手形ハ何月何日ニ何某ノ命令ニ仍リ幾許ノ金高ヲ拂フヘシト云フコトヲ書キタル一ツノ契約ノ手形ニテ之レハ差立人ノ姓名ヲ記シタルモノナリ

故ニ爲替手形ト「ヒリエーオルトル」ノ違ヒハ一目シテ知ルヘシ

第一 爲替手形ハ甲乙丙ノ三人ニ關スレトモ此手形ハ差立人ニテ之ヲ拂フト云譯ケニ付甲乙二人ニ關スル而已ナリ

故ニ全ク差シ向ヒノ約定ニ付固ヨリ其拂フヘシトノ承諾ノ手數ヲ要セサルナリ

第二 爲替手形ハ甲ヨリ乙ヘ乙ヨリ丙ト轉送スヘキ金高ヲ爲替ニ仕組タル手形ナリ

然シ此手形ニ於テハ別段拂ヒ方ノ者ナク手形ヲ振り出シタル場所

ニ拂フヘキコトニ付爲替手形ト違フ所ナリ

第三 爲替手形ハ眞ニ商法上ヨリ成立タルモノニテ法律ニ於テ商法上ノ便益ト爲シ取設ケタルコトニ付商法裁判所ノ取扱ヲ受ヘキコトナリ然ルニ此「ヒリエータオルトル」ノ手形ハ商法上ヨリ成立シタルモノニ無之故ニ商法裁判所ヘ必ス可訴出モノニアラス

然シ商法上ニテ振出シタル時ハ矢張商法裁判所ヘ關係スヘキナリ尤民事ニテ振出シタル時ハ固ヨリ民法裁判所ヘ關係スヘキコト爲ス

此二様ニ爲ル處ノ例ヲ擧ン

第一 自分ヨリ何某ノ「ハンク」エ百フランクノ金額ヲ可拂ト云フヲ約シ此手形ヲ振出シタル時ハ即民事ニ付民法裁判所ヘ訴出ヘキナリ

第二 商人ヨリ賣買品ノ代價ヲ成算シ何品ノ代價何程何月何日ニ拂フヘキコトヲ約シタル時ハ即商法上ニ付商法裁判所ヘ訴出其捌ヲ受シ可キナリ

之ヲ縮メテ云ヘハ爲替手形ハ商法裁判所ニテ必ス之ヲ取扱フヘキ權ヲ有セリ「ヒリエータオルトル」ノ手形ハ必商法裁判所ニ限ラス之レニ反シテ民事ニテ振出シタル時ハ民法裁判所ヘ訴出ヘキナリ

商法第六百三十一條及第六百三十二條ニ爲替手形ノ權限ニ就テハ説明アリ

商法第六百三十三條ニ「ヒリエータオルトル」ノ手形ニ就テノ權限ヲ説明セリ

「ヒリエータオルトル」ニ類似ノコトハ日本ニテモ現今取引致シ居ルヤモ計リ難シ然シ例ヘハ國立銀行ヘ預置タル金額ヲ何月何日受取ヘ



キ約定ノ手形ニ作り之ヲ以テ他人ニ賣リ渡ス等ノ「ヒリエータ  
 オルトル」ト云譯ケニ當ルヘキヤ  
 已ニ説カル、所ノ手續コテハ裏書ト稱スルモノハ丁度日本ノ添書  
 ノ「ニ當ルヘキヤ」ニ考ヘリ

御質問ノ事ハ「ヒリエータオルトル」ト少シ違フヘシ夫レハ「セシク」ト  
 云モノアリ且過日モ已ニ説キタル如ク「マント」ノ事ニ當ルヘキカ  
 追々此事ヲ説クヘシ

此「ヒリエータオルトル」手形ハ商法上ノモノニ成ルヘキカ民事上ニ成  
 ルヘキカ時トシテ區別シ難キコトアリ例ヘハ金額而已ニテ其代價  
 ノ品柄ヲ記載ナキ時ナリ其時ハ商法上カ民事上カ辨知シ難キナリ  
 其時ハ如何シテ區別スヘキカ

商人ヨリ振出シタルモノニ民事アリ民事ノ人ヨリ振出シタルモノニ

商事アリ然シ之ヲ區別スルノ方法アリ

第一 其民事ノ人ヨリ振出シタル時ハ別ニ規則ナシ只其由テ來ル  
 所ノ原因ヲ探ル而已ナレハ之レ探リテ知ルヘキヨリ外手段無シ  
 第二 然シ商人ヨリ振出タル時ハ之ヲ探ル爲メ別ニ推定法アリ  
 商人ノ振出シタルニ何ノ爲メ其金額ヲ可拂カ分ラサル時ハ法律ニ  
 於テ矢張商法上ノ手形ト見做スヘキ故商法裁判所ノ取扱ニ屬スヘ  
 シ  
 假令其實民事ニテ全ク其品柄ヲ記載セサル時ト雖モ商事ト見做ナ  
 リ  
 然シ例ヘハ「カツベル」ヘ燒ク薪等ノ如ク其品柄ノ自ラ分明ナル時ハ  
 之レ民事ト定ムヘシ尤民事上ノ時ハ推定法ノ定メナキ故商法上ノ  
 時ノ如クナラス

是迄ニテ爲替手形ト「ビリエー」タオルトル手形トノ違ヒアルヲテ説キタルナリ

第一 爲替手形同様商法上ノ時ト雖モ必ス振出人ト持主トノ二人間ニ於テ作り得ヘキモノナレハ固ヨリ三人ニテ作ルヘキモノニアラス

第二 爲替手形ノ手續ト異ナリ差立人ヨリ振出シテ差立人ニテ之レヲ拂フヘキヲナリ

第三 必シモ商法上ノ手形ト一樣ニ見做スヘキモノニアラス此三件ハ即チ爲替手形ト違ヒアル原則ト爲スモノナリ

尤モ此手形ト雖モ已ニ説キタル爲替手形ノ手續ニ據ルヲ多シ故ニ其手續中ニテ全ク爲替手形ト違ヒアル所ト而已チ説ケハ其餘ハ説カスシテ自ラ了知アルヘシト雖モ畧シ述フヘシ

此第二章トアル下ノ挿註ハ箕作ノ書加ヘタルヲカ又ハ全ク原書ニアルヲテ其儘譯シタルヲカ

原書ニハ第二章ノ下ニ挿註ナシ然シ此條ノ末ニ之ヲ加入セリ

此挿註ニ民法ノ第一千三百二十六條トアルハ全ク此條而已ノ關係ニアラス故ニ挿註ニ入レタルモノナリ然シ此千三百三十六條ハ各種ノ手形ノコトチ一般ニ束テテ説キタルモノナレハ自ラ此條ノヲチモ含蓄セリ

此條中ニ條列シタル九ヶ條ノ件々ハ商法ノ爲替手形ニモ兼用スヘキヲナリ

此九ヶ條ノ外ニ拂方ノ承諾ノ有無ヲ要スルヲハ全ク爲替手形ニ關スルヲニテ「ビリエー」タオルトルニ入用ノヲニアラス故ニ此條中ニ記載セサルナリ

此「ビリエーオルト」ノ書法ヲ説クヘシ  
 第一ニハ拂フヘキ全額何程ト云フヲ書クヘシ  
 夫レヨリ受取ヘキモノ、姓名拂フヘキ日限及ヒ紙幣カ正金トノ差  
 別其外前ノ九ヶ條ノ「ヲ」ヲモ書キ加フヘキナリ故ニ若シ其内ノ一廉  
 ナヲ洩ラストモ其効ヲ失フモノト爲ス商法第百八十八條ヲ見合ヘシ  
 此法律中ニ洩レタル「ヲ」アリ即チ其姓名ヲ必ス手署スヘシト云フ「  
 アリ何トナレハ此手形ニハ姓名手署ヲ要スル所以ナリ  
 若シ手形ノ金額ヲ拂フ「不能時」ハ之ヲ振出シ人ニ向テハ必ス請求  
 セサル可カラス其時ハ其金額ヲ公ケノ簿書ヘ騰記スヘキナリ尤之  
 レハ最初振出ス時ニ登記スヘキニアラス其請求ノ爲メ要償ノ證書  
 等ヲ作りタル時ニ當テ登記スヘシト爲ス其時ハ手形ノ金額百「フ  
 ランク」ニ付半「フランク」ノ手数料ヲ必ス拂フヘキ「ナリ

尙一事アリ

此手形ハ必ス印紙ヲ用ユヘキナリ其印紙ハ五「サンチム」ノ印紙ヲ以  
 テ百「フランク」以下ノ金額ニ用ユヘシト爲ス即チ二「フランク」ノ二十  
 分一ノ印紙ヲ用ユルナリ夫ヨリ以上ハ百「フランク」毎ニ五「サンチム」  
 ナ増スナリ

此手形ヲ作ルニハ最初ニ印紙ニ記スヘキナリ  
 已ニ爲替手形ニ付テ印紙税ノ「ヲ」ヲ説キタリ之レト同様印紙ニ記セ  
 サル時ハ其効ヲ失フモノト爲ス  
 若シ印紙規則ニ背キタル時ハ金高ニ應シ六分ノ割合ニテ罰金ヲ言  
 渡ナリ

手形ヲ作ルニ何某ノ命令ニ仍テ拂フヘシトノ文言ヲ記スヘキ「ハ  
 極肝要ナリ

此「ビリエー」タオルトル」ト云原語ハ命令ニ於テノ手形ト云意味ナリ  
 故ニ何某ノ命令ニ仍テ拂フヘシトノ文言ハ極肝要ノト爲ス  
 然シ假令何某ノ命令云々ノトナシトモ全ク其効ナキニアラス  
 然シ命令云々ノトナシトモ全ク讓渡スコト能ワサルニアラス  
 讓受ヨリ振出人エ向ヒ之レヲ請求スル時ハ民法ノ第千六百九十條  
 ニ仍ルナリ故ニ其命令云々ノトナキ時ハ讓渡人ヨリ其讓受エ證書  
 ナ添ヘ出スヘキナリ此證書ハ何某ヨリ何某ヘ讓渡ストノトナ記シ  
 テ之ヲ作ルヘキナリ  
 此證書ヲ以テ手形ヲ讓渡時ハ其振出人エ必ス告知スヘキナリ若シ  
 告知セサル時ハ振出人ニ向テ之レヲ求ムル權利ヲ失フト爲ス  
 讓受人ヨリ若シ告知ヲ爲サ、ル時假令之レヲ求ムルトモ振出人ニ  
 於テ拂ワサルト云フアリ

例ヘハ甲ノ振出シ人ヨリ乙ノ持主エ貸金アリ故ニ其決算スヘキ迄  
 ハ直ニ之ヲ拂フコトヲ得スト云テ其拂ヒナ拒ムフアリ其之ヲ拒ム  
 權利ハ甲ノ振出シ人ヨリ乙ノ持主ヘ向テ之ヲ拒ムモ同様ノ權利ヲ  
 有スルナリ  
 如斯不都合ヲ生スルハ畢竟命令ト云フヲ記セサル故ナリ之レニ反  
 シテ命令ト云フヲ記シタル上ハ決シテ其不都合ヲ生スルヲナシ  
 又タ此手形モ裏書シテ差支ナシ其裏書人處置ハ爲替手形ト異ナル  
 トナシ  
 故ニ其裏書ニハ此金額ヲ何某ノ命令ニ仍テ拂フヘシト云フト此九  
 ケ條ノ條目ヲ記スヘキナリ  
 此命令ト云フヲ記シテ其手形ヲ他人エ讓リ渡シタル上ハ其振出人  
 ト讓受人トノ差向ヒノ義務ト權利ニ爲リ最初ノ持主ヘ差引勘定等

ノヲチ以テ其拂ヲ拒ムコト能ハサルナリ

第一 手形ノ期日ハ嚴重ニ記スヘキナリ  
 例ヘハ其手形ヲ示シタル日ヨリ十五日目トカー一ヶ月目トカ判然ト  
 之ヲ記シ置クヘキナリ

第二 裏書人ニ於テハ互ニ連帶ノ義務アル故前ノ裏書人ハ後ノ裏  
 書人ニ對シ保證ヲ爲スヘキ譯ナリ

第三 此連帶ノ義務ハ「インソリトム」羅ノ義務ニシテ假令裏書人ノ  
 内一人ニ對シ其訴出ヘキ「フレスクリフシヨン」ヲ過タルトモ他ノ裏  
 書人ニ對シ未タ其期限ヲ過キサレハ之ヲ以テ訴出ルコト得ヘキナ  
 リ民法千二百六條ニテハ適セサルナリ商法中ニ「ソリダリテ」即  
 チ連帶ノ義務トアルハ誤リニテ「インソリドム」ト記スヘキナリ、  
 爲替手形ノ裏書人ノ連帶ト同様ナルヤ  
 然リ

第四 保證ノコト云フハ其振出人ノ慥ニ拂ヘキヤ否不信用ノ時ニ  
 限リ別ニ保證人ヲ立ツル譯ナリ  
 之ハ通常必ス保證人ヲ立テサル可カラサルトノコトニアラス其之ヲ  
 要スル時ノミニ於テ立ツヘキナリ

第五 其拂ヲ爲スヘキコトハ矢張爲替手形同様必ス其期日ニ於テ拂  
 フヘキ筈ニ付裁判官ニテ別ニ其日延ヲ許スコトナシ  
 日延トハ恩惠ノ日延ノコトナルヤ  
 然リ

此拂ヲ爲スニ必ス其期日ニ至ラサル以前ハ之ヲ拂ハサルナリ  
 何トナレハ盜取等ニテ他人ヨリ手形ヲ持來リ之ヲ拂ヒタル後其眞  
 ノ持主來リ遂ニ二度拂フヘキコトモ難計故ニ必ス其期日ヲ以テ拂フ  
 ヘキコト爲スナリ

第六 他人ノ關涉ニテ拂フヘキコトモ爲替手形ノ節已ニ説キタル如ク振出人ト持主トノ間ニ於テ之ヲ拂フモノアルトキハ拂ハシム可ク畢竟雙方ノ内ニ於テ便利ノ場合ニ仍ルヘキコトニ付固ヨリ他人ニテ關涉シテ之ヲ拂フヲ得ヘキナリ

振出人ニ代リ拂ヒテ爲シタル時ハ其振出人及裏書人等ノ義務アル者ヘハ殘テス告知スヘキナリ

第七ハ 此手形持主ト振出人トノ權利ト義務ハ爲替手形同様ナリ尤モ爲替手形ハ拂方ヘ備金ヲ爲スヘキ筈ニ付若シ其備金ナキ時ハ持主ヨリ差立人ニ對シ期日後ト雖モ請求スルヲ得ヘシ

然シ此ビリエータナルトルハ其備金ノ手數ナシ即チ振出人ニテ自分自ラ拂ヒテ爲スヘキ譯ニ付何時ニテモ備金ノナキコトナシ故ニ若シ拂ヒテ爲サ、ル時ハ直チニ要償ノ證書ヲ作り之ヲ求ムヘシ持主

ハ矢張裏書人ニ對シ要償ノ證書ヲ作り訴出スル權利ヲ有セリ

第九 又タ爰ニ返シ爲替及ヒ利息ノコトアリ然シ一体ビリエータナルトルコハ返シ爲替ノアルヘキ筈ナシ何トナレハ爲替手形ハ例ヘハ巴里斯ヨリ横濱エ持來リ若シ拂ヒテ爲サ、ル時ハ新規ニ手形ヲ作り又巴里斯ヘ其拂ヲ求ムル等ノ手續アレトモ「ビリエータナルトル」ハ其振出人自分ニテ拂ヲ爲スヘキ譯ニ付之ヲ返シ爲替ニ爲ス場合ハナキ筈ナリ然シ極稀ニ此返シ爲替ヲ爲スコトアリ

之ハ如何ナル場合ナルヤナ例ヘテ云ヘハ矢張自分ハ東京ニ居テ横濱ニ於テ拂ヒテ爲スヘシト約定シテ其手形ヲ振出シタル時ナリ之ヲ「ビリエータナルトルアドミシルト」ト名附テ可ナリ即チ住所ニ於テノ命令手形ト云意味ナリ

此約定ノ手形ニテ其期日ニ至リ其本人居合セサルカ又ハ金額ノ有

合ナキカニテ拂ヒテ爲サ、ル時ハ其手形ヲ以テ振出人ノ住所へ送  
 リ其拂ヒテ求ムへシ其手續ハ矢張返シ爲替同様ナリ  
 此約定ハ振出人ト持主ト直ニ結ヒタルコトニ付必ス其本籍ノ住所へ  
 返シ其金額ヲ求ムへキナリ  
 裏書人ト或場合ニ於テ返シ爲替ニ爲スコトアリ之ハ一ヶ所ノ裏書人  
 而已ナラス横濱其外他所ノ者ニテ裏書人ト爲リ其者ノ住所ニ居合  
 セサル時ハ最終ノ持主ヨリ其前ノ裏書人ニ對シ之レヲ求ムルコト  
 ナリ  
 其時ハ一般ノ返シ爲替同様裏書人ノ住所ノ地ニテ之レヲ求ムへキ  
 ナリ

第四十四號 明治八年十月十七日

是迄ハ爲替手形ト「ビリエーターナル」ノコトヲ説ケリ今日ハ爲替  
 手形ニ似タル處ノモノ即チ「セツク」ノ方法ヲ説クヘシ  
 「セツク」ト云原語ハ金ヲ拂フコトノ頼ミ狀ト云フ意味ナリ  
 「セツク」ハ人ニ金ヲ拂フ時容易ク拂フヘキ爲メ作りタルモノナリ  
 例へハ甲ヨリ乙へ品物ノ代價ヲ拂ワントスル時ニ正金ニテ渡スヘ  
 キ代リニ兼テ銀行へ預ケ置キタル金ヲ目的ニ其拂フヘキ金高ヲ銀  
 行へ宛タル手形ニ作り乙ニ渡スナリ乙ニテハ其手形ヲ受取銀行へ  
 持行き直ニ正金ヲ可受取手續ナリ  
 其手形ヲ以テ品物ノ代價等ヲ拂ヒ得ヘキ譯ニ付商賈ニテハ其代價  
 ナ容易ク請取得ヘキ方法ナリ  
 「セツク」ハ極近來ノ發行ニテ中古以前ハ取引キセサルモノナリ  
 一體之レハ誠ニ稀代ノ事ヨリ發明シタルモノナリ

埃國「ウヒンナ」ノ都下ニ於テハ年々一月一日ニハ日本ノ年賀ヲ祝ス  
 ル如ク人民相互ニ自ラ來往セシニ遂ニ其自ラ來往スルノ煩シキヲ  
 厭ヒ各其名札ヲ作り自家ノ從僕ヲ以テ各家へ投刺スルトコ、ナレリ」  
 之レハ固ヨリ一家而已ナラス各所各家ヨリ互ニ其從僕ヲ以テ名札ヲ  
 投刺スルヲ故都下ノ市中ハ遠近トモ其混雜煩勞等不少仍テ其從僕  
 同志相互ノ考究ニテ都下ノ中央へ集會シ各自家ノ近傍へ投刺スへ  
 キ名札交換シテ持去ルコト、爲セリ  
 然ル處尙愈此法ノ行ワル、ニ隨ヒ遂ニハ市中ノ中央而已ナラス其  
 半途ニテ便宜ノ地ニ集會シ互ニ之レヲ交換スルヲト爲リタリ  
 此方法ハ即チ「セツク」ノ由テ來ル所ニシテ其主意ノ似タル所ナリ  
 故ニ其主意ニ基キ此「セツク」ヲ作りタルヲナリ  
 此「セツク」ハ英國ノ「クレーリ」ンクハウスト云フ處ニテ始テ取扱フヲ

ナリ

英國ニテハ一體古來ヨリ品物ノ代價ヲ正金ニテ拂ワス手形ヲ以テ  
 遣ヒ拂フノ風習ナリ

故ニ富家ニテハ多ク其貯蓄金ヲ銀行エ預ケ置キ可拂時ハ其品物ノ  
 代價ヲ手形ニ作りテ之レヲ渡シ銀行ヨリ直チニ正金ヲ受取ラシム  
 ル風習ナリ

故ニ諸商賈ハ其手形ヲ正金ノ代リニ受取ヲ以テ便利ト爲スコトナリ」  
 然シ各家へ賣込タル諸商賈ハ毎日其手形ヲ受取ルトモ各家毎ニ其  
 預ケ金アル銀行ハ各略ナル而已ナラス東西懸隔リ直チニ之ヲ取引  
 キ成算スル能ワス故ニ商賈ノ自店ニテ取引キスル所ノ銀行へ持行  
 キ各家ヨリ受取タル手形ヲ其銀行エ渡シ正金又ハ預ケ手形ト交換  
 シテ融通ヲ爲スコトナリ



其商賈ヨリ受取ル所ノ銀行ニテハ各家ヨリ差出シタル他ノ銀行宛  
ノ手形ヲ一束ヲ受取之ヲ以テ又銀行同志互ニ相授受シ其先々ノ  
融通ヲ爲スコトナリ

故ニ此銀行同志ニテ皆其各家ノ手形ヲ互ニ授受スル爲メ龍動市中  
ノ中央クレイリソクホウスト云大ナル爲換ノ銀行ニテ諸方ヨリ持  
來リ集會シテ之ヲ交換スルコトナリ

故ニ此クレイリソクホウスノ構内ニハ諸方ノ銀行ノ出張所ヲ設ケ  
置クコトナリ

此銀行集會所ニテ相互ニ自家へ宛ラレタル手形ヲ交換シテ其差引  
成算ヲ爲シタル上ハ其セツクハ全ク廢紙ト爲シテ破棄スルコトナリ  
此銀行同志互ノ取引ハ必スシモセツクノ交換耳ニテ成算スルヲ得  
ルト云フニ非ス若シセツクノ金高少キ時ハ正金ヲ以テ之レヲ補フ

例へハ甲ハ百圓ノセツクヲ有ス乙ハ五十圓ノセツクヲ有ズ然ル時  
ハ乙正金五十圓ヲ添へテ甲ト成算スル理ナリ

「ロンドン」市中ニテハ賣買トモ其代價ハセツクニテ授受スル故ニ每  
日夕方ニ至リ其集會所ニテ相互ニ之ヲ交換シ其差引ヲ爲シ一日中  
ニ決算スルコト、爲セリセツクノ方法ハ先ツ前ニ説キタル如キモ  
ノナリ

佛國ニテモ英國同様ニ此セツクノ方法ヲ立テント欲シ  
千八百六十五年六月二十日ノ布告ヲ以テセツクノ方法ヲ設ケ且ツ  
之ヲ公行スル爲メ特別ニ自由ナル規則ヲ立テタリ

「セツク」ヲ作ルニハ印紙ヲ貼用セサルナリ  
爲替手形ノ如ク登記局ニテ登記スルコトヲ要セサルナリ  
如斯ナル方法ニテ公行スルト雖未タ英國ノ如ク盛大ナラス且クレ

「リソグホウス」ノ設ケモナシ然レトモ已ニ公行セルコト故互ニ銀行同志ノ家へ往來シテ各家ヨリ差出タル「セツク」ヲ交換スルトト爲セリ

英國ノ方法ハ已ニ説キタル如ク極盛大ナレモ佛國ノ方法ハ未タ全備ト云フニアラス然シ先ツ佛國ノ方法ニテ之ヲ説クヘシ

通常貯蓄金ヲ銀行エ預ケ置ニハ銀行ヨリ帳面ヲ二冊出スナリ

其一冊ハ計算ノ帳面ト爲シ他ノ一冊ハ「セツク」ノ帳面ト爲スナリ

計算ノ帳面ニハ二行ノ罫ヲ引ケリ一行ニハ預ケ金ノ高ヲ記シ一行ニハ時々受取タル金高ヲ記スナリ

「セツク」ノ帳面ハ其帳面中ノ一枚毎ニ手形紙ノ如クニ製シ置其「セツク」ヲ作り之レヲ出ス時ハ其手形紙ノ内ニ金高ト銀行ノ宛名ヲ記シ之ヲ一枚毎ニ切去リテ受取人エ渡スヘキコトナリ

故ニ「セツク」ノ手形紙ハ通常必ス帳面中ニ製シ置ク「ハ極マレリ

「セツク」ノ手形ヲ作ルニハ其内ニ記スケ條アリ  
即チ

第一 差立人己レノ姓名ヲ手署スヘシ

第二 金額ヲ記スヘシ之ハ必ス正金ニテ拂フヘキ定メニテ品物ヲ以テ其正金ノ代リニ拂フ等ノコトハ爲ス可カラサルナリ

第三 差サレ人即チ銀行ノ姓名ヲ記スヘシ其差サレ人ノ姓名ハ必ス他人ニ限ルヘシ即チ自分ヨリ差出シ自分ニテ差サレ人ト爲ル可

カラサルナリ

「ビリエーターオルトル」ハ自分ヨリ差出シ自分ニテ受取ル「モアルヘシト雖モ「セツク」ハ必ス他人ニ限ルヘキナリ

第四 日付ヲ記スヘシ佛國ニテハ日附ト云ヘハ地名付モ其内ニ籠

ルコナリ故ニ只日附ト云而已ナリ其地名ハ府内ヨリ同府内ニ差出  
ス何レコテモ不苦ナリ

第五 「セツク」ハ其手形ヲ示サレ次第直ニ拂フヘシトノ文言ヲ記ス  
ヘシ爲替手形ハ之ヲ示サレタル日ヨリ二月目又ハ三月目ノ期限ア  
リト雖モ「セツク」ハ之ヲ示サレテヨリ直ニ拂フヘキコナリ

第六 「セツク」ヲ受取タル人即チ持主ノ姓名ヲ記スヘシ其姓名ヲ記  
スルニ三通アリ

第一 持主ニ拂フヘシト記スアリ

第二 何某ヘ拂フヘシト記スアリ

第三 何某ノ指令ニ仍テ拂フヘシト記スアリ

此三通ノ書方ノ違ヒニ仍リ自ラ差別アリ

「セツク」ハ他人ヘ譲リ渡スコトヲ得ヘシ如何ナル書方ニテモ不可ナシ

ト雖此三通ノ書方ニ仍テ其讓渡ノ手續ニ違ヒアリ

第一 持主ヘ拂フヘシト記シタル時ハ必ス持主ヨリ讓受人ヘ直ニ  
手渡スヘキナリ然ル時ハ段々ニ譲リ渡シ其中間百人ノ手ヲ經ルト  
モ總テ譲リ渡シ得ルナリ故ニ若シ差サレ人ニテ不拂コトアル時ト  
雖モ爲替手形等ノ如ク裏書人ナキ故其中間ノ譲リ受人ニ於テハ關  
係ナキコト爲セリ

第二 何某ヘ拂フヘシト記シタル時ハ之ヲ譲リ渡スニハ民法ノ第  
千六百九十條ノ規則ニ仍リ金ノ貸借ヲ人ニ譲リ渡スノ手續同様ニ  
爲スヘシ此手續ハ同條中ニ説明アリ

第三 何某ノ指令ニ仍リ拂フヘシト記シタル時ハ裏書ヲ以テ譲リ渡  
スヘキ譯ニ付其裏書ニ何某ヨリ他ノ何某ヘ譲リ渡シタルトノコト  
ヲ記スヘシ故ニ若シ差サレ人ニテ拂方ニ故障アル時ハ其裏書人一

同ノ關係ヲ免レヌ其義務ヲ連帶シテ拂フヘキコト、爲セリ  
其裏書ニテ譲リ渡ス爲メ其手形ヲ作ルニ白裏書ト云フコトアリ之ハ  
爲替手形ニハ禁制ナリ

此白裏書ハ例ヘハ何某ヘ譲リ渡ストモ其宛名ヲ記セス持主ノ姓名  
ト月日ト而已ヲ記スヘキコトナリ

此白裏書ヲ以テ譲リ受ケタル時ハ其持主ノ便宜ニヨリ追々譲リ渡  
スコト得ヘキコト付其最終ヲ持主ヨリ其金ヲ要スル時ニ於テ自分ノ  
姓名ヲ書キ加ヘ受取ヘキ方法ナリ

此白裏書ハ爲替手形等ニハ制禁ナレド極便宜ヲ得ヘキコト故セツ  
クニ限リ特別ノ方法ニテ免セルコトナリ

「セツク」ヲ差出スニハ必ス差サレ人ノ方ヘ前以テ預金ヲ爲シ置ヘキ  
モノナリ之レハ大ヒニ爲替手形ト性質ノ差違アル所ナリ

爲替手形ハ預金ナシトモ差サレ人ニテ之ヲ拂フコトアリト雖モ「セ  
ツク」ハ其預金ナキ者ヘ之ヲ差出「能」ワサルナリ

預ケ金ナキ時「セツク」差出ス可カラサルトノ法律ニ定アル所以ハ  
何トナレハ固ヨリ爲替手形「ヒ」リエーターオルトルノ如ク商法上ノ  
金融通ノ爲メニ作リタルモノニアラス

「セツク」ハ金ヲ拂フヘキ爲メニ作リタルモノ故之ヲ以テ金ノ融通ノ  
爲メト爲スコトヲ制禁セヌ故ナリ

「セツク」ハ金ヲ拂フ「コト」ヲ容易ク爲ス爲メナリ爲替手形ハ金ノ融通ヲ  
爲ス爲メニ作リタルモノナリ

若シ其預金ナク「セツク」差出ス時ハ罰セラルヘシ

此罰金ハ「セツク」ニ記シタル金高ノ百分ノ六ト爲スナリ  
又預ケ金ナキコトヲ知リツ、其差サレ人ノ意ヲ計リ其金ヲ取出ス

工夫ヲ爲シタルコトノ露顯シタル時ハ罰金ノ外ニ一年ヨリ少カラ  
ス五年ヨリ多カラサル禁獄ヲ言渡サル、ナリ即チ謀計ヲ以テ人ノ  
物ヲ取リタル罪ニ陥ルナリ

然シ若シ眞ニ其預金ノ已ニ缺乏シタルコトヲ知ラス全ク差サレ人  
ヨリ受取ヘキ金アル積ニテ差出シタル時ハ百分ノ六ノ罰金而已ニ  
テ他ニ罰セラレ、コトナシ

問 其裁判ヲ爲ス時ハ商法裁判所カ民法裁判所ニ屬スヘキヤ

「セツク」ハ爲替手形ト違ヒ必ス商法品ト爲スヘキノ定メナシ故ニ民  
法ニ關スル時ハ民法裁判所ニテ取扱ヘキナリ例ヘハ米ヲ買等ノコ  
トハ則チ民法裁判所ニ屬スヘキナリ

「セツク」ハ差出シタル日ヨリ五日目迄ニ受取ヘキナリ尤差サレ人ノ  
一市内ナル時ハ五日目他ノ市内ナレハ八日目ヲ限ルナリ

此期限ヲ短ク立タル譯ハ「セツク」ヲ以テ手形ニ模擬シテ作り其金融  
通ヲ爲ス者アル故也

故ニ爲替手形ノ如ク期限長ク幅通スヘキモノニアラス

日限短キ故或ヒ「セツク」ヲ作ル時日付ヲ記セスシテ其勝手ニ五日  
モ十日モ過キタル後ニ受取等ノコトアル故ニ千八百六十五年布告  
法ノ第四條ニ於テ之ヲ罰スル法ヲ設ケリ若シ違ヒタル日附ヲ入ル  
時ハ「セツク」ノ金額百分ノ六ノ罰金ト爲セリ「セツク」ハ商法ニ限リテ  
用ユヘキモノニアラス故ニ商法ノ品ト爲サス然シ千八百六十五年  
ノ法律ノ第二條ノ内ニ爲替手形ノ方法中ニ於テ

第一拂ヒ方ヲ保證スルコト

第二裏書人ノ義務連帶スルコト

第三要償ノ證書ヲ作ルコト

右ハ總テ爲替手形同様ノ規則ヲ以テ處置スヘシトアリ  
 故ニ其期限ニ此手形ヲ差サレ人ヘ示シ若シ拂ワサル時ハ要償ノ證  
 書ヲ作り之ヲ裏書人ヘ告知スヘキナリ此事ハ已ニ説キタル爲替手  
 形ノ規則ト全ク同様ナリ  
 若シ期限内ニ手形ヲ持チ行カス又ハ要償ノ證書ヲ作ルコトヲ忘レ  
 タルカ又ハ裏書人ヘ其告知ヲ爲サ、ル等其手續ヲ怠タリタル時ハ  
 持主ヨリ裏書人ニ對シ之ヲ責メ求ムルノ權ヲ失フナリ  
 此手續ヲ怠タル時ハ持主ヨリ裏書人ニ對シ責メ求ムルノ權ヲ失フ  
 カ如ク其裏書人ヨリ他ノ裏書人ヘ對スルハ勿論差出人ニ對スルト  
 モ其權ヲ失フナリ  
 然シ其差立人ト裏書人トハ少シ差違アリ  
 何トナレハ差立人ニ對シテハ其權ヲ失フト失ナハサルコトアリ

差立人ヨリ預金アルニ持主ヨリ其期限内ニ受取トシテ往カサル時  
 ハ差立人ノ過ニアラス全ク持主ノ怠リニ付即チ持主ノ損ナリ若シ  
 差立人ヨリ預金ナキカ又ハ預金セシトモ其期限以内ニ引取タル等  
 ニテ差立人ノ方ニ其過チアル時ハ其差立人ニ對シ之ヲ責メ求ムル  
 ノ權利ヲ有スルナリ  
 已ニ説キタルコトハ皆千八百六十五年ノ布告中ニアルコトナリ故  
 ニ爲替手形ト「セツク」ト異ナル所ロ而已チ論スル時ハ自ラ「セツク」ノ  
 方法ヲモ了知セラレヘシ  
 其異ナル所ヲ説クコト左ノ如シ  
 第一 爲替手形ハ商法ノ品ト爲セトモ「セツク」ハ全ク商法ノ品ニア  
 ラス  
 第二 爲替手形ハ差サレ人ニ預金ナシトモ差出スコトヲ得ヘシト

雖「セツク」必ス其預金ヲ爲ス可キコトヲ要スルナリ

第三 爲替手形ハ差立人ト差サレ人トノ住所ニ於テ多クハ懸隔ノ地ナレト「セツク」ハ一市内等同ノ場所ニテ之ヲ差出スコト、爲セリ

第四 爲替手形ノ期限ハ長短同シカラス極長キ期限アリト雖「セツク」ハ五日目又ハ八日目ト格別ニ短キ期限ナリ

第五 爲替手形ノ譲リ渡シニハ白裏書ハ制禁ナレト「セツク」ハ白裏書ヲ以テ讓渡スルコトヲ得ヘキナリ

千八百六十五年ノ法ニ「セツク」ニ限り印紙ヲ貼用セスシテ發行スルヲ得ヘキコト、爲セリ

然シ之レハ其後即チ千八百七十一年ノ戦争後ノ改革ニテ増税ヲ爲ス爲メ「セツク」ニモ其金高ニ不拘十錢即チ佛國ノ十「サンチム」ノ印紙ヲ貼用スルコト、改正セリ

問 「セツク」期限ハ五日又ハ八日ノ定メト云フハ巴里斯市中而已ニテ「リチン」及ヒ「マルセル」等他ノ場所ハ通用セサル譯ナルヤ

答 「セツク」ハ日用ノ拂ヒ方ノ便利ノ爲メ作りタルモノニテ固ヨリ商法上ノ融通ノ爲メニ作りタルモノニアラス故ニ大概一市内ニテ取引スヘシト雖五日又ハ八日其取引ヲ爲シ得ヘキ地ハ他ノ場所ト雖之ヲ差立ルコトアリ此後會ハ期滿得免ノコトヲ説クヘシ

第四十五號 明治八年十月二十二日

前會ニ於テ已ニ説キタル如ク爲替手形「ビリエー」タオールドルニ付テハ種々ノ義務アリ

即チ差立人裏書人ノ義務ハ持主ヨリ之ヲ求ムヘキ權アル等ナリ然シ其期限ヲ過了スルハ期滿得免ト爲ルナリ其期滿得免ハ通常ノ

期限ヨリ短期ニ定メタルモノナリ  
 民法ノ契約等ニテハ三十年ノ期限ヲ過了スレハ期滿得免ト爲スナ  
 リ即チ民法ノ第二千二百六十二條ニアル所ナリ  
 然シ爲替手形「ビリエータオルドル」ハ其期滿得免ヲ五年ト限ルヘキ  
 ナリ

故ニ五年以上ヲ過了セシ時ハ假令其拂ヒ方ヲ求ムルトモ期滿得免  
 ノ譯ケナ以テ義務ヲ盡サ、ルヲ當然ト爲スナリ  
 通常ノ期限ヨリ格外短期ニ定メタルハ自ラ主意アルコトナリ  
 民法ニテ契約ヲ爲シタル上ハ三十年間ノ期限内ハ何時ニテモ甘マ  
 ンシテ其責ヲ受クヘキナリ然シ爲替手形「ビリエータオルドル」ニ付  
 テノ義務ヲ盡スヘキモノ通常トハ違ヒアルナリ之レハ他人ノ義務  
 ニ就テ關涉シテ之ヲ受合ヒタル譯ナル故ナリ

何トナレハ差立人又ハ裏書人ニテ其責ヲ任スルハ畢竟其差サレ人  
 ノ拂フヘキコトヲ保證スル譯ニテ即チ他人ノ義務ヲ受合ヒタルコ  
 トナレハ夫カ爲メ長ク其關涉ヲ免カレサラシムル時ハ許多ノ迷惑  
 ト爲ルヘキ不都合アル故ナリ  
 故ニ其全ク自分一己ニ任シテ取結ヒタル民法ノ契約トハ自ラ差違  
 アル譯ケナリ

且ツ商法ノ爲替手形等ハ差立人及ヒ裏書人ハ互ニ其義務アルコト  
 ナ知ラスシテ居ルコアリ

何トナレハ其手形ハ現在何人ノ手ニアルヤヲ知ラスシテ之ヲ保證  
 セシモノ故ニ十年モ二十年モ過了セシ後ニ於テ不意ニ其先差立  
 タル手形ハ未タ其拂ヒナシト云コトヲ以テ之ヲ求メラル、様ニテ  
 ハ其後チノ手數ヲ恐ル、爲メ一般ニ於テ其手形ヲ作ルモノナキニ



至ルナリ  
何トナレハ其義務ヲ受ケルコトノ長ク且ツ重キ故ナリ  
故ニ其義務ヲ長ク且ツ重クセサル爲メ其期限ヲ短ク且ツ輕クナス  
爲ナリ

故ニ「セツク」モ其期限ヲ短クシテ可ナリ然シ此短キ期限ハ商法上ニ  
アラサレハ之ヲ用ヒカタシ

故ニ民事ナル時ハ通常ノ期滿得免ヲ用ユヘキナリ  
之ハ即チ第百八十九條ニ定メアリ

此第百八十九條ノ反譯ニ相違アリ之ヲ改ムヘシ  
商人又ハ銀行主ノ姓名ヲ手署シタル「ノ」句ヲ「爲替手形及ヒ」ノ句ノ下

次ニ置キ顛倒ヲ改ム即チ爲替手形及ヒ商人又ハ銀行主ノ姓名ヲ手  
署シタル「ビリエータオルドル」ト爲ス方宜シト爲ス

五年ノ期滿得免ハ商法上ニ限リタルコトナリ故ニ其他民事等通常  
ノモノハ三十年ト爲スナリ

爲替手形ハ商人又ハ商人ニアラサルニ拘ワラス商法上ノコト、爲  
スナリ「ビリエータオルドル」ハ必ラス商法上ニ限ルヘキニアラス尤

商人ニテ之ヲ作り商事ニ關係シタルモノハ商法裁判所へ訴へ出ス  
ヘキニ付五年ヲ以テ期滿得免ト爲スナリ

「ビリエータオルドル」ヲ通常民事ノ人ニテ作りタル時ハ三十年ヲ以  
テ期滿得免ト爲スナリ

故ニ此條中ニテハ商法ノ「ビリエータオルドル」ト云フ意味ニシテ見  
ルヘキナリ

故ニ先ツ此條中ニ就テ論スヘシ  
爲替手形「ビリエータオルドル」ニ就テノ訴訟ハ五年ヲ過了スレハ期

満得免ト爲ルナリ

此訴訟ト云フハ即チ持主ヨリ已ニ承諾ヲ爲シタル差サレ人へ對シテ其拂方ヲ求メ之ヲ訴訟シ得ルナリ

若シ未ダ承諾セサル差サレ人ニ於テハ其責ヲ受ルコトナシ故ニ差サレ人ニテ已ニ承諾シタル後五年間持主ヨリ之ヲ責メス又差サレ人ニテモ拂ワサル時ハ即チ期満得免ノ期限ヲ過了ルナリ故ニ其訴訟ヲ爲ス能ワサルナリ

且ツ金高ノ保證人アル時ハ持主ヨリ其保證人へ對シテ之ヲ求ムルノ訴訟モ矢張五年ヲ過了ル時ハ其義務ヲ消スルコトナルナリ  
已ニ二例ヲ擧ケタリ

第三ハ持主ヨリ其備金ヲ爲サ、ル差立人ニ對シテ訴訟スルコト得ヘシ此訴訟モ五年間ヲ以テ期満得免ト爲スナリ

テ

此備金ヲ爲シタル差立人ト備金ヲ爲サ、ル差立人トハ大ヒニ違ヒアリ

備金ヲ爲シタル差立人へハ持主ヨリ十五日間ニ要償ノ證書ヲ作り之レヲ求ムヘキナリ此手續ハ追テ説クヘシ

備金ヲ爲サ、ル差立人ニ對シタル訴訟ハ即チ五年間ニ於テ之ヲ爲シ得ヘキナリ

此第三例ハ第百八十九條ノ主意ヲ正當ニ執行スルノ方法ナリ

持主ヨリ裏書人へ對シタル訴訟ハ五年間ノ期限ニアラス即チ第百六十八條ニ明文アル如ク差サレ人ニテ拂ハサルキハ即チ裏書人エ對シ直ニ要償ノ證書ヲ作りタル日ヨリ十五日間ニ於テ訴訟ヲ爲ス

ヘキニ付五年間ノ期満得免ノ期限ヲ用ユルニ至ラサルナリ

一 此十五日間ノ期限ト云フハ其期限中即チ十四日目ニ訴訟ヲ始

メ裁判所へ呼出シタル上ハ其儘引續キ期滿得免迄ハ其權利ヲ失ハ  
サルヲニ付若シ其期限ヲ過了セントスルキハ又再ヒ其手續キヲ爲  
ス等ニテ其期限ヲ幾度モ維持繼續シテ置クヲ得ヘキナリ  
之ハ「ローマ」ノ以前ノ法律ニテ定メタルコニテ一度裁判所へ訴訟ヲ  
爲シタル上ハ追々ニ其期限ヲ繼續シ何年其權利ヲ失ハサルノ原則  
ナリ

期滿得免ノ期限ヲ中止シ維持繼續スル方法ニ於テ餘リ其期限ヲ永  
ク爲スルハ各々迷惑ヲ爲スヘキ故ニ先ツ其期限ヲ三年ト爲セシナ  
リ仍テ其三年其儘ニ過了スルキハ最初ヨリ訴訟ヲ爲サ、ルモ同様  
ト爲スヘキ故ニ再ヒ之ヲ其三年目ニ訴訟シ其時ヨリ又期滿得免ノ  
期限ヲ起算スルコトナリ之ヲ即チ「ペーランプシヨ」ノ方法ト云フナリ」  
之ハ一體商法上ノ五年ノ期限ヲ以テ期滿得免ト爲スルハ永キユエ

答 然リ

通常ノ方法ハ先ツ已ニ説キタル如クナリ持主ヨリ裏書人ニ對シテ

大抵十五日間ニ於テ訴訟ヲ爲スコトナリ  
然シ若シ此十五日間ニ於テ訴訟ヲ不爲キハ三年間ニ之ヲ爲シテ可  
ナリトセリ故ニ此「ペーランプシヨ」ノ方法ハ期滿得免ヲ追々維持  
スヘキ譯ニテ商法ノ便益ノ爲ニ設ケタル手續ナリ

玉乃問 裏書人ヲ裁判所へ呼出スハ十五日ヲ限ルヘシト雖モ若シ其

十五日ヲ過キタル時ハ即チ三年間ニ之ヲ呼出得ヘキ譯ナルヤ

答 十五日ノ期限内即チ十四日目ニ呼出スヘキ手續ヲ爲ス時ハ幾度

ニテモ追々其期限ヲ繼續シ得ヘキ譯ナリ

西問 三年ノ期限ノモノハ其期限中即チ二年三百日目位ニ再ヒ之ヲ

呼出ス時ハ矢張「ペーランプシヨ」ノ方法ト爲スヘキナルヤ

ハ五年ノ期滿得免ヲ用ヒス十五日間ニ於テ要償ノ證書ヲ作り訴訟  
 スヘシ尤此十五日ノ期限ヲ不用時ハ矢張第百八十九條ノ手續ニテ  
 五年ノ期限ヲ用ユルナリ  
 爲換手形ハ其差サレ人ニテ不拂時ハ入費ナク差立人へ返ル方法ア  
 リ即チ返シ爲替ト云之ハ其差サレ人ニテ不拂時直ニ要償ノ證書ヲ  
 作りテ訴訟スヘキモノニアラス故ニ此時ハ十五日間ヲ以テ訴訟ノ  
 期限ト爲サ、ルナリ故ニ  
 此返シ爲替ノ方法ヲ用ユルキハ其裏書人へ對スル訴訟ト雖モ十五  
 日ノ期限ニアラス五年間ト爲スコトナリ  
 持主ヨリ差立人ニ對シ訴訟スルノ手續ヲ説クヘシ  
 通常差立人ニテ備金ヲ爲シタル時ハ要償ノ證書ヲ作り十五日間ニ  
 訴訟スヘシ然ラサレハ持主全ク其權利ヲ失フナリ

然シ返シ爲替ハ差立人ニ對シテ訴訟ヲ爲ス時ハ十五日ノ期限ニア  
 ラス五年ノ期限ト爲スナリ  
 是迄説ク處ニテ第五例ニ爲ルナリ  
 第六ハ差立人ヨリ差サレ人へ備金ヲ爲サス然ルニ差サレ人ニ於テ  
 差立人ノ名譽ヲ顧ミ不取敢持主へ拂ヒ置キ其差サレ人ヨリ差立人  
 ニ對シ其已ニ拂置キタル金高ヲ請求スルノ訴訟ヲ爲ス時ハ如何爰  
 ニ二ツノ種類アリ  
 第一 持主ノ代權シユブスケチエンシヨトナリソノモチヌシノ有スル丈ケノ權利ヲ以テ  
 サシタテ人へタイシコレヲモトムルヲ得ヘキナリ  
 此權利ハ自ラ爲替手形ニ固有スル所ノケソリナリ  
 差タテ人ニタイシ求ムルトコロノ訴訟モ矢ハリ五年ヲモツテ期滿  
 得免ト爲ナリ

第二 其已ニ拂ヒタル差サレ人ハ差立人ノ代人ト爲リタル場合アリ  
 差クテ人ヨリ備金ナキトキ差サレ人ニテ持主ヘソノ金高チ拂ヒタル時ハ全ク差立人ノ代理ト爲リタル譯ケナリ故ニ其代理ノ方法ヲ以テ訴訟ヲ爲スヘシ之ハ民法ニ通例ノ代人ノ法ニ屬スル故ニ三十年ノ期滿得免ト爲スナリ  
 故ニ持主ノ代權ノ主意ヲ以テ訴訟ヲ爲スヘキ場合ニ於テ若シ其五年ノ期滿得免ヲ過了シタルキハ尙一ツノ工夫ヲ以テ差立人ノ代理人ト爲リタル場合ニテ訴訟ヲ爲シ之ヲ求ムルヲ得ヘシ即チ民法ノ三十年ノ期滿得免ト爲スナリ  
 又タ別ニ最終ノ例ヲ説クヘシ之ハ前例ト反對シタルモノアリ  
 差サレ人ニテ備金ヲ受取置之ヲ持主ヘ不拂故其持主ヨリ差立人ヘ

其拂ヒテ求メ差立人ニテ不取敢拂ヒ置然ル後差サレ人ヘ對シ其金高チ求ムルノ訴訟ヲ爲ス時ノコトナリ  
 其時ハ差立人ニテ持主ノ代權トナリ差サレ人ヘ對シ訴訟ヲ爲スヘシ  
 之ハ矢張五年ヲ以テ期滿得免ト爲スナリ其次ニハ又差立人ヨリ差サレ人ヲ代理ト爲シタルニヨリ其代理ヘ預置タル金ヲ拂ワサルコトヲ訴訟スル譯ニ付即チ民法ノ代人ノ法ニ屬シ三十年ノ期滿得免ト爲スナリ  
 爲替手形ニテ生スル所ノ訴訟ハ總テ前ニ説キタル手續ナリ  
 尙「ビリエータオルドル」ヨリ生スル所ノ訴訟ノ方法ヲ説クヘシ尤此方法モ爲替手形ト同様ナリ  
 「ビリエータオルドル」ノ持主ヨリ差立人ヘ對シタル訴訟ハ矢張五年

ヲ以テ期滿得免ト爲スナリ  
 裏書人ニ對シタル訴訟ハ十五日内ニ限ルヘシ尤追々ニ之ヲ繼續シ  
 十五日以後ト雖モ又再ヒ訴訟ヲ爲シ得ヘキハ爲替手形モ同様ナリ  
 今日已ニ説ク處ハ其訴訟ニ仍リ期滿得免ノ區別アルコトヲ説ケリ  
 尙第百八十九條ノ期滿得免ノ期限ハ決シテ遲延スル能ハサルヤ如  
 何ト云フヲ説クヘシ五年ノ期滿得免ノ期限ト雖モ又之ヲ遲延スル  
 コトヲ得ヘキナリ何トナレハ第百八十九條ノ内ニ暗ニ説示シアリ  
 此條中ニ裁判言渡アラサルキハ云々トノ文アリ之ハ五年ノ期限ヲ  
 三年ト爲シ得ヘキ主意ノ自ラ含蓄スル所アルナリ  
 若シ裁判所ニテ其拂方ヲ不爲原由ニ寄リ商業上ノコトニアラサル  
 旨ノ言渡シヲ受タルキハ期滿得免ハ三十年ノ期限ト爲ステ得ルヤ  
 或ハ又差立人裏書人ヨリ爲替手形ノコトニ付イツレニモ拂方ヲ可

爲云々ノ書面等差越タルコトアルキハ之ヲ證ト爲シ訴訟ヲ爲ステ  
 得ヘシ即チ期滿得免ハ三十年ト爲スモノナリ  
 問 然ル時ハ民法ノ約定ニ轉スル譯ナルヤ  
 答 之ハ五年ノ期滿得免ヲ過了スルトモ其差立人及ヒ裏書人ヨリノ  
 書面ヲ以テ證スル譯ニ付其書面ノ日付等ヨリ起算シ必ス五年ノ  
 期滿得免ト爲スヘキモノニアラス  
 第三ハ期滿得免ノ期限ヲ定ムル爲メ其期限ヲ起算スルニハ何月何  
 日ト其初點ノ日ヲ定メサル可カラサルナリ  
 第百八十九條要償ノ證書ヲ作ル云々トアリ一拂方ヲ爲サ、ルモ  
 ノハ何人ト雖モ容易ニ要償ノ證書ヲ作ラシムヘキニアラス然ラハ  
 其時ハ期滿得免ノ日ヲ如何シテ起算スヘキヤ之ハ論者ノ説アルコ  
 トアリ假令之ヲ作ラサルトモ其儘捨置ヘキニアラス故ニ其キハ要

償ノ證書ヲ作ルヘキ日即チ其拂ヒ期限ヲ求メタル日ヲ以テ初點ノ日ト爲スヘキナリ

假令要償ノ證書ヲ作ラサルトモ其金高ニ付往復シタル書狀ノ内ニ期限ヲ記シアル時ハ其日附ヲ以テ期滿得免初點ノ日ト爲スナリ

例ヘハ何月目トカ期日ノ定メアル手形ヲ其期日ノ通ニ不拂時ハ其期日ヲ以テ期滿得免ノ初點ノ日ト爲スヘケレモ其手形中ニ之ヲ示シ次第又ハ示シテヨリ何月目何日目トカ記載アルモハ其期滿得免ノ初點ノ日ヲ定メ難シ

之モ論者ノ説アル所ナリ

故ニ實際ニ於テハ例ヘハ巴里斯ヨリ「マルセル」ヘノ日限チ一日ト爲セハ其翌日ヲ以テ拂ヒ期限ト爲シ即チ其翌日ニ若シ不拂時ハ其日ヲ期滿得免ノ起算ノ初點ノ日ト爲スナリ

尤此五年ノ期滿得免ハ訴訟ノ手數前其呼出或ハ取押ヘテ爲シタル夫レ丈ケノ日數ヲ差引前後ノ日數ヲ以テ五年ヲ計算シ期滿得免ノ期限ヲ定ムルナリ

大概訴訟ノ手續ハ三年目位ニ改メテ又再ヒ期滿得免ノ初點ノ日ト爲シ又五年間ニ引延ハスコトナリ

爲替手形ノ期滿得免ハ通常ノ期滿得免ト違ヒアリ何トナレハ通常ハ幼者ニ對シテハ其期限ノ過了ルコトヲ中止スルト雖モ爲替手形ニ於テハ幼者ト雖モ其期限ヲ中止スルコトナシ

例ヘハ親ノ地面ヲ讓リ渡ス等ノ約定等若シ其子ノ相續スル迄十年ノ延期ヲ爲セハ其間ハ中止シ其十年後ヲ以テ期滿得免ノ初點ノ日ヲ定メ三十年迄ト爲スナリ

然シ爲替手形ハ幼者ト雖モ之ヲ中止シ猶豫スルコトナシ

商法上ニテハ期滿得免ノ五年ヲ過了スルトモ持主ニテ尙別ニ方法アリ

其負債主ヨリ口上ニテ一言タリトモ其持主ヘ對シ負債アルコトヲ裁判官ヘ申述ヘタル上ハ之ヲ以テ證ト爲シ持主ノ權利ハ何年間ヲ過クルト雖モ消盡スルコトナシ即チ此條中ノ主意ナリ

尙一ツ持主ノ權利アルコトアリ  
彌五年間ノ期限ヲ過了シ負債主ヨリ口上ニテモ其負債アルコトヲ申述ヘサル時ハ持主ヨリ其負債主ヘ對シ斷然其金高ヲ拂ワサル旨ノ誓ヒヲ爲サシムヘシ若シ其誓ヒヲ爲サ、ル時ハ全ク敗訴ト爲ルナリ

其當人ニテ死シタルキハ其子ニ對シテ同様ノ誓ヒヲ爲サシムヘシ之ヲ爲サ、ル時ハ矢張其父ニ對ヒテ求メタルキト均トシシ其子ハ

敗訴ト爲リ持主ハ勝訴ト爲ルヲ得ヘシ  
是迄ニテ期滿ノコトハ已ニ説キ了レリ此次會ニハ分散ノコトヲ説クヘシ

第四十六號 明治八年十月廿七日

今日ハ分散ノコトヲ説クヘシ

商法ノ規則ニ於テハ種々ノ方法アリ其内商法ノ體ニ成ルコトヲ目的ト爲スヘキ方法アリ之ハ此講義ノ最初ニ於テ已ニ論シタリ分散ノコトハ即チ商法ノ體ニ成ルヲ目的ト爲スヘキ方法ナリ如何ナル場合ヲ以テ分散ト云フヘキトノ譯ヲ説キ然ル後其商法ノ體ニ成ル所以ノ方法タルコトヲ説クヘシ  
例ヘハ商人ノ不幸故損失ノ多キカ又ハ營業ノ方法不宜カ不正ノ所



業ニテ失錯ヲ招キタルカ等ニテ負債ノ金高退々ニ嵩ミ遂ニ所有金高ニ欠乏ヲ爲シ夫カ爲メ債主へ家作財産ヲモ不殘償ヒ渡シ自分ハ其財産ヲ治ムル權ヲ失フコトヲ分散ト云フナリ  
商法ノ體ニ成ル方法トハ即チ分散ニ爲ルヘキ其ノ目的ナリ之ヲ區別スレハ三種アリ

第一 債主ノ爲メチ計ルコトナリ凡ソ人民互ニ金銀ヲ取引スルハ全ク其債主ヨリ負債主チ信用スル所ノ原由アレハナリ故ニ之ヲ以テ其金銀ヲ貸シタル譯ニ付其信用シタル素意ヲ達セシムヘキコトナリ

第二 負債主即チ分散人ノ爲メチ計カルコトナリ總テ分散人ハ法律上ノ保護ヲ受クヘキコト、爲セリ何トナレハ若分散セサル時ハ度々裁判所へ呼出サレ又ハ夫カ爲メ取押ヘラル、等ノ患少カラス

故ニ其患ナキ爲メ之ヲ分散シ法律ノ保護ヲ受クル譯ナレハナリ

第三 衆人ノ安寧ノ爲メチ計ルコトナリ之ハ負債主ニテ其儘逃亡スル等ノコトアル時其一人ノ爲メニ多少ノ迷惑ヲ爲スモノアル而已ナラス一体ノ風俗ニモ關係スヘキニ付其分散ノ法ヲ以テ衆人チ保護スル譯ケニ當ルナリ此三種ノ主意ハ全ク商法ヲ體ニ爲シ得ヘキナリ

爰ニ前以テ論スヘキコトアリ即分散ト例産トノ區別ヲ立ツヘキコトナリ

分散ハ商法上ノ損失ニテ自分ノ財産ト負債ト相償ヒ難ク遂ニ其債主へ借金ノ全部ヲ還償スル能ワサルモノナリ

倒産ハ詐偽ヲ以テ債主へ損害ヲ掛ルカ又ハ怠慢ヨリ債主へ損害ヲ掛ルカノ二様ノ場合ナリ故ニ倒産ノ内ニハ二ツノ差別アリ

分散ト倒産トノ區別ヲ説キタル上ハ倒産ノコトハ尙追テ詳説スヘキニ付先ツ分散ノコトニ就テ説クヘシ

第一 分散ハ犯罪ノ内ニアラス然シ榮譽ヲ損シ種々ノ權利ヲ失フモノナリ

分散人ハ「ブルース」ヘ入ル不能 謂商人集會場ナリ 所賞典ヲ受ケタル者ハ之ヲ取上ケラレ其榮譽ヲ損スルナリ

第二 訴訟上ニテ其權利ヲ失フコトアリ

已ニ分散ノ名ヲ受タル上ハ如何ナルコトニテモ自身自ラ裁判所ヘ出ツルコト不能必ス「サギツ」即管財人ヲ以テ其訴訟ヲ爲スヘキコトナリ

第三 政事上ニテ權利ヲ失フナリ即チ議員ヲ撰擧シ撰擧セラル、能ワス又重罪裁判所ノ陪審ニ撰擧セラル、能ワサルナリ分散ノ大主意ヲ説キタル上ハ第一款ノ總規則ヲ説ク可シ

總規則ノ第一條ニテ如何ナル場合ニ於テ分散ト爲ルヘキトノコトヲ説クヘシ即チ第四百三十七條ニ定メアルコトニテ債主ニ其借金ノ金高ヲ拂フコト不能時ハ分散ト爲ルノ場合ナリ

爰ニ二ツノ順序アリ

第一 分散ハ商人ニ限ルヘキコト

第二 其商人ニテ債主ヘ金高ヲ拂フコト不能ト決定シタル時ニ於テ始メテ分散ト見做スヘキコト

商人ニ限ルヘシト云フハ必ス實際其商業ヲ爲セル者而已ニアラス其權利上ニテ商人ト認ムヘキ者ヲモ併セテ云フナリ

又例ヘハ幼者ニテ現場ハ商業ヲ爲ス者ノ如シト雖モ已ニ其取引ヲ廢シ且其債主ニ金高ノ拂方ヲ已メタル者ハ法律上ニ於テ商人ト見做サス故ニ亦分散トモ云フ能ワサルナリ夫アル婦ニテ其夫ノ許可

ナク商業ヲ爲シ其金高ノ拂方ヲ已メタル者ハ幼者ト同シク分散ト爲ス能ワサルナリ  
 之レヲ知ラスシテ財産ヲ取引爲シタル者ハ其債主ノ損失ト爲リ其還償ヲ得ル能ワサルナリ  
 此二例ニ反シテ職務上ニテ商業ヲ營ムコトヲ禁セラレタル者例ハハ公證人又ハ政府ノ官員等ハ固ヨリ商業ヲ爲サル者ナレトモ債主エ金高ヲ拂フコト不能時ハ分散ヲ爲スコトヲ得ヘシ尤之ハ能力アル者ニ限ルヘキナリ  
 之ハ現在商業ノ禁アル者ト雖モ其以前商業ヲ爲シ夫カ爲メノ金高ヲ拂コト不能時ニ於テ分散ト爲サシム可キコトヲ云フナリ  
 爰ニ一ツノ難問アリ  
 通常人民ノ身分ニ付テノ事ハ各其國法ヲ以テ處置スヘキコトナリ

故ニ外國人ハ外國ノ法ヲ用ユヘシト雖モ佛國エ居留ノ外國人ノ身分ニ付テハ佛國ノ法ヲ用ユル能ワサルナリ  
 然ラハ外國人ニテ佛國へ居住中金高ノ拂方ヲ已メタル時ハ佛國ノ分散ノ法ニテ處置ス可キカ又ハ其外國ノ分散ノ法ニテ處置スヘキカ此二様ノ難問アリ  
 之ハ外國人ト雖モ佛國ニ居住セル上ハ佛國ノ方法ニ從ワシムヘシト爲ス何トナレハ分散ノ法ハ「ボリス」ノ法ニシテ中外人民一般ノ安全ヲ保護スヘキ譯ニ付假令外國人ト雖佛國ニ居住シテ其金高ノ拂方ヲ已メタルキハ矢張其人民保護ノ主意ニ基キ佛國ノ方法ニテ處置スヘキコト、爲スナリ  
 商人ニ限ルヘキコトハ已ニ説キタリ又其商人ノ金高ノ拂方ヲ已メタルコトヲ説クヘシ

金高ノ拂方チ已メタルハ如何ナル場合ナリト云ヘハ即チ第四百三十七條ニ明文アリ故ニ此事ニ付テ説クヘシ  
 例ヘハ一日ニ五十人ノ債主ヨリ拂方ノ督責チ受ケ其内三四十人ノ拂方チ爲シ不能時ハ即チ其拂方チ已メタル者ト見做スヘク尤假令一人ノ債主ト雖モ其金高多クシテ之レテ拂フコト不能キハ同様ナリ然シ之チ全ク拂方チ已メタル者ト見做スハ固ヨリ裁判官ノ見込ニ寄ル可キコトナリ  
 且全ク一人ノ債主ト雖モ金高多分ニテ其拂方ニ引足ラサル身代ト爲リタル時ハ即裁判官ノ見込ニテ分散人ト爲スナリ  
 之チ法律上ニテ概言ズレハ其拂フ可キ金高チ以テ算計シ其人數チ以テ算計セサルモノト爲ス  
 法律上ニテハ未ダ明解アラス只佛國ノ大審院ニテ説論アルコトア

リ之ハ何トナレハ假令一人ノ債主ト雖モ自分ニ拂方チ已メタル上ハ他ノ債主ヘモ同様拂方チ已タルコト、云ヒ立テ之チ以テ分散チ爲サシムコト得ヘシト爲スナリ  
 分散ノコトチ縮メテ言ヘハ債主ヘ約束通其金高ノ拂方チ爲サ、ルモノナリ故ニ其債主ヨリ約束ノ期限ニ至ラサル内之チ求メタル時ハ其期限ニ至ラサルコトチ以テ斷ルトモ不可ナシ  
 又債主ヨリ求メタル時他ヘ貸出シ置ク等ニテ手許ニ有合ノ金高ナキコトチ以テ斷ルトモ不可ナシ故ニ只一人ノ債主ノ火急ノ求メニ拂コト能ワサル等ハ分散トハ爲サ、ルナリ必ス其借金チ總テ拂コト能ワサル者チ分散ト云ヘキナリ  
 金高ノ拂チ已メタリト云フハ通常ノ金高チ拂ワサルチ以テ分散ト云フ可カラス必ス商業上ヨリ生シタル借り金ニ限ルヘキナリ

例へハ商人ニテ自用ノ「パン」又ハ油等ノ代價ノ借金アル者ハ分散ト云フ可キニアラス

第四百三十七條ノ末項ニ於テ一ツノ格別ナル規則アリ之ハ立法家ニテ議論ノアルコトナリ

商業上ニ於テ拂方ノ期ニ至リ其人ノ死シタル故ヲ以テ之ヲ拂フ能ワサル身代ト爲リ分散スヘキ場合ニ於テハ如何

一説ニハ其商業ヲ爲シタル本人ノ死ニ至リテハ之ヲ分散ト爲ス可カラスト云フ

又一説ニハ其本人ノ死生ニ拘ハラズ債主ノ迷惑ヲ爲サシムヘキニアラス必ス其死後ノ身代ヲ以テ矢張分散ト爲スヘシト云フ

此二者ノ説ヲ折衷シ第四百三十七條ノ末項ノ規則ヲ立テタルモノナリ

故ニ其訴訟ノ期限ヲ一年ト定メ言渡スヘキコト、爲セルナリ若シ之ヲ過クシレハ訴訟スルヲ得ス且其拂方ヲ已メタルハ其本人ノ存在中ニ已メタルニアラサレハ之ヲ分散ト爲サ、ルノ特別ナル規則ヲ前二説ヨリ折衷シテ定メタルモノナリ佛國ニテハ往々アルコトニテ一旦商人ト爲リ商業ヲ營ミ相應ノ蓄財ヲ爲シタル後其商業ヲ廢スルモノアリ其者ハ死後ニテ破産スルトモ之ヲ分散トハ爲サ、ルナリ

例へハ千八百五十年迄商業ヲ爲シ同七十年ニテ死シタル時ハ其本人ノ何レノ所ニ於テ負債セシト云フコトヲ調査スヘシ若シ其負債ハ同五十年前ナレハ商業中ノコト、爲シ分散ナサシムヘケレモ同五十年後ナレハ已ニ商業ヲ廢シタル後ナル故ニ分散トハ爲サ、ルナリ

前ニ説キタル方法ニテ愈分散ト定メタル上ハ又其債主ト負債主トノ爲メニ於テ互ニ其利益ノ反對スルコトヲ生スヘシ

第一 分散人ノ利益ヲ保護スヘキコトヲ説クヘシ分散人ハ畢竟商業上ノ不幸等ニテ意外ノ損失ヲ生シタル譯ニ付一概ニ要ムヘキモノニアラス故ニ保護ス可シト爲スナリ

第二 債主ノ利益ヲ保護スヘキコトヲ説クヘシ債主ハ固ヨリ其貸シタル金高ヲ取戻ス可キ權利アルモノニ付之ヲ保護ス可シト爲スナリ

此債主ト負債主ノ外他ノ者ニ於テ其分散ノ爲メニ迷惑セサル様人民ノ利益ヲ計ルヘキ國風故ニ其利害得失ノ輕重如何ヲ判別スヘキナリ

殊ニ一人ノ負債主ニテ數人ノ債主アルキハ其數人ノ債主一同ヘ偏

頗ナク公平ニ配當分賦ノ所置ヲ爲ス可キナリ

故ニ債主負債主他ノ者トノ三者ニ向テ公平ノ所置ヲ爲スヘキ爲メ法律上ニ於テ此分散ノ方法ヲ設ケタルモノナリ

分散ノ規則ハ大ヒニ長シ故ニ最初ノ手續ヨリ順序ヲ立テ之ヲ五款ニ分ケテ説クヘシ

第一款ハ 分散ノ公告ヲ爲スコト及ヒ其公告ヨリ生スルコト

此内ニ於テ小區別アリ

○拂方ヲ已メタルコトヲ證スルコト

○分散人ノ品物ヲ取上クルコト

○分散人ニ對シ訴訟ヲ爲スコトヲ得ルコト

○分散人ノ爲メタル事ヲ取消スルコト

右ノ廉々ヲ第一款ト爲シ説クヘシ

第二款ハ 分散ノ事件ヲ取扱フナリ  
其内ニ於テ小區別アリ

○分散人ノ財産ヲ取扱フ

○各債主ノ權利ヲ吟味スル

○「サンヂック」ヲ命シ其職掌ヲ定ムル

○商法裁判所ノ裁判官ヲ其掛ニ命スル

○其掛裁判官ニテ取扱フ職掌ノ

第三款ハ 債主ノ一致コンコルダ分散人トノ約定書ナリ案スルニ「コンコルダ」ノ字ハ同意又ハ一致ト直譯スル宜シキニ似タリ直スルト云フナリ之ハ債主一同ノ相談一致シ其分散人ノ財産ヲ相當ノ約束ニテ本人ニ其儘返シ渡スヘキナリ尤其一致シタル上ハ裁判所ニ訴出テ之ヲ決定ス可キナリ然シ其時他ノ債主ヨリ之ヲ故障シ取消スコトヲ得ヘキナリ

第四款ハ 債主ト分散人ト一致爲サ、ルナリ之ハ債主ハ其財産ノ内半分ヲ返スヘシト云ヒ分散人ハ其半分以上ヲモ返スヘシト云フ等ノキナリ

原語ニテ「ユニオン」條ニ所謂債主ノ連結ナリト云フ之ハ其一致爲サ

、ルキニ於テ分散人ハ即チ

第一フリレージヲ持テル債主第二抵當物ヲ持タル債主へ拂方チ爲スコトナリ

此「ユニオン」ト云フ場合ハ即チ債主ト分散人ト一致爲サ、ルキノコトヲ云フナリ

第五款ハ 分散ノ裁判言渡ニ付不服ヲ述フル手續ナリ

第三第四款ノ場合ニ至ル迄ハ常ニ治安裁判所へ訴出其掛裁判官又ハ商法裁判所ノ手數ヲ受クヘキコトナリ

故ニ其裁判官ノ言渡ニ付テハ通常ノ訴訟同様不服ノコトアルハ  
 控訴又ハ上告ヲ爲シ得可キナリ  
 時ニ寄リ大審院ヘモ上告シ得ルナリ尤其期限ハ通常ノ訴訟トハ違  
 ヒアリ此期限ノコトハ第五款ヲ説クキニ於テ詳説ス可シ  
 第五款ニ至レハ分散ノ手續ヲ悉ク説キ了ルヘシ然ル上ハ別ニ會社  
 ノ分散ノ規則ヲ説クヘシ但シ會社ノ分散ノ規則ハ長ク説ク可キニ  
 アラス故ニ一通リ短ク説クヘシ  
 第一款ヨリ第五款迄ノ順序ヲ説キタル上ハ即チ第一款ニ立戻リ詳  
 説スヘシ  
 第一款 分散ノ公告ヲ爲スヲ及ヒ其公告ヨリ生スル  
 其内小區別アリト雖モ先ツ如何ナル場合ニテ拂方ヲ已メタリト爲  
 シ之ヲ證スルヲキ説クヘシ

愈分散ト定リタルハ商法裁判所ニテ分散公告ノ言渡ヲ受クヘキ  
 ナリ  
 元來商法裁判所ハ商人ノ商業上ノ計算取調方ハ常ニ熟練シ其債主  
 ト分散人トノ實況等明了ニ詳知スヘキニ付此分散ノ言渡ハ商法裁  
 判所ニ於テ爲スヘキコト、セリ  
 分散ト爲ルヘキ時ハ債主ヨリ其何某ハ拂ヒテ已メタルト云フ證據  
 テ以テ商法裁判所ヘ訴出ツルナリ其證據ハ通常ノ事柄ニ於テハ他  
 ノ人ヲ以テ證スルコトヲ得ヘシト雖モ分散ニ付テハ人ヲ以テ證ス  
 ルヲ不能ナリ  
 何トナレハ何某ハ債主ヘ金高ノ拂ヒテ已メタルト云フノ原由ヲ  
 詳悉シ裁判所ヘ訴出ツル場合ニ於テ他ノ人ヲ以テ證スルハ自ラ  
 其風聞流布シ遂ニ分散人ハ世上一般ノ信用ヲ失ヒ夫カ爲メ他ニ意



外ノ損害ヲ引起スヘキニ付他ノ人ヲ以テ證スルコトハ裁判所ニテ取上ケサルコト、爲セリ

他ノ人ヲ以テ證スル能ワサル故其證據ヲ立ツルニ二様アリ一ハ分散ノ本人ヨリノ届出ヲ以テ證スル一ハ債主ヨリ差出シタル書キ物ヲ以テ證スル一ナリ

第三百三十八條ハ本人ノ届出ヲ以テ證據ト爲スノ場合ナリ

故ニ此條中ニ拂ヒチ已メタルヨリ三日ノ内ニ云々トアリ即其届出ヲ以テ慥ナル證據ト見做ス譯ナリ

三日ノ期日ハ拂ヒチ已メタル日ヨリ三日ト爲シソノ期日中ニ算入スルナリ

商法裁判所ノ書記局ニ於テハ簿冊ヲ備ヘ置キ金高ノ貸借ニ付分散ト爲ルヘキ者ヨリ其拂ヒチ已メタルコトヲ届出タルキハ其簿冊ニ

登記セシム可キト爲セリ

故ニ其届出ヲ爲ス時ハ本人自ラ書記局エ出頭シ其簿冊ニ登記スル一ヲ得ヘシ

商法裁判所ヘ三日ノ内ニ其届出ヲ爲サ、ルキハ大ヒニ其罰ヲ受ク可キナリ

若シ其届出ヲ爲サ、ルキハ債主ノ申立ニ寄リ倒産ノ部類ト爲リ其所置ヲ可受ナリ倒産ハ分散ト違ヒ犯罪ノ内ニテ即輕罪ニ當ル可キモノナリ

故ニ佛國ニテハ必ス三日ノ内ニ其届出シヲ爲ス可ク若然ラサルキハ其債主ノ損害ヲ爲シタル者ト見做シ倒産ヲ以テ之ヲ罰スルナリ

此條中ニテ(分散ヲ爲シタル商人)ト譯セルハ不可ナリ何トナレハ未ダ全ク分散ト決定セス其言渡ヲ受ケサル以前ノコトナレハナリ故

ニ(總テ金高ノ拂ヒチ已メタル負債ノ商人)ト改正スヘシ  
 書記局エ其届出チ爲ス時ハ必ス分散入ヨリ他へ貸出シタル金高ト  
 其借リ金トノ比較表チ作り出スヘシ其比較表チ原語ニテ「ピラン」  
 書ト譯ス「積」ト云フ即チ「秤量」ト云フ意味ナリ之ハ其貸借ノ金高チ比  
 較シテ秤量スルト云コトナリ  
 此比較表ハ必ス日付ト本人ノ姓名チ手署スヘキナリ  
 日付ハ其分散ノ決意シタルハ何月何日ナリト云フコトヲ證スル爲メ  
 ナリ  
 姓名人分散ノ本人ニ相違ナキコトヲ證スル爲メナリ  
 若シ此日付ト姓名トニ誤記アルキハ即倒産ト爲スヘキニ付必ス日  
 付ト姓名トハ正シク記載スヘキコト爲スナリ  
 商人ノ内ニハ手廣ク商業ヲ營ミ其貸借ノ總金高ニ於テ有餘不足ノ

差引スヘキ有様ヲ知ラス故ニ手早ク其比較表チ作り得サルモノア  
 リ例へハ横濱ヨリ「サンハイ」等懸隔ノ地へ出店アリ自分ノ財産ニテ  
 其貸借シタル總金高ノ成算ヲ知ラサル者等ナリ其時ハ第四百三十  
 八條ノ明文ノ通り其比較表チ出ス能ハサルコトヲ言立ツヘシ  
 所有ノ財産ト借リ金トチ比較シ其財産ハ借リ金ヨリ餘分アルトモ  
 分散ト爲ルコトアリ之ハ其餘分ノ財産ハ他ニ貸出シ手許ニ所持セ  
 サル所以チ以テ分散ト爲ル譯ケナリ  
 又或ハ自分ノ貸置タル者ノ分散ト爲リタル故チ以テ自分モ共ニ分  
 散スル等ノコトアリ  
 故ニ其比較表ノ内ニテ其借リ金ハ財産ノ有高ヨリ少キ時而已ニア  
 ラス其有高ヨリ借リ金ノ方少キ時ト雖モ分散ト爲ルコトアリ  
 併シケ様ナルコトハ通常多クハアラサルコトナリ他ノ借金故分散ト爲

ルヘキ者ト雖モ大抵ハ其借金ヨリ貸金ノ多キ時ハ分散トハ爲ラサル譯ナリ何故ナレハ其貸金アル故ヲ以テ衆人ノ信用ヲ失ワス自ラ他ニ融通ノ道ヲ得ヘキニ付先ツ容易ニハ分散トハ爲ラス引續キテ營業シ得ル者ナリ

已ニ説ク處ハ本人ノ自分届出シタルヲ證據ト爲シ分散ト爲ルコトナリ

此次ニ債主ヨリ書物ヲ以テ證據ト爲シ訴出テ分散ト爲ルコトヲ説クヘシ

即チ其債主ヨリ負債主ノ拂ヒナ已メタルヲ裁判所へ訴出ツル手續ナリ

例ヘハ爲替手形ノ差サレ人ニテ其拂ヲ爲サ、ル故其手形ヲ以テ證據スルカ又貸借金ノ約定證書アリ其約定通拂ワサル故其證書ヲ以テ證據ス

ル等ニテ其債主ヨリ裁判所へ訴出之ヲ分散セシムルモノヲ云フナリ

尙一事分散ヲ公告スルノ方法アリ

負債主ニテ其負債ノ爲メ他國へ逃亡シタルキ其負債主ノ住居地ニアル治安裁判所ヨリ之ヲ調査シテ公告スルコトナリ

之ハ分散ノ本人ヨリ届出ヲ爲シタルニアラス又債主ヨリ書物ヲ以テ訴出タルニアラス全ク治安裁判所ノ特權ヲ以テ公告スルモノナリ尤之ハ極稀ナルコトナリ

然シ或ヒハ其負債故ニ逃亡スル者アリ其者ハ必ス其住居へ財産ヲ殘シ置キ他ノ債主へ分配セシムヘキ等ノ手筈ヲ爲シ置ク者ナシ

故ニ全ク右等ノ舉動ヲ爲シタル者ハ分散ト爲サス倒産ト爲シ治安裁判所ヨリ商法裁判所ニ送り一應糺問ノ上刑事ニ屬スヘキ者ナレ

ハ即チ之ヲ刑事裁判所エ送り倒産ヲ以テ罰スルナリ  
問 其逃亡ノ者ヲ以テ通常ノ失踪人ト爲サス倒産人ト爲スハ如何シ  
テ其事由ヲ判別スヘキヤ

答 其住居地一般ノ風評等ニテ其負債故ニ逃亡シタルコトヲ承認シ其  
儘成事跡ヲ以テ治安裁判所ニテ之ヲ調査シ倒産ト決定スルナリ  
故ニ通常ノ失踪人トハ自ラ差別アルナリ  
分散人ト證スル所ノ證據ノコトヲ説キタル上ハ其公告スル手續ヲ説  
クヘシ

其公告スルコトハ即裁判言渡中一種ノモノト爲スナリ故ニ此言渡  
シハ通常ノ裁判言渡トハ少シ違ヒアリ  
通常ハ被告人ヲ呼出スヘキナレトモ此言渡ハ其分散人ヲ不呼出直ニ  
其證據ヲ以テ言渡ス可キナリ

何トナレハ商法ハ萬事速ニ抄取ルコトヲ要シ且其分散人ノ逃亡セ  
シ爲メ財産ヲ他ヘ預ケ隠スモ計リ難ク故ニ原告人即債主ヨリノ訴  
訟書而已ニテ裁判シ之ヲ言渡スナリ  
分散ノ公告ニ付テノ裁判言渡ハ全ク假リノ執行ト見做スヘキモノ  
ナリ

此被告人即チ負債主ヨリノ故障又ハ控訴スル等ニ不拘假リニ執行  
スル所以ハ何故ナレハ其本人ノ逃亡セン爲メ財産等ヲ隠シ債主エ  
損害ヲ掛ケンコトヲ恐レ速ニ其處置ノ執行ヲ爲ス譯ナリ  
此公告ノ言渡ハ商法裁判所ノ揭示場及分散人ノ住居ノ前ヘ揭示シ  
且裁判所々所在地ノ新聞紙ヲ以テ公告スルナリ之ハ第四百四十二條  
ニ明文アリ

此公告ヲ爲ス所以ハ其言渡後ハ他ノ者ヨリ金銀貸借ノ取引等ヲ爲